滿洲日報 夕刊 十月十三日
發行人 鈴木昇 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

擧國一致の力を以て事變解決に努力
若槻首相、內、外兩相と協議

【東京十三日發】若槻首相は山本、清浦兩伯訪問後十二日午後八時半より幣原、安達兩相を官邸に招致し約一時間半に亘り協議を遂げたが、席上若槻首相は西園寺公に對しては原田男を通じ更に山本、清浦兩伯は自ら訪問して滿洲事變の經過國際聯盟の動きこれ等に處する政府の態度方針等につき所信を述べて諒解を求めた顛末を報告したが山本清浦兩伯は何れも

滿洲事變の善後處置並びに滿蒙問題の解決については **政府は强硬なる態度を以て かゝらなければ到底解決困難** なるのみならず、聯盟及び對支方針を誤る如き事あらば國家を危ふきに導くであらう

と相當强い意味の注意を與へた模樣で三相はこれ等重臣の意見を中心に種々意見交換の結果政府は重大なる決意と覺悟を以つて日支事件の解決を飽くまで期するといふに決意を定めた、依つて **若槻首相はこの難局を擧國一致の力を以つて乘り切るの必要** から十三日更に犬養政友會總裁、高橋是清氏、山本達雄男、德川貴族院議長等を訪問すべしと述べ兩相の諒解を求めた

日支の開戰は杞憂
出淵大使米政府に說明

【ワシントン十二日發】アメリカ政府は國際聯盟を激勵すると共に滿洲の實狀調査に努力してゐるが出淵大使は無根の逆宣傳がワシントンまで擴がつてゐるに鑑み十二日スチムソン氏及キャスル次官を訪ひ

一、日本は滿洲に對し些かも領土的野心を有するものに非ず
二、滿鐵沿線以外への駐兵は在留日本人の安全保障の見極め附き次第撤退す
三、局地的事變が日支開戰まで擴大すべしとの憂慮は杞憂で日支直接の外交々渉に依り問題は解決すべく戰爭の危險は避け得る

等の諸點を力說し諒解を求めた、會見後出淵大使は語る

日本は絶對に領土的野心は持つてゐない、滿洲乘取の野心など全く根據なき疑惑に過ぎぬ、日支兩國は同文同種の間柄で互に事を構へることを欲しない、問題は直接交涉により解決する

日貨排斥は自由 日本人の居住は安全
支那の對日回答要綱

【南京特電十二日發】中央政治會議は十一日午後四時臨時會議を開き蔣介石氏以下各委員出席、同日午前十一時から午後三時まで特別外交委員會が作り上げた日本に對する回答を上程討議を終へ午後五時散會した、回答は十三日發出されるが其要點は

一、日本軍が今次突如遼寧、吉林の各地を占領したるは國際公法を蔑視し聯盟の規約不戰條約及び九個國條約に違反する行動である
二、支那は日支兩國が右條約締盟國たるを以て國際義務上和平的方法を以て紛爭を解決すべく聯盟に提出した、聯盟は依つて日本に撤兵を命令したが日本は之が接受の表示をしない
三、中國政府は事件發生以來未だ何等の敵對行爲も執らず、同時に極力全國人民の憤慨を制止し越軌の行動なからしめた爲め、中國行政權の及ぶ範圍で意外の事故發生せず、支那が聯盟理事會に提出した保障は實に周到に執行されてゐる
四、物品を選擇購入するは個人の自由にして何れの政府も干涉或は禁止する法なし、支那人民が日本品を排斥する心理は萬寶山事件以來の事で日本政府は非友誼的行爲を以て引續き之を激成してゐる
五、支那は極力事態擴大化を防止してゐるに反し、日本は撤兵を實行せざるのみならず、尚侵略を續け甚しきに至つては飛行機を以て遼寧省臨時政府所在地錦州及び其他各地を爆擊し、又多數の軍艦を支那に派遣した、最近十日間の情勢が更に嚴重を加へたのは皆日本側が釀成したものである
六、日本軍不斷の侵略により支那は極めて困難な地位に處してゐるが日本の居留民に對しては極力保護を加へてゐる、惟ふに日本は兵力を以て國策遂行の具に供せんとしてゐるが、之に依つて發生した不幸なる結果は悉く日本においてその責に任ずべきものである

北四川路事件 外交部より抗議

【上海特電十三日發】十一日日曜日の當地居留民大會の流れが北四川路通りの排日ポスターを剝ぎ支那人と衝突した事件につき外交部は日本人が挑戰せるものと爲し日本に抗議を提出すると共に國際聯盟に報告するといつてゐるが、張群市長は十一日秘書を派し此種行動を取締時局擴大を防止されたいと村井總領事に申込んだ

上海排日ポスター（…國際友誼を破壊してゐる）

塚本關東長官、軍司令部を訪問

平沼副議長 牧野內府を訪問

【東京十三日發】時局重大に伴ひ重臣の往來頻繁の折柄平沼樞府副議長は今朝十時半高輪の官舍に牧野內府を訪問、時局に對する意見を交換し十一時十分辭去した

若し日本と戰へば充分勝算あり
蔣氏記念週で演說

【南京十二日發】蔣介石氏は本日の國民政府記念週において演說したが、廣東の和平問題から日支問題に移るや大聲叱呼して日本軍の滿洲占據を罵倒し左の如く揚言した

支那は日本と武器を執つて戰ふ事を決して恐れるものではない、支那は四十年前の日清戰爭當時とは根本的に異り如何に日本の軍閥がサーベルを鳴らし大砲を打ち込むとも彼等のため兵力に依つて長服されるものではない、眞に全國の軍隊を動員して **日本と一戰を交ふるとすれば十分なる勝算歴々たるものがある、** 我等が今輕擧に武器を執らぬのは支那が不戰條約加盟國なるがためである、我等は國際聯盟が誠意を捨てざる限りその決議を尊重服從し、世界萬國の認むる正義公道に基き日本を膺懲しその自滅を待たんのみ、若しも聯盟が國際間の平和を維持する能はざるものなる事明白となれば、その時こそ我等は敢然起つて彼等の頭上に銃火を浴びせ外侮を防ぎ彼等を沈默せしむる自信と決意を持つて居る、日本が陸海軍の精鋭を誇ると雖も又その缺點を知悉してゐる、卽ち余は日本との開戰を恐れるものにあらず只矛を執るの已むなきに至る迄は隱忍自重して矛を執らず平和を好む我國民の眞面目を世界に知らしめその正しき判斷を待たんとするのみである、國民は政府のこの固き決意を自己の決意として救國のため遺算なきを期せられん事を希望する【寫眞は蔣氏】

蔣氏の演說事實ならば日本は斷然抗議的警告

【東京特電十三日發】蔣介石氏が十二日の記念週でなした對日宣戰布告の言辭に對し外務當局は左の如く說明した

日本政府は九日附回答でも責任ある中國代表者と直ちに會商を開始し滿洲事變解決に當らんとする用意ある旨明らかにし、目下の急務として双方が協力し國民的感情の緩和を圖るべき事を聲明したる處であつて、日本は支那を相手として戰爭行爲に出でんとするの意思は全然有してゐない、然るに元首として責任ある蔣介石氏が斯る言說を爲す如きは狂氣の沙汰としか信ぜられない、支那が自己の責任を執らず、聯盟其他第三國の干涉調停に縋つて事件の解決を圖らうとする限り、到底問題の解決は期せられない、若し蔣介石氏の言說が事實と判明すれば斷然抗議的警告を發せんとするものである

蔣氏の演說を米政府憂慮

【東京特電十三日發】十二日南京における記念週で蔣介石氏が「若し明日の理事會で滿洲事變が滿足に解決されなければ宣戰を布告するだらう」と威嚇した事は米國務省側に非常な衝動を與へ國務省側は極度に憂慮してゐる

支蒙軍對峙

東支東部線ウヌール驛附近における支蒙軍の衝突から支那側は蒙古軍に對して神經を尖らしてゐるが最近蒙古騎兵百二十騎は興安嶺札免公司事務所附近に出現し宜立克都支線に沿ひ二十六露里の地點に蟠り今尚駐屯してゐるが支那側は興安驛における步兵大隊、宜立克都驛における一中隊があるが何等の行動に出でず對峙の姿である

第三艦隊にきのふ待機命令下る
吳軍港は俄然緊張す

【東京特電十三日發】南支一帶の形勢惡化以來吳軍港は頗る緊張してゐたが俄然十二日午後第三艦隊に待機命令下り俄に慌しさを增した

けふ聯盟緊急理事會
錦州事件中心に論議せん

【東京特電十三日發】滿洲事變に關する聯盟緊急理事會は愈々十三日正午開會されるが、議長レルー氏が本國の議會を抜けられないので多分佛外相ブリアン氏が之に代る筈、而して聯盟方面では今や理事會で日支兩國代表の執るべき態度に注意が集注されてゐるが、今の處、聯盟規約第十一條を基礎に日本の卽時撤退を要求しつゝ、錦州事件を楯に日本が三十日理事會に對して爲した事件擴大防止の誓約を實行してゐないとの意見を强硬主張するものと觀られてゐる、之に對し芳澤代表は **支那側が滿洲で戰鬪準備を爲し、且つ敗殘兵並に匪賊の殘虐で撤兵を不可能ならしめてゐる事、全支に亘つて反日運動を煽動激化し支那こそ事態の擴大に努めてゐる事** 等を主張して支那側の言ひ分を反駁するものと觀られてゐるが之に對し理事會が如何なる態度を執るか注意を惹いてゐる

西園寺公東京へ
時局重大化に鑑み

【東京十三日發】時局の發展重大化に鑑み清浦伯の山本伯、牧野內府訪問、若槻首相の重臣歷訪のこともあり時局頗に緊張せる觀あるが西園寺公は原田男の傳令にて政府の時局に對する對策方針を良く承知し居るもの、國家重大の秋政治の中心より離れ居るは內外の政情聽取の上にも又元老重臣等の意肚を知る上にも不便少からざるため近く京都を離れ入京する模樣である

原田男京都へ急行

【東京十三日發】滿洲事變の多邊的擴大につき若槻首相は原田熊雄男に依賴して目下京都に靜養中の西園寺公に報告することゝなり原田男は今朝九時東京發京都に急行した

若槻首相けさ政友首腦を訪問
時局の經過等を說明

【東京十三日發】若槻首相は本日午前八時官邸を出で四谷信濃町の私邸に犬養政友會總裁を訪問約四十五分に亘り重要會談を行ひ九時辭去、それより赤坂表町の高橋是清氏邸を訪ひ同樣會談九時四十五分辭去、官邸に歸つたが、右犬養總裁、高橋是清氏との會見において若槻首相は滿洲事變に關する諸般の報告をなし政府の方針を述べて諒解を求めたもので、政友會の援助その他に就ては何等言及しなかつた模樣である、而して右兩者とも若槻首相の報告を聽取したのみで突き込んだ質問もなさず會見を終つたが若槻首相は今日午後なほ山本男を訪問して同樣報告をなす筈

首相兩伯訪問事情

【東京十三日發】若槻首相は日支事件の重大性に鑑み國論統一の第一歩として十二日山本、清浦兩伯を訪問諒解を求めたが右は牧野內府が時局に對する政府の態度を深く憂慮し首相に對し或種の忠告を爲して來た事實ありその內容において相當重大なる注意を喚起したためであるといはれてゐる

資料を得極めて結構
犬養總裁の談

【東京十三日發】若槻首相と會見後犬養總裁は左の如く語つた

若槻首相が今朝來訪したのは對支問題說明の爲めだつた、話の內容は事件の顛末政府の對支對聯盟策等につき一通りの話があつたが大體新聞に出てゐるやうな事であつた、今後の政府の態度方針につき別に我輩に相談を持ちかけるやうな事は全くなかつた、責任ある首相として夫れは當然の事だ、樞府から要求された外交調査會設置に就ては何等話はなかつた、若槻首相が元老、重臣、野黨首腦部を歷訪する事は議論の善惡は別として事の眞相を明らかにし事實に對し正當な判斷を與へる資料となり極めて結構なことだと思ふ

今後意見を政府に進言
清浦伯の時局談

【東京十三日發】昨日の牧野、山本兩重臣を訪問した清浦伯は十三日大森の自邸で左の如く語つた

昨今國內外の情勢は實に憂慮に堪へぬ老齡の自分も安閑として居る事は出來ぬ、對支問題の解決如何は國家の鼎の輕重を問はれる事にもなるのだから充分の準備と覺悟が必要で擧國一致の精神で事に當られねばならぬ、然るに今回の問題で外務と陸軍との意見が相違してゐるやうに傳へられてゐるが、斯る事は遺憾至極である自分も新たに意見が生れた際はどしどし意見を政府に進言する積りである

歐米人は滿蒙を知らぬ
高橋是清氏談

滿洲問題について重臣會議が開かれるかどうか何とも豫定してゐない、滿洲事變については我國に誠意が有れば必ず目的は貫徹されると思ふ、歐米人は滿蒙に關する智識が足りないので間違つた觀察をなしてゐるが良く眞相について說明すれば間違つた點は訂正されるであらう

山海關方面へ一個小隊を分遣
天津の我駐屯軍から

【天津特電十二日發】山海關方面の形勢不穩のため北支駐屯軍は十二日朝天津より一個小隊分遣した

聯盟總長ド氏は錦州事件を諒解
芳澤大使の說明で

【東京特電十三日發】十二日パリーよりジュネーヴに到着せる芳澤大使は直に聯盟事務總長ドラモンド氏を訪問し錦州事件を說明した、卽ち芳澤大使は支那の大軍の間に挾まれてゐる日本軍の立場としては敵狀視察を以て重大なる衝突を避けんとする策に出づることは當然で、決して攻擊を目的としたものではない旨を說き、之に對しドラモンド氏は初めは諒解し兼ねてゐる樣子であつたが話を續けるに從つて日本側の立場を諒解した模樣であつた

紐育事務所 當分存續

滿鐵の紐育事務所は經費節減のため本年內に廢止に決定してゐたが滿洲事變發生後滿蒙事情に精確なる知識を有せざる歐米人は兎角支那の逆宣傳に乘ぜられる憾みありこれを是正するためには滿鐵としても歐米主として米國の朝野有力者就中各新聞に精確なる事實を提供して誤解を防止する必要あるを以てニューヨーク事務所は滿洲事變の解決まで存續するに決定した

滿鐵地方委員 選擧期日

滿鐵沿線の地方委員改選期は事變のために遲延したので十一月實行することゝなり地方事務所々在十四地方では十一月五日、地方事務所派出所々在地は十一月七日或は九日に行ふこと、因に今度始めて公費區として指定された蘇家屯にても本年始めに地委六名選擧することゝなつた

貴院視察團

南支方面視察中の貴族院議員一行は十四日天津から入港の天潮丸で來連する、一行の顏ぶれ左の諸氏

大河內輝耕、土岐章、渡邊汀、中村純九郞、青木周三、赤池濃、八田嘉明、山崎龜吉（同行）山本秋廣、光吉信一

人事

▲野中秀次氏（滿鐵沙河口工場長）十三日出帆はるびん丸にて內地へ
▲清水本之助氏（關東廳技師）同上
▲小島文甫氏（同）同上
▲山口十助氏（滿鐵々道部營業課長）十二日夜大連着急行にて奉天より轉連、十三日村上部長羽田次長等に事務狀況の報告をなしたが十三日二十一時三十分發急行にて再び赴奉の筈
▲津村雅量師（本派本願寺支那開教總長）獨立守備隊戰死者本葬執行の爲め十二日夜公主嶺へ

蛇角

◇ 蔣介石の威嚇を、米國務省が極度に憂慮して居る、日本の聲明や警告には一度もまだ憂慮しない。
◇ 外務大臣諸公ジュネーヴに集る。それだけでも支那はエライ國だ。
◇ 十月になつてからだけでも、もう四千五百萬圓の正貨現送、まだ一度も米國から日本への正貨現入といふをきかない。
◇ 米國の現ナマ橫暴を匡正し、日本への正貨還送の方法を軍部に考へて貰ふか。
◇ 擧國一致內閣說と滿洲復辟說とは同床異夢、前世紀にはそんなこともありました。
◇ 清浦さんの名が出て來た、また時局を流産にするつもりだな。
◇ 重臣の往來、政界の緊張、世界の渦は東洋に捲く、今までは前觸、これからが我等の眞に覺悟をする秋。

東亞の謎（109）

國枝史郎 挿畫 伊藤順三

沙漠の古城（三）

何か事件が起つたらしい。この城から數里離れてゐる、沙漠の中を自動車が一臺——大型の自動車が城の方へ、夕日に照されながら駛つてゐた。

その自動車に乘つてゐるのは、松下伯の一行であつた。

卽ち伯と洋子と次郞と、南部正雄と通譯として雇つた、トングといふ蒙古人とであつた。

この自動車の他にもう二臺、同じやうな大型の自動車が、駛つてゐなければならないのであつた。

ところが駛つてゐなかつた。

その自動車はこの沙漠で、迷兒になつて了つたのであつた。

さうして率直に云ふ時は、迷兒になつたその自動車を、伯達は發見しやうとして、和林へ行くのを放擲つて、こんな方面に來たのであつた。

伯達は大連を出發し、まづ四平街へ到着し、そこで探險の準備をした。

伯の最初の目算としては、可成り大規模の探檢隊を組織し、外蒙古へ押し出す筈であつたが、考へて見れば成吉斯汗の墓場の、眞の有場所が確然と、判明してゐるといふのでは無く、從つて何處を發掘するさ、決定してゐるのでは無いのであるから、大規模の探檢隊を組織するより、兎も角も目下コミロフ博士が、發掘してゐる和林まで行き、どんな樣子か一應見聞きし、その上で方針を定めやう。

しかしその間に何ういふ事があつて、成吉斯汗の墓の有場所が、發見されないものでもない。そんな時の萬一に處さう。そこで伯達は發掘用の器具や、武器や火藥や食料品や、夜營用のキャンプの織物などを、ほんの一通り買求め、そんな程度の仕事をした上、再び汽車で滿洲里迄行き、そこで汽車を乘すてゝ、沙漠橫斷用の大型自動車を、三臺がところ雇入れ、通譯のトングとその他案內人や人夫などを雇ひ、一臺の自動車に器具類を積み、他の一臺に案內人達を乘せ自分達も自動車に乘り、外蒙古の方へ押し出したのであつた。

かうして幾日かを沙漠で暮し、明日は和林へ着くであらうといふ今日、先を駛つてゐた二臺の自動車が、どうした譯か道を違へ——和林へ通つてゐる道から外れ、全然別の方へ駛り出した。

伯達一行は驚いたが、距離が隔つてゐるために、どうすることも出來なかつた。

と云つて放擲つては置かれない、そこで伯達の自動車は、迷兒の自動車の後を追ひ、別の道——と云つても此の方面には、道らしい道などは無いのであつたが——蒙古青年國民黨の、その根據の城廓のある、その方面へ駛らせた。

と、不意に行手の方から、珍しい喇叭の音が聞え、兵士らしい人影が、チラチラ見えたので意外に思つた。

間も無く伯達に見えて來たのは城壁を巡らし、木立に圍繞された嚴めしい廣大な城廓であつた。

「何處だらう？」と伯爵は驚いて云つた。

と、それ迄默々として、一種の氣味惡い苦笑ひを、口邊に浮べてゐた通譯のトングが。

「音車館といふ城廓です。蒙古青年國民黨の、根據地とされてゐるところです。城主は也速該といふお方です。私がわざとご案內して貴郞方を此處へお連れしたのです」かう云つて後は沈默した。

デリッキの故障でマスト折れ死傷

昨夕第二埠頭で荷物を陸揚中　郵船豐橋丸の椿事

[illegible]港としては珍しい椿事が十二日……豐橋丸（七千二十一噸、船長三……）……作業を行つたが、前記時……前部……吊揚げせんと吊揚げて右廻りして……上の貨物は約十間も投げ出され……備は根元より約一間位のところよりポッキリ切斷し慘澹たる有樣を呈し作業中の山東省萊州府生れ市内東山町福昌苦力馬一田（三〇）はマストの下となり即死、同じく附近にて作業中の同船水夫長鳥取縣生れ奧谷善六（三九）同じく苦力陳吉全（二〇）は何れも重傷を負ひ夫々最寄病院にかつぎ込まれた、椿事と共に檢察局よりは高井檢察官、水上署より西辻司法主任以下駈け附け直に檢證を行つたがまづ最大原因と認めらるるものはリーデングライン滑車の取附けある鋲が不朽全か鐵板の不腐によるものらしく損害は約一萬圓程度の見込である【寫眞は折れたマスト】

妙な音がして慘事を惹起　埠頭荷役係の目撃談

慘事の刹那を目撃した埠頭荷役係の語るところによるとデリッキがギイギイと妙な音を立て、ロープがピーンと張られたと思つた瞬間、大きな何物かドカンと岩壁に投げ出されてデリッキはピンとひん曲り乍ら右廻してマストが轟然と船と並行してのしかゝつたものでその時重傷した奧谷水夫長はブリッヂを下りようとしてゐたもので、即死した馬一田はマストの下敷にされ慘澹たる死方をしましたとにかくこんな事件は珍らしく私の知つてゐる範圍では一度外國船のマストが折れたのとこれで二回目の樣な氣がします

海務局長檢證

右事件出來と共に監督官廳たる海務局では船會社側よりの檢査申請があつたので岡本海務局長は十三日午前十時半本船に出張、詳細に調査しその原因につき取調べるところあつた、なほ修理に關して指示をなす筈であるが郵船會社當局ではもし材料があれば大石ドック工場において修理をなすと

原因を究め處置する　江原港務課長談

右事件と共に直に實地檢分に本船に出掛けた江原港務課長は語る
原因はどこにあるか解らないがまづ自分の考へとしてはオーバーロードか或はデリッキ作業技術の不熟練か今一つは鐵鋲の腐損によるものかの三つに基因すると思ふ、こんな事件は珍らしくマストが上部の木材部のところから折れると云ふ話はよく聞くところだが、根元の鐵材のところから折れるなんて實に珍らしい事件である、何れ岡本局長も歸られ當方からも專門の技術者が行つて徹底的に調査するが苦力の作業不熟練とかオーバーロードとなるとまあ本船側ではそう全責任を負はなくて濟むが鋲の腐蝕となると問題はむつかしい、とにかくこの椿事は仲々難しい問題だ

中川海運長談

滿鐵側よりは中川海運長直に現場にいたり十三日朝來詳しく原因調査中であつたがその原因等に關しては
どうもハッキリ自分の口からは云へない立場にある、いづれ海務局の人達に立會つてもらつた上その原因が判然とすると思ふ損害額についてもよく判らない

沙河口電話の呼出し注意

頭數字〇番が出來る

最近沙河口方面の發展著ろしくこれがため沙河口電話分局の加入者は中央局から移轉する者と共に新規加入の增加を來し現在分局の自働交換機設備では全く收容の餘地がなくなつたので遞信局では工費四萬餘圓を投じ新交換機の增設工事を急いでゐたが右工事もいよいよ近日中に完成を見る事になつたのでこの新交換機の電話番號は頭數字に〇を冠し〇一〇〇番から始まる事にした、今後沙河口分局の加入者電話番號は頭數字に九を有するものと〇を有するものとの二樣の番號が出來た譯で今回新規に生れた頭數字の〇も番號の一數字であるから忘れない樣に注意されればならぬ、これがため番號の記憶ならびに稱へ方もマル百二十三番とかレイ二百四十五番とか云はないで例へば〇一〇〇はレイ、イチ、レイ、レイ番、〇一二三番はレイ、イチ、フタ、サンと云ふ樣記に憶しまた呼ぶ事になるのである

漸く財源を捻出し電燈の料金値下げ

來春二月から約一割

既報の如く今春來計畫中であつた滿電の大連電燈料金値下は運輸入江新專務を迎へて又更に値下げ財源を調査中であつたが、この程調査終り又內地各都市電燈料金の比較調査の結果愈々電燈課の手によつて値下げ案が出來上つたので去る八日重役の手許に提出され數日中に重役會議において決定を見れば一應滿鐵へ提出した上近日中に遞信局の手を經て關東廳へ認可申請さる手筈である、電燈課の手によつてつくられた値下げ案の內容は大體一率に一割程度の値下げで定額、定量電燈共値下げされ、値下げ財源としては過般の社員減俸人員整理の結果浮び上つた人件費ほか經費節約費約三十五萬圓を計上されてある、なほ値下實施は現在電燈料改正期の來年二月より行はれる筈であるが、電力料金は既に値下を行はれたものであるから今回は改正されない

チ、ハル婦女子全部引揚げ

けさハルビンに到着

【ハルビン十三日發】齊々哈爾方面形勢いよく逼切したので清水領事の家族外館員の家族二十五名は十三日朝七時四十五分着列車で引揚げて來た、これで齊々哈爾方面邦人婦女子は一名殘らず引揚たが、奧地邦人の大々的引揚は日露戰爭以來のことであると云はれてゐる、鮮人も續々引揚つゝあり他方ハルビン日本小學校生徒にして他に轉校する者增加の傾向にある

武穴の在留邦人全部引揚げ

【漢口十二日發】武穴の反日猛烈なるため在留邦人は全部引揚に決したと

崩壞の原因を現場で鑑定

綜合鑑定意見により事件の成行注目さる

羽衣高女校舍崩壞事件につき地方法院檢察局では、これが原因を究明するため鑑定人として關東廳技師臼井健三氏、南滿工專教授岡大路氏、滿鐵理學研究所土木係主任宮島忠雄氏等を選定、詳密なる鑑定を行はることになり、池內檢察官は長瀨書記帶同十三日正午より現場に赴き、鑑定人全部を現場に召致し崩壞現場に於て實地鑑定をなさしめた上崩壞原因につき鑑定人の綜合鑑定意見を徵するところあつたが、その鑑定人の綜合意見は事件の成行に直接的重大影響ありと注目されてゐる

更に壓死者三名發掘　死亡數十九名

羽衣女學校の崩壞現場に於ける死體發掘、復舊作業は連日徹宵にて理業組合、その他工事關係者によつて續けられてゐたが、十三日早朝更に壓死者三名を發掘、これにて十二日迄の發掘壓死者並に病院にて死亡した二名を加へ死者十九名となつた

大檢の花代どこまで値下か

約束十一本明し花二十本で役員會で一先づ妥協

大連三業組合の花代値下問題は料理屋待合側と藝妓置屋側とに利害の衝突を來し、數回會合を試みたが妥協點を見出すに至らず、値下派の待合側は置屋側に一日の考慮を與へた結果十二日午後一時から役員會を開催、最後の妥協案を決定すべく協議したが、待合側の約束花（一時間短縮して）三圓廿錢明花午前一時まで六圓、午前一時より八圓の値下主張に對し置屋側は約束花三圓六十錢、明花午前一時まで十圓、午前一時より八圓を固持して讓らず依然議論沸騰して容易に纏まらず、遂に待合料理屋側は幾分讓步し左の如く多數決をもつて決定、來る十六日午後一時から開催の臨時總會に提案することゝなつた
▲約束花午後六時から八時半まで十一本を四圓四十錢（八十錢値下）
▲明し花八圓（二圓値下）
しかして役員外の會員にも相當積極的意見を持つてゐるものもあり

五郎蝶活劇を演じ訴へらる

賴母子講から口論して暴行

喜劇俳優曾我廼家五郎蝶こと西田彌吉（三九）が喜劇ならぬ活劇を演じて十三日傷害罪で大連署に訴へられ、告訴人市內近江町十七番地高館傳次郎（五四）の言分によると五郎蝶とは昨年夏頃から賴母子講のことから知合となり、其後妻子を內地から呼び寄せたりして何くれとなく世話をしてゐたが、去る八日午後七時三十分ごろ五郎蝶の自宅で賴母子講のことから口論となり五郎蝶は「お前のやうな奴は殺してやる」と湯呑茶碗を告訴人の頭部に投げつけ全治十日間の裂傷を負せたといふにあり、吉富警部補は五郎蝶に就いて取調中

喫茶店の壁が墜落

浪速町騒ぐ

十二日午後一時頃浪速町三丁目に最近出來たうさぎ喫茶店の入口天井の壁一枚位大きさの壁がガラガラと素晴らしい音をたてゝ落ちて來た、前日の十一日に羽衣女學校倒壞の悲慘事があり未だ死體發掘中といふ生々しい時だけに附近の者は驚いて「それまた倒壞だッ」と早合點した彌次馬が駈つけ大騷ぎ、幸ひ下に人がゐなかつたので怪我人はなかつた
同家屋は加賀美建築事務所の手で一ケ月位前に改築したもので生新しい天井のモルタルが不完全だつたと見え剝落したらしい

鬼が出た!!

探偵小說界の巨匠、江戶川亂步氏の大傑作「鬼」がキング十一月號に發表、ヤンヤの大喝采。

列車組立の改正實施

能率を增進

滿鐵々道部にては作業能率增進の見地から十三日附社報を以て列車組立の改正を發表し、來る十五日より實施の豫定である、改正の主要な點は組立驛より鐵嶺を除外し大連埠頭、大石橋、蘇家屯、四平街、長春の五驛としたことゝ車輛連結順序に就いて從來の驛別主義を廢し地帶主義とした點である
卽ち從來の貨物列車の連結順序は各組立驛にてそれぞれ到着驛順序に編成をしてゐたため連結替に多大の手數を要したが、今回は連結區域を大連大石橋間、大石橋蘇家屯間、蘇家屯四平街間、四平街長春間の四地帶に分ち連結順序を地帶別に行つて各組立驛は自己受持の地帶についてのみ到着驛順序に貨物の連結を行ひ他の地帶行の貨車はそのまゝとしこれに要する手數を省くことゝなつたもので、これにより大連、長春間に於て列車の連絡のために要してゐた從來の時間を約一時間短縮し得る見込である

軍事秘密書紛失す

野砲八聯隊で

【東京特電十三日發】弘前第八師團管下野砲第八聯隊所管の動員計畫に關する軍事秘密書が紛失し外部の者の手に入つた形跡あり全國に亘り犯人嚴探行方搜査中なるも時節柄重大視されてゐる

旅順戰蹟リレー參加チーム決る

都市對抗は撫順大連旅順

關東廳體育研究所主催の第七回旅順戰蹟リレー大會は來る十七日午後二時三十分旅順運動場を起點として擧行するが、既報の如く本年度からは都市對抗戰を加へたので一層興味をひき十日申込を締切つた結果、參加チームは左の如く決定した
▲第一部（全滿都市對抗）▲撫順代表（佐藤勇、西川乙市、鄭仁秀、立石忠行、川崎秀雄）▲大連代表（濱田常盛、永谷壽一、大數寛一、八重樫榮太郎、金光秀三、渡邊逸、志水政市）▲旅順代表（河野萬治、柳澤忠次郎、岡澤亘、上倉熊一、上倉仲一、眞砂勝喜、長谷青吉）
▲第二部（一般對抗）▲大連アスレチック倶樂部▲大連土木課出張所▲滿鐵道部綠友クラブ▲旅順刑務所▲關東廳A組▲關東廳B組
▲第三部（中等學校對抗）▲大連第一中學校▲大連第二中學校▲大連商業學校▲旅順第一中學校A組▲旅順第一中學校B組▲旅順第二中學校A組▲旅順第二中學校B組▲旅順師範學堂A組▲旅順師範學堂B組

楊草仙翁來る

十三日入港大連丸にて九十三歲の老齡の書家楊草仙翁が來連したが十五日より三日間中日文化協會において草書展覽會を開く

青聯代表歡迎會

青年聯盟の第二回內地派遣員一行は既報の如く十四日うらる丸にて歸連するので同日午後四時よりヤマトホテルにおいて歡迎慰勞會を開催し大にその勞を犒ふことになつた

大連神社の月次祭

來る十五日大連神社の月次祭には氏子代參當番町嶺前中區の氏子役員參列の上當日午前十時より月次祭典を執行する

うらる丸

十四日午前八時半大連港外着豫定

煖房座談會

滿洲技術協會煖房相談所では十三日午後四時半より市內滿洲土木建築協會廣間に於て同相談所役員を中心とし煖房に關する座談會を開催する

本社參觀

十三日午前中伏見臺公學堂初等科四年男生徒二十二名、篠田豐作氏引率見學

天氣豫報

西の風（晴）（十四日）

各地温度

	十三日午前十一時	十二日最高
大連	一九、三	一八、七
旅順	一八、六	一九、九
營口	一八、六	一八、七
奉天	一七、一	一九、四
長春	一五、七	一九、七

滿潮（午前）十一時四十五分（午後）—
干潮（午前）五時五十分（午後）五時四十五分

けふの小洋相場（正午）金百圓は二三七圓七十錢

可愛い應援團で一杯

絶好の運動日和に勇躍し好記錄出る

けふ大連運動場で開催された小學校聯合競技會

大連聯合會主催の大連小學校聯合競技會は十三日午前九時より大連運動場に於て開催、定刻伏見臺、朝日、日本橋、常盤、大廣場、春日、松林、南山麓、沙河口、大正、嶺前、聖德、周水子、下藤の順序に參加小選手千六十四名の入場式を行ひ中央役員席前に整列スタンドを埋める約一萬の應援の小學生脫帽起立の上君ケ代を合唱して中央ポールに國旗を揭揚し倉島會長の開會の挨拶後、直に尋六男二百米より競技を開始したが、絶好の運動日和に小選手勇躍、尋六男百米に於ける聖德久保田の十三秒五の好記錄を始め各組とも好成績を擧げスタンドを埋める應援團各々技毎に萬雷の如き拍手を送る午前中の戰績左の如し

尋六男二百米 ▲1高橋邦雄（南）二九秒二2永野義行（正）3大野一（日）▲1島田作（伏）二八秒八2宮澤實（沙）3宮田收人（聖）▲1宮本秀德（聖）二九秒六2渡邊一（廣）3林俊夫（日）▲1北原勳（南）二九秒八2吉井清幸（朝）3稻垣豐（正）▲1山口幸男（伏）二九秒八2中村緋見（南）3森岡儀（正）▲1松尾典（沙）三一秒五2市川末雄（日）3和田和夫（廣）

尋五男二百米 ▲1內田正郎（朝）三〇秒七2鈴木義男3入江善衛（聖）▲1村木實（常）三一秒七2武田信一（下）3辻健一（春）▲1吉野五郎（廣）三一秒五2宮士公央（春）3澤（常）▲1武井光（聖）三一秒六2劉榮武（嶺）3山崎辰英▲1安永識彥（南）三一秒八2石橋秀介（朝）3坂井尚武（伏）▲1笹川俊雄三二秒二2佐藤健次郎（日）3島田賜郎（廣）

尋六女百米 ▲1加藤佐知子（嶺）一四秒七2日野房江（常）3駒田八重子（松）▲1原マツ（日）一四秒八2岡野絹子（朝）3錦宮京子（伏）▲1三田茂子（嶺）一五秒一2大森美佐子（春）3大竹時子▲1熊谷利子（正）一四秒八2吉田潔子（朝）三原安子（聖）▲1山田加代（日）十五秒二2山元和子（正）松村良子（朝）▲1宮前滿子（春）一五秒2竹原富子（常）3小森澄子（周）

尋五女百米 ▲1大西壽美子（嶺）一五秒五2小宮信子（日）3早川壽美子（常）▲1岩崎靜江（朝）一五秒一2四尾道子（廣）3日高津慧子（下）▲1百東梅（伏）一五秒五2中川義子（嶺）3竹內泰子▲1岡田チエ子（南）一五秒二2松田光子（正）3佐藤和（沙）▲1江上千鶴子（朝）一五秒五2岸ミツエ（伏）3金連順（南）▲1平田サナエ（嶺）一六秒2水橋房子（松）3齋藤茂子（聖）

尋六男百米 ▲1一色忠彥（聖）一四秒二2村田泰次郎（日）3杉江一雄（春）▲1松本恒三（南）一四秒二2窪堀正久（嶺）3山崎守▲1伊藤實（南）一四秒四2柿田吉郎（正）3鶴見和夫（春）▲1高名計三（聖）一四秒2木下實（伏）3田崎忠彥（朝）▲1久保田正登（聖）一三秒五2村井安次（朝）3古谷哲郎（春）▲1宮武寬（南）一四秒三2黑木穰夫（正）3富永岩吉（嶺）

尋五男百米 ▲1岩永俊保（下）一四秒七2山內實（南）3神之村正（日）▲1曾根滿次郎（聖）一四秒一2小谷絅（朝）3天滿昌美▲1吉川秀男（松）一五秒二2內田浩（嶺）3菅野淳吉（朝）▲1曾根芳雄（春）一四秒八2宮田武郡（南）3菅川謙一（聖）▲1齋藤良夫（嶺）一五秒二2岩本榮（日）3伊藤博史▲1平田堪一（正）一五秒一2長沼正二3柳澤義男（朝）

尋四男百米 ▲1小野寺昌（沙）一四秒九2山口秋男（正）3增田彥（朝）▲1藤本義一（伏）一五秒三2野村眞（日）3井手確（下）▲1菅原光男（正）一五秒三2武田英一郎（嶺）3小田豪澄（廣）▲1實門明（常）一五秒六2金田榮一（朝）3淵江喜久雄（伏）▲1藤井敏夫（正）一四秒九2中村虎夫（伏）橋本利夫（沙）▲1辻正一（南）一五秒四2笹岡正（嶺）

尋四女百米 ▲1松尾アヤ子（嶺）一六秒五2中村貞子（南）3廣光タマエ（日）▲1多田常子（伏）一六秒2吉野富美子（廣）3佐々木滿壽子（常）▲1市川時子（南）一六秒2山本房子（聖）3島田美佐子（春）▲1市川敏子（日）一六秒2松本美喜子（伏）3佐藤美也子（嶺）▲1田中壽枝子（常）一七秒2村田ツル（伏）3園田澄（嶺）▲1田代喜美代（沙）一六秒四2加藤はつ江（日）3初田信子（正）

尋六女走巾跳 ▲1秋山溫子（松）三米八五2小田秀子（伏）3青木玉枝▲1宮本美智子（朝）三米五五2佐藤淑子（正）3三上美千▲1稻垣滿壽子（松）三米六三2濱崎登美子（日）▲1山崎壽美子（伏）三米四一2有田喜久（沙）3三隅千枝子（嶺）

尋六男走巾跳 ▲1田中迪（嶺）四米三〇2中野清一（正）3八丁敏臣（日）▲1吉本末吉（南）三米九八2西川鐵三（伏）3小林廣四（廣）▲1藤原敬吾（嶺）四米二五2百田實（正）3高木一夫（常）▲1久保一郎（朝）2伊地知季堯（廣）3小川光雄（聖）

暗流阿修羅館 (214)

生田蝶介　挿畫 藤井耕達

月夜の夢（六）

新左衛門は約束通り、一人の女を連れて、その翌日の夕方、奉行を役宅に訪れた。

「どうして……?」

奉行は、びつくりした。

あゝは云ふものゝ、まさか、神通力があるわけではない。と思つてゐた。

（それとも、やはり、あの忍術つかひの曲者か知ら）

まさか。

だんだん、新左衛門といふ人物が、はつきりしてくるやうに思へるが、それでゐて、流石の奉行にも、なかなか摑めなかつた。

「どのやうにして連れ出したかについては、どうぞ、何事もお聞きにならぬやうに……ただ、このお蓮殿に、要點だけお聞き下さるやうに」

（たが、普通の人には出來ないことだ、そこに不思議さがある）

と、奉行は默つてまじまじと、新左衛門の顏を見た。

其所に連れて來られた女は、つゝましく、袂を膝の上にかさねて、俯向いてゐた。

やはり、席に與力由比がゐた。

由比は、奉行よりはもつと、新左衛門について疑問をもつてゐた。そして、新左衛門の連れて來た女を見た時

（はてな、何處かで見たやうだが）

すぐさう思つた。しきりに、そのことについて考へた。思ひ出さうとした。

つい、其處まで思ひ出されてゐて、思ひ出されなかつた。

「お蓮殿、と云はれたな」

奉行は、女に訊きはじめた。

「はい」

女は、一度顏をあげたが、またすぐ俯向いた。

「他のことでもないが、あなたは丸八の蚊遣香で一時中毒され、危篤になられたことがありますかな」

女は頗る怪訝な顏をして、この時だけ、ちらと涼しい眸を奉行の方に見せた。

「それは、何のことでせうか」

「いや、中毒されなければそれでよい」

奉行は、紙をのべて、訊きながら、いろいろと書き込んだ。

「あなた以外の方、だれか、あの線香に中られた方がありますか」

「いゝえ、そのやうなことはちつともありません」

「それについて、田沼殿は何も云はれたことはありませんか」

「あ、さういへば、三日ほど病氣の態にして寢てゐてくれ、重病のやうに。と云つて寢かせられたことがあります。私は、殿のことゆゑ、別にさからはずに、その通りにして居りました」

奉行は何かしきりに書き込んでゐた。

先程から默つて、代り番に二人の顏を見てゐた由比が

（あ、わかつた）

と、胸の中で云つた。

（この女は、あれに相違ない。田沼の姿とは眞赤な僞りだ）

もとく新左衛門を怪しくおもつてゐる由比のこと

（こいつ、眉唾ものだわい）

と思つてくると、彼は、もうじつとしてゐられなかつた。

彼の思ひ出したのは、行方不明になつてゐる角海老の九重であつた。

姿こそ上品に、つゝましやかに出來てゐるが、その顏はまがふ方ない。

（あの女）

である。

耕達畫

キネマと演藝

時代劇掏摸の家

◇長谷川伸氏の原作、芝居では度々上演され好評を博して來たものだけに、筋だけで觀客を多分にアッピールするだけの要素を多分に有してゐる、物語りは終始人情味で押してゐる、初めは掏摸の庄吉が弟の金次に對するもの、中程では庄吉が金を掏摸とつた濱人河邊に對して、最後は岡引隼銀兵衛が庄吉に對して……皆情のやり取りで組み立てられてゐる。仲間の伴次との爭ひ等は添へ物だ。

◇監督は白井戰太郎「松葉かんざし」に次ぐ作品だ。決して惡い監督ぶりではないが、と云つて格別新らしい處も無い、むしろストーリーに引きづられて、主演者に引きづられて、出來た作品といふ感じの方が深い、ここに配役に不注意なのがひどく目につく、庄吉の弟金次に扮する市川右門、濱人河邊に扮する山口勝久等、どうしても一考しなければならぬ役所だ、松井鴻の撮影は惡くない。

◇市川右太衛門の掏摸の庄吉は適役、いかにも義俠に富んだ江戸ツ子らしい氣分がよく出てゐる、右太プロではこの人以外にこの役を持つて行く處が無からう、高堂國典の岡引隼銀兵衛は右太衛門の庄吉に對していゝ取り合せだ、高堂の演技の老巧は右太衛門の芝居を非常に樂にしてゐる、武井龍三の伴次、梅田菊藏の講釋師等先づ無難、面白く見られ、又相當泣かされもする映畫だ【寶館上映中】

愈よ今明日限り　大日活の鳴呼中村大尉

去る八日封切以來連日盛況續きの大日活に於ける本社主催の「鳴呼中村大尉」映畫會は愈々白熱的好評裡に今明日の十三、四日の二日間限りとなつたから、この機を逸せず滿洲事變を映畫化した愛國軍事映畫を本紙刷込讀者優待券を利用して觀覽されたい、なほ同映畫は引續き旅順をはじめ沿線主要都市にて上映される筈で目下長館主が打合せのため出張中である

岳諷會

第八十五回素謡例會を十三日夜滿電俱樂部で開催、番組は右近、八島、東北、菊慈童、殺生石、松風

噂話

帝國館はシンプレックスださうの評判だつたが本社が耐光スクーンを依頼したザイスの話になると▲今春の映畫展に出品したエルネマン映寫機の新品が近く入荷するのでこれを入れるとのこと▲電氣工事を請合つてゐる是恒商店に聞き合はして見るとエルネマンの二號機に決つたとのこと▲値段は二臺で四千圓で内地では五千八百圓位に松竹なぞが取扱つてゐる▲滿洲ではハルビンがエルネマン全盛で、上海も相當エルネマンが市を利かしてゐる▲滿鐵弘報係撮影の滿洲事變映畫會は都合で來る十九日協和會館と變更されたが▲これがため豫定の學生デーにも滿洲事變映畫上映が出來ずプログラムの一部が變更されることになつた

ペーブメント

カフエーマンの調査によると連鎖街の大小カフエーのうち、矢張りはやつてゐるのはワカナだとのこと、それに次いでミス・ダイレンが開業當時より却つて近頃の方が成績をあげて來た、このワカナとミス・ダイレンの對立はホールの設備、女給のサービスその他の點から對照して一寸面白いカフエーマンの好みを示してゐる、女給の番の數字をあげるとワカナが五回、ミス・ダイレンが四回半から五回（二階）で階下は六回位に

夜目遠目

大檢は花代値下げでごたごた、秋風と共に所帶苦勞も身に沁みる自前の連中、待合側の意見通りになつたら藝妓の乾物が出來ると大フンガイ。

そうかと思へば枕金なんて全廢したいといふ聲に元氣なところが美濃町は遊廓でないとキツイ反對

そこへどつかの置屋はうちの抱妓は枕金なしに言ふことをきかしますとふれて廻つたとか流言蜚語が飛ぶ。

どつちがどうなのか賑やかなことであるが、結局は豬一枚で待合で一夜が明かされることにならうかといふので喜んだのは猛者連で、またカフエーから待合へ歸らうかと形勢を觀望中。

本社特選 新棋戰（其六）

平手先　六段　△飯塚勘一郎
　　　　六段　▲小泉兼吉

【圖は六二と迄の局面】

▲小泉氏（持駒）銀銀香歩歩
△飯塚氏（持駒）銀桂香歩歩

▲八六歩　△二三歩
▲四四角　△二二銀
▲同銀　△同歩
▲同角　△二一龍
▲三一銀　△四五桂

【土居八段講評】▲小泉君の八六歩打の攻撃準備は手緩い。目下自玉も危險狀態であるが故、グズグズして居られないから六七香と打込み、直接攻撃を執る處である△其時飯塚君の二三歩打以下の攻め方は巧である。

【荻原六段解說】小泉氏の八八歩は若し同歩なら八七歩、同金、七八銀、同玉、五九龍と逼る含みである。その時飯塚氏二三歩と攻めたのは好手で、同金なら三五桂打にてよく、故に小泉氏四四角も已むを得ない、然して二二銀と打込み、同銀、同歩成、同角となつて、二一龍と先手に逼られ、四五桂と玉の退路を防がれては小泉氏苦戰となつた。

滿洲日報
廣告料　普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

干渉は斷乎拒否
首相、外相閣議で言明
重臣會議開催說否定

【東京特電十三日發】十三日閣議席上滿洲問題に就き聯盟及び米國その他第三國が干渉的容喙をなした場合如何なる態度を執るかとの質問に幣原外相は**萬一他國が干渉がましき行動に出づることがあれば政府は斷乎としてこれを拒否する決心**だと述べた、また若槻首相も同樣強硬な態度を示した、また若槻首相が重臣を訪問して滿洲事變を中心とする現下の重大政局につき種々說明諒解を求めたのは難局打開のための**重臣會議開催の豫備行動**と見做す者あるが首相今回の行動は決して**重臣會議の豫備行動ではなく**政局擔當者としてこの未曾有の重大難局に直面し單に國家の重臣に**報告諒解を求めたに過ぎない**と云ふことに意見一致し重臣會議開催說を否定した

と主張してゐる內容左の如し
日本軍の撤退延期、錦州爆擊事件は總て國際聯盟に對する挑戰である、日本は直接交渉に依り支那を屈服せしめ滿洲に於ける自己團體の勢力下で作られたる地方官憲と勝手に解決を圖らんとしてゐる、日本は既得權益確保の保證、排日運動の即時停止を要求してゐるが支那政府の態度は國際聯盟規約侵略行爲に對する制裁條項の適用を理事會に要求するに變りない、支那政府は日本軍の即時完全なる撤退、張學良軍の奉天歸還を絕對的先決條件とし責任は一切日本側に於て負ひ損害額を決定して賠償を要求す、平和を愛好する支那政府は再三聲明せる如く聯盟規約に依り解決せんとす、今や和平解決は本日の理事會に於ける日本の態度如何に掛つてゐる、若し日本軍が滿洲に於ける事態を九月十八日前に復舊せざる限り如何なる解決案も斷じてこれを考慮せざることを茲に聲明す

山海關迄の地帶は我滿鐵附屬地外側
陸相等の意見一致

【東京十三日發】南陸相は十三日の閣議終了後參謀本部に金谷總長を訪問閣議の經過其の他を報告したる後錦州山海關方面における情勢につき懇談を遂げ**山海關迄は滿鐵附屬地外側に屬し鐵道守備上必要と認むる場合は直ちに軍事偵察**をなし今回の如き**偵察用飛行機に敵對行爲**を執る場合**は自衛上これと應戰す**るも已むを得ぬと認める**又山海關以西に於いても**日本軍居留民等に暴虐を加ふる場合は**適宜の處置を執る**に意見一致し其の旨直に北支駐屯軍司令官香椎少將宛訓電を發した

擧國一致內閣一蹴
民政黨總務會の意嚮

【東京特電十三日發】若槻首相は重臣方面を歷訪し滿洲事變の眞相を說明し諒解を得つゝあるが之を中心として民政黨は十三日午後二時三十分本部に總務會を開き賴母木總務以下出席各員より
一、首相の重臣歷訪內容
二、擧國一致內閣說に對する政府首腦部及び黨幹部の意見如何
を質問賴母木總務より
一、首相は滿洲事變を重大視しこの經過を重臣、政黨總裁、貴族院議長に說明諒解を求めた以外意味はない
二、擧國一致內閣說は國民多數の信賴をうけ居る現內閣が執らざるところである
と擧國一致內閣の無意味なるを述べ午後四時三十分散會した尙地方黨員にも右の旨を通知不安一掃に努め一致して現內閣を支持することゝなつた

日本軍の撤退前は交渉には應ぜぬ
國民政府聲明書發表

【南京十三日發】國民政府は日支現下の時局に關し十三日聲明書を發表した其の內容は直接交渉の要求を否定し日本軍が撤退して九月十八日前の狀態に復舊せぬ限り支那政府は如何なる交渉にも應ぜぬ

滿洲事變に關し中外に聲明す（三）
滿鐵社員會發表

滿蒙に於けるこの排日行動を見よ

滿蒙に於ける排日行動は眞に計畫的であり徹底的であつた、左の事實を見よ

一、旅大回收運動
關東州租借權はポーツマス條約の結果、滿國政府の承認を經て露國より讓渡せられ、其條約によつて一九九七年三月二十七日を以て滿了すべく定めたこと周知の如くである、即ち今後なほ六十六年を餘すのであるが、支那は之が無効を宣言し盛に回收の運動を起すのみか、之を以て日本の交渉回避の口實としつゝある

二、滿鐵經營權侵害
（A）日本は滿鐵並行線を拒否する條約上の權利を有する、支那は此權利を蹂躙し我抗議を無視し故らに滿鐵の集貨圈に競爭線を敷設したのみならず、其後東北交通委員會は着々滿鐵包圍の計畫を進め、滿鐵を挾んで東西二大幹線の建設を企圖してゐる、過去二十年、營々として滿鐵が育てた果實は一朝にして彼の爲めに奪ひ去られんとする
（B）日本は滿蒙の開發に當つて支那官民と協力せん事を希望し、我が資本と技術とを以て支那の鐵道建設を援助した、即ち借款によつて四洮線を、工事請負によつて洮昂、吉敦兩線を滿鐵は建設したのであるが支那は之を滿鐵壓迫に利用しつゝある、鐵道建設の爲め借款の償還は勿論、其利子或は請負金の一部をすら曾て支拂はず、無代價にて建設したる如き狀態を利用して極端な運賃低下を行ひ、以て滿鐵の貨物を奪取しつゝある

三、商租權障害
支那は曾て日本人の商租を認むる條約に調印した、日本人は之によつて內地に於ける土地を利用し以て支那人と協力して開發の實を擧げ得べきものである、然るに支那は之が細目協定に應ぜざることに十六年條約をして空文たらしめたのみならず私かに外人の企業を阻止すべき幾多の法令を發布するの不信を敢てしたのみならず國內法上の行政處分により日本人に土地家屋等の貸與をなすものを拘束し、甚だしきに到りては極刑を課して間接に日本人の一切の商業的行爲の自由を奪つてゐる

四、商工業壓迫
商租權問題の未解決のため、日本人が自由に居住し安んじて其業を營み得る地域は、現在漸たる鐵道附屬地のみであるが、附屬地は日本によつて其治安が維持せらるゝ結果として日支人を始め歐米各國人によつて各種の企業が行はれ歐米式市街が繁榮してゐる、然るに支那は官憲力を以て附屬地を經濟的に封鎖せんとし、或は不法課稅を以て、或は原料供給の制止を以て外國人の商工業を妨害しつゝある、甚だしきに至つては官憲が愚昧の地方民を使嗾して附屬地に對する長期に亘る野菜の供給拒絕をなさしめた實例さへある

昨日の閣議

【東京十三日發】十三日の閣議は午前十時開會劈頭若槻首相は支那及び列國に對する關係重大となり國家の將來につき愼重考慮すべき時期に起つた自分は誠心を盡して輔弼の責任を盡してゐるが此の上とも國家の重臣に對し諒解を得て置き度いと思ひ昨日淸浦、山本兩伯を訪問し今日は犬養政友會總裁、高橋是淸氏を訪問午後は德川貴族院議長山本達雄男を訪問する筈なるが故に閣僚も速かに豫算を編成し內外の重大事件に當りたいと述べ豫算編成に關し問答あり行財政審議會の行政整理要綱を決定したる後幣原外相より國際聯盟への回答につき事後承諾を求め次で安保海相より南支に於ける狀態は漸次惡化し居り宜昌にある海軍俱樂部に支那兵亂入し器物を破壞し書記の住宅に放火し火事を起したと報告し午後一時散會したが尙同閣議に於て左の如く決定した
一、一家より多數の兵役義務者を出したる場合に於ける表彰の件

首相等協議

【東京十三日發】若槻首相以下全閣僚は閣議散會後午餐を共にしながら刻下の財政外交重大問題對策につき協議した

首相、犬養總裁會見內容

【東京十三日發】今朝の若槻首相と犬養政友會總裁の會見に於て左の重要な意見交換が行はれた
犬養總裁　交渉の相手如何
若槻首相　原則として中央政府を相手方とする方針であるが問題如何に依つては地方勢力を相手とすることもある
犬養總裁　本問題の結末をどうつけるつもりか
若槻首相　治安維持の見込みが附けば撤兵するつもりである、而してこの際滿蒙問題の根本的解決をなす考へである

首相、德川議長山本男を訪問

【東京十三日發】若槻首相は午後二時半官邸を出で德川貴族院議長を訪ひ滿洲事變に對する報告をなして諒解を求め次で三時半山本達雄男を私邸に訪問同樣報告をなし懇談の後四時半辭去した

內田總裁園公を訪問

【大阪特電十二日發】東上の途入洛した內田滿鐵總裁は今朝九時四十分淸風莊に園公を訪問し約二時間に亘り滿洲事件の眞相を詳細報告十一時半辭去した

重臣の意見　時局を注視

【東京特電十三日發】時局重大に鑑み若槻首相十二日來山本、淸浦兩伯、犬養總裁、高橋是淸氏、德川貴族院議長、山本達雄男等を訪問時局の經過を報告したが重臣の一致せる意見は此際積極的意見をなさず時局を注視し更に國家の危殆に陷らんとする場合に適宜の方法を講ぜんとするもの、如し

園公近く上京

【東京十三日發】京都の淸風莊に在る西園寺公は時局極めて重大なるに鑑み近く上京することになつたので京都に公を訪問する筈だつた淸浦伯は公の上京を待つて訪問することゝなつた

陸海兩相協議

【東京十三日發】南陸相、安保海相は閣議散會後若槻首相と會見滿洲警備並に長江沿岸の海軍行動を報告對策を協議した

余は下野などせぬ
張學良氏外人記者に語る

【北平十三日發】張學良氏は昨日外人記者團との會見に於て左の如く語つた
余の下野說は誤傳で現下危急の際不可能のことである、余は國際聯盟に委れ正義の勝利を期待してゐる、滿洲の獨立運動は日本が思ふ儘になる政府を樹立せんために敎唆してゐるもので省民の意志でない、開原地方で鮮人が虐殺されたとの說は知らぬが事實とせば其の責任は占領者たる日本側にある

ブリアン外相

【パリー十二日發】ブリアン外相はスペイン議會の事態切迫の理由にてジユネーヴ行見合せを要求されたので遂に理事會出席は不可能となつた

は十三日の理事會に出席すべく本日午前十一時パリー發ゼネヴに向つた

聯盟の態度不可解　一露人の談

日本軍飛行機の錦州爆擊について一ロシア人は左の如く語つた
露支紛爭の際ソウエート飛行機はハイラル、滿洲里に爆彈を投下したのと同じ狀態である、その際國際聯盟が問題にせず今次の日本軍飛行機の錦州爆擊を國際聯盟が問題にするとは不思議である【奉天電話】

戰爭行爲に出でぬ公式保障を要求
聯盟の處理方式案

【東京特電十三日發】ジユネーブ發電によれば正午よりの**聯盟理事會に先だち滿洲事變を討議すべき英、獨、佛、伊、西班牙五國特別委員會は**本日午前十時**開會され佛外相ブリアン氏の提案に成る日支問題處理の方式案を審議中**だがその內容は左の如きものと解される
聯盟理事會は日本政府に今後滿洲において何等の戰爭行爲を起さゞる旨の公式保障を求む

全般的問題も討議　十三日の聯盟理事會

【ジユネーヴ十二日發】錦州事件の爲め豫定を繰上げ十三日開かれる聯盟理事會は同事件のみを扱ひ右事件に關する調査委員會を設置する件が提議されるものと觀られてゐる、然し全體としての日支問題も樂觀すべからざる狀態にあり從つて解決擧らぬので理事會は引續き全體的問題に移るだらう

監視者を列席させ日支直接交渉期待
米國政府當局の見解

【ワシントン十二日發】米當局は滿洲事變を頗る重視しその平和的解決を熱望してゐるが確聞するに米政府としては滿洲事變を解決する最良の方法は矢張兩國の直接交渉に俟つ外ないといふ見解を持し兩國の紛爭事件そのものが如何なる解決の結果に到達するかには觸れたくない意向である、即ち米當局としては滿洲に起つた紛爭は政治的に最もデリケートなものだとし態とこれに手出しする事を躊躇してゐる形だ、而して米政府は問題の平和的解決に導く事に全力を傾注せんとするのだが今日迄支那側が日本との直接交渉に反對してゐる爲解決を妨げたものだとなしこの支那側の反對は兩國間の交渉に中立のオブザーヴァを列席せしめる事に依つて除去する可能性あると頗る強く主張されるに至つた

レルー氏缺席

【マドリッド十二日發】聯盟理事會議長レルー氏は大統領ザモラ氏

軍部、張氏との關係を絕つ
柴山少佐は關東軍詰め

張學良氏顧問柴山兼四郞少佐は關東軍司令部の第四課（情報係）詰めとなつた、これは日本軍部と張學良氏との絕緣を意味するものである【奉天電話】

吉林臨時省政府ハルビンに組織
各廳長その他を決定

かれて張作相、張學良兩氏間において熙洽氏の吉林政府に對抗してハルビンに吉林臨時省政府を組織する計畫が進められてゐたが此程準備完了したのでいよ〳〵十二日ハルビン東支鐵道管理局內に臨時省政府の組織を實現した、省政府委員の顏觸れ左の如し
參謀長　李振聲
副司令代理　王之佑
財政廳長　徐晉賢
農鑛廳長　王宋善
建設廳長　徐士達
醫務廳長　高齊棟
敎育廳長　李樹滋
秘書長　干[illegible]師
外交特派員　鍾[illegible]琦
高等顧問　宋汝賢
同　王樹聲
同　梁廷樞
なほ右の幹部は孰も吉林ハルビンの舊官僚のみである【奉天電話】

黑龍江獨立運動漸く具體化
湯氏との諒解成る

張海鵬氏の黑龍江省政權奪取運動はその後遲々として進行しないやうに見えたが此程熱河の湯玉麟氏との諒解成りいよ〳〵積極行動に移るに決し洮南、洮安兩驛には目下武器彈藥の輸送に多忙を極めてゐる【奉天電話】

數日中に衝突

黑龍江軍は張海鵬軍の北上を阻止すべく大賚の一帶に第一線を又江橋に第二線の防禦工事をつくり兵の集結をなしつゝあるが兩軍の衝突もこゝ數日の間ではないかと觀測されてゐる【長春電話】

馬占山氏も獨立を宣言

黑河警備司令馬占山氏は各地の獨立風潮の形勢を觀望中であつたがいよ〳〵意を決し十二日獨立を宣言し軍隊の移動を開始した【奉天電話】

わが軍の偵察機に敗走兵の一齊射擊
わが軍の損傷は多大

十三日午前九時わが偵察機三機が新民府西方の敗殘兵及び土匪の情況偵察のため打虎山附近に差掛かるや武裝兵を滿載した約三十輛連結の軍用列車を認めた、該列車は錦州方面に進みつゝあつたがわが飛行機を見るや機關銃、小銃を以て無慮數萬發の猛射を浴せた、このため各飛行機は多大の損傷を受け一機の如きは數十發の彈痕を殘し操縱將校中尉は外套の背部に銃彈をうけ同乘將校の地圖は彈痕だらけとなつた、わが飛行機は之に應戰して二三個の爆彈を投下して正午歸來した【奉天電話】

爆擊の死者皆無
支那側の甚しい逆宣傳

日本飛行機の錦州爆擊被害狀態について某支那人の語るところによると支那側の北平への報告は非常に誇大にして、爆擊による死者は皆無であるに拘らず爆擊現場に苦力、車夫、老婆等を死んだ如くに裝はせて寫眞をとり逆宣傳してゐる、尙爆擊直後支那側官憲は天津北平の外國新聞記者を呼んで有利な材料を集めてゐた、また支那中流階級婦人を仰向けに臥かせて寫眞をとりこれも盛に逆宣傳を行つてゐる【奉天電話】

北寧線沿線の支那駐屯部隊

北寧線の（皇姑屯、山海關間）の支那軍隊駐屯の概況は左の如くである
一、新民府附近は錦州から來る列車內に支那軍負傷兵十數名、武裝兵十數名が乘車してゐる
二、打虎山には一、二列車あつて若干の支那兵駐屯し、附近の高粱は刈取られてゐない
三、溝幇子には機關車十一臺と多數の列車が用意されて砲兵が駐屯し、附近の高粱は同樣刈取られてゐない
四、大凌河鐵東側一里內は高粱はそのまゝで種々な軍事的設備がされてあり、機關車、一列車ありて野砲兵多數駐屯してゐる
五、錦州驛構內には多數の列車が用意され砲兵が駐屯してゐる【奉天電話】

總兵數七個師

北寧線凌河、山海關間の支那軍の兵力は第八、第九、第十二、第十九、第二十の步兵五個旅團、砲兵騎兵各一旅、海防練軍二個營で總兵數七ケ師團に相當する【奉天電話】

錦州政府靜寂

錦州停車場の西北方にある錦州假政府は門を閉ち極めて靜寂である、なほ日本軍飛行機の爆彈投下は城內に一つとしてなく兵營、假政府、邊防軍公署だけである【奉天電話】

錦州の商民災厄を免る

錦州における一般商人、殊に商務會は同地駐屯の張學良軍隊に巨額の軍用金調達を強請され金策に惱んでゐたが去る八日が軍飛行機の爆擊の結果これ等の軍隊の大部分が溝幇子、義州、打虎山方面に移動したので商民は災厄を免れ大いに喜んでゐると【奉天電話】

莫大なる科學兵器を發見

事件突發直後我が軍は直に支那側奉天の重要軍器格納庫を差押へ調査を行つた結果、北大營北側にある倉庫內に莫大なる科學兵器を發見した、その主なるものは左の如くである
リベリット（毒瓦斯彈）四十五瓦乃至百五十瓦入り八本、催淚性四十本、空瓶三十二本（これは石友三軍討伐の際使用した形跡がある）野砲科學彈六千六百四十發、投下燃燒彈一千百二十發、發煙彈百二十發その他【奉天電話】

王以哲軍の入關に警告

【東京十三日發】目下山海關、秦皇島方面に駐屯する我部隊に對し支那軍が攻擊的態度に出づる危險あるので幣原外相は十二日夜北平にある矢野參事官に訓電し張學良氏に口頭を以て
錦州より引揚中の王以哲軍等が我部隊に對し攻勢に出る如き場合は天津駐屯軍の出動を見容易ならぬ事態を惹き起す虞れあるを以て充分注意され度い
との警告を發せしめた

大島中將連絡係拒絕

【東京十三日發】既報陸軍と外務の統一連絡のため山川端夫氏と共に滿洲に派遣することゝなつてゐた大島健一中將は突然政府に對しこれを辭退して來た、その理由は本庄軍司令官は元大島中將の副官たりし關係あり萬一これが禍ひして本庄軍司令官の行動を束縛しては軍の不利を招くものとしてこれを拒絕するに至つた模樣である

政友倒閣運動

【東京十三日發】政友會は現內閣が滿洲問題に關連して全く行詰り頗る重大なる事態を惹起せしめたるは幣原外相の軟弱外交の失敗で更に事件發生後政府部內に統一を缺き最早現內閣に時局擔當の力なしとして積極的糾彈の烽火を擧ぐべく十三日午後の幹部會に於て第一聲を擧げ具體的運動に入る事となつた

『第二の反抗』休載

社説

飽くまで追窮を要す
羽衣女學校の慘事

十二日午前十一時四十分大連市內伏見臺に、突如阿鼻叫喚の大地獄を出現した。新築中の大連語學校羽衣女學校の大建築物が、俄然崩壞したのである。云ふまでもなく多數の從業者は、生埋となり、卽死者約十名重輕傷者二十餘名、其慘狀目擊す可らざる光景を呈したのは、十二日の本紙に記述する通りである。當日雨なく風なく、申分なき好天氣であつたに拘らず、此の異變を生じたるは、實に大連始まつて以來の椿事であり、又怪事であるとして市民に大衝動を與へた。其原因に關しては、或はセメント及壁土が乾燥しきらぬ中に、工事を急ぐ爲めに上部に多くの重量を積み上げた爲とか或は下部の煉瓦の積み方に缺點があつたとか、仕樣通りにしなかつた工事者の不正だとか、或は設計監督者の不行届だとか云はれて居る。併しながら何れも臆測の間に於ける意見であるか又は想像說である。其原因が何れにあるかは未だ斷言し難い。當局に於て引續き實地を檢證し專門家の鑑定を求めて、原因の探究に盡力して居るから、何れ的確な原因が判明する事であらう。

◇

此れに關聯して吾人の直ちに感ずる事は、第一に斯くの如き建築物が、若し事なく進行して落成式か開校式の場合には、必ず崩壞するを免がれぬものであつたといふ事である。然る時は多數の市民及び生徒が之が犧牲になるは免がれ得ざる運命であつた。人命に尊卑の別はないが、其人數の多寡から見ても、落成以前に崩壞したのは、せめてもの幸福であつた。第二には斯くの如き椿事は、今日の建築學上の見地から見て有り得ない事だといふ事である。而して此事實あるは實に奇怪の感なきを得ない。決して尋常事でない事は誰が考へても考へ及ぶ所である。卽ちどこかに缺點がなくてはならぬ。缺點が設計にあるか、工事にあるか、監督にあるかは、今の所確知する事は出來ないが、どこかに缺點があつたに相違ないといふ事は、斷言して誤まりがない。而して之れに加へて不正が含まれて居ないかとの疑惑も起る。固より當局の研究を經た後でなければ、斷定出來ない。第三には目下不景氣とは云ひながら、市內に大小建築中の建物が甚だ多い事である。此等は皆安全なものであるか否かにつきて、不安の念を抱くのは、恐らく吾人のみではあるまい。

◇

建築界に種々の情實ある事は世間にも流布されて居る。實際に於て多少の缺點及び不正がある事も、人口に上らぬではない。併しながら甚だしき缺點や不正にあらざる限りは、發見されず發見されても表向の問題にもならずにあるけれども、斯くの如き狀況は實に恐る可きものであつて、決して等閑視す可き問題ではない。今度の事件を好機として、建築に關係ある各方面、卽ち警察、工事請負業、設計監督技術家及び一般市民に於て、十分の注意を拂ふに至る事を望まざるを得ない。而して今回の事件に關しては、其原因を突止むまでも研究して、當局者が飽くまでも窮めねば、已まない態度を取らん事を望まざるを得ない。原因がない筈はなく、原因には責任者がない筈はない。此れを窮極まで探究するを要す。此れが建築關係者と市民とに對する警告となる。其結果市民の注意を促がし、建築關係業の弊風を一掃する事になるであらう。

蔣氏の廣言
事件擴大の虞

蔣介石氏は十二日の記念週での演說に長廣舌を揮つて居る。其大意は、中國の武力は日本の武力を挫くに十分である。其未だ戰はざるは國際條約を尊重するからである。若し國際聯盟が中國の云ひ分を聽かず日本が反省する所ないならば直ちに戈を執つて起つに躊躇せずといふにある。國民激動の言辭はさる事ながら、之れを日本政府の聲言する所と比較して甚だ差違あるを見る。日本では戰爭を避けんとして居る　蔣氏は戰爭を豫想して居る。日本では兩國の直接交涉によつて事件解決の用意があると唱へて居る。蔣氏は之れを國際聯盟に訴へる以外に、日本と共に善後策を講らんとする意思を持たない事を言明して居る。元來國際聯盟に訴へるのは直接交涉の途がない時であらねばならない。蔣氏は國際聯盟の性質を誤解して居る。斯くの如き考へ方が、事件を益々紛糾擴大せしめずんば幸である。

官銀號の現金兌換 相當の自信はある
吉林永衡官銀號の整理も可能
首藤滿鐵理事談

東北財界の善後處置に關し奉天地方維持委員會の委囑を受けて東三省官銀號及び邊業銀行顧問に就任し財政上並に金融機關復興計畫の樞機に參し助言を與へつゝあつた首藤滿鐵理事は既報の如く官銀號の開店問題も一應目鼻がついたので事務打合せのため十三日歸連したが同夜々行にて再び赴奉した出發に先立ち記者の質問に答へて一部に傳へられてゐる官銀號及び邊業銀行の準備金や拂出制限問題吉林、黑龍江兩省官銀號の支拂停止又は動搖その他瀋海鐵路の復舊事情等について左の如く語つた

東三省 官銀號並に邊業銀行の開店後の準備金等については何等心配はない、官銀號には可成りの大きな現金があり、現金兌換にも應じ得る程の自信をもつてゐることだけは答へられる例へば日本側の正金や鮮銀に預金されてゐる部分のみでも相當額に達してゐるがそれ等の具體的數字については銀行の機密に屬することであるから申上げる譯には行かない、然らば預金の拂出や現金兌換に何故制限を附するかといへば、一旦兩銀行が開店した曉において改めて制限を設けるといふやうな方法をとると却つて惡い影響が生ずるので大事を取つて最初より制限を附することゝなつたのである、自分の觀る所では現金兌換の如き從來から行はれてゐる

制限の 程度以上に出てゐないが之等の制限も漸次緩和されて行きもつと自由になるだらうと思ふ、黑龍江官銀號の閉鎖善後策や吉林永衡官銀號の整理？さあ自分は未だ詳報に接してゐないが何れも合理的な方法で內容を掃除すれば建直しは出來ぬことはないだらう、之等の滿洲の三箇の銀行の內容がそれ〴〵整理され、そして統一が出來て幣制の劃一化を實現するやうにまでなればまことに理想的である、瀋海鐵路は從來省政府が幹部を任命してゐたので今回の事變でその政府が無くなり一時業務の運行其他に非常な支障を來した、然し地方維持委員會が取敢ず瀋海鐵路保安維持會なるものを作らせてこれが

經營の 衝にあたるといふことになつて着々進行してゐる樣である、だから近く全部復舊することになるであらう、斯くの如く總ての機關がそれ〴〵合理的な過程を經て復舊して行き、新しく成立する政權にそれを引繼ぐといふ方法は事變の善後處置として極めて結構であると思ふ、就中官銀號の業務執行擔當者にしても鐵路保安維持會にしても殆ど事變前の幹部達がこれに當るのであるから運用並に管理の兩方面から見て申分がないと思ふ、奉天における財政廳の徵稅事務は地方治安維持に必要な財政上の見地からその復活を一日も早く實現しなければならぬのだから近日中に具體化することになるだらう

公定相場以下の取引者は銃殺す
哈大洋の大暴落から
哈市經濟的大動搖

【ハルビン特電十三日發】ハルビン大洋大暴落のため特產取引全く杜絕し支那官憲は公定相場以下の取引者は銃殺に處する旨布告、また市中商人は黑龍江官銀號の紙幣受取りを拒絕せるため一切の商取引中止、ハルビン市中は目下經濟的動搖を來してゐる

長春支那側 首腦者異動

萬寶山事件の元兇であつた長春市政籌備處長周玉炳は熙洽氏の吉林新政府樹立に當つて吉林全省警察處長に榮轉したが其後任は滿鐵王遣子會驛東氏が十一日附で任命され同氏は吉長敦兩鐵路局長を兼任することゝなり十一日夜新任挨拶のため吉林へ向つた、なほ長春市公安局長修長餘の後任には過般寬城子の激戰で負傷した孫仁幹が同日附で任命されたが彼は親日排日の兩刀使で支那軍隊の銃彈のため負傷したにも拘らず日本兵に射たれたと曲說し最も勇敢であつたと熙洽に激賞され金一千元の恩賞に預つた上公安局長の椅子まで與へられたなど支那側としての一番最初の論功行賞を打ちあてた幸運者である【長春電話】

高等法院開く

奉天における支那側の高等法院、地方法院は事變以來閉鎖してゐたが法學研究會長趙欣伯氏の斡旋によつて今まで滯つてゐた半ケ月の給料の調達が出來たので十一日より準備をなして各法官に通勤方を通知し十三日より開院した【奉天電話】

邦人時局後援會 會則其他を作成
芳澤日本代表に激勵電

在滿日本人時局後援會委員會は十三日午後四時から大連市役所の市會議場に於て開かれた、出席者約百名、大內市會議長推されて座長席に就き先づ會則作成から協議に入つたが原案修正の上左の如く決定し次いで委員會規程も左の如く決定の上第一より第五に亙る各部門の常任委員を座長より指名推薦しなほ內地遊說、政府進言、宣傳文、大會開催、沿線各地との連絡を總務部一任とし、會の活動に要する經費は取敢ず實行委員より金十圓宛醵出するもその他の捻出方法は總務部一任に決定、ジュネーヴに於ける芳澤大使には激勵の電文を打電する事とし同五時五十分散會した、因に事務所は當分市役所市會議長室に置く筈である

會則

第一條　本會を在滿日本人時局後援會と稱す

第二條　本會は日支時局に關する一切の對策を攻究し滿蒙問題の根本解決を期す

第三條　本會は在滿邦人を以つて組織す

第四條　本會に實行委員若干名を置き會務を處理す

第五條　本會の事務所を大連市に設置し必要に應じて各地に支部を置く

委員會規程

一、實行委員會を左の各部に分つ

1 總務部
2 政治外交、軍事部
3 交通、運輸
4 金融財政及關稅關係
5 商工業及林鑛業關係

なほ芳澤大使へ宛てた激勵の電報左の如し

御奮鬪を感謝す、聯盟をして日支問題に干涉せしめざるやう最後まで御努力を祈る　在滿日本人時局後援會

瀋海鐵路保安維持會組織

瀋海鐵路が十五日開通する運びになつたことは既報の如くであるが瀋海鐵路保安維持會なるものが出來て監理長に土肥原奉天市政公所長、會長丁鑑修、理事（五人）吳有太、謝東甫、王金川、劉鉢南、周英文の諸氏が夫々任命され、これらの人達の手によつて瀋海鐵路を開通することゝなつた【奉天電話】

遼寧地方保安局を新設

奉天地方維持委員會では自警局以外に新たに遼寧地方保安局を組織し舊警察廳跡に設置し保安隊の募集に着手したが保安局は專ら瀋陽縣の治安維持に任ずるもので常守陳氏が局長代理である【奉天電話】

植民地の中でも滿洲は趣が異ふ
行政整理の打合せに
上京する三浦內務局長談

關東廳三浦內務局長は政府の招電により長官代理として松崎經理課長と共に急遽十六日海路上京するが今次の政府の招電は近く斷行される行政整理の打合せと滿洲時局上に對して報告並に意見の聽取を目的とみられてゐる、これによつて過般來頻りに傳へられてゐた長官の上京は沙汰止みとなつたが上京に先立つて三浦內務局長は語る

政府行政整理案によると一般官吏一割及び現業員五分の整理を行ふ模樣である、しかもこれは內地植民地一律に斷行されるものらしいが同じ植民地中でも滿洲は餘程その趣を異にし時局のことも大いに考慮に入れねばならぬと思ふ、關東廳としては政府の方針を基準として同時に以上の點を考慮し適宜の處置に出づべく既に過日來大體の腹案も出來た譯であるが政府の說明を受くると共に極力本廳案の實現をも主張する積りである、しかし今回の整理は關東廳の行政が餘りに手を擴げ過ぎてゐるといふのではなく政府の大方針によつて全般的に行はれるのであるから多少の犧牲は止むを得ぬと思ふ、果してどの程度まで本廳の整理案が効果があるかは甚だ心細い時局問題はまだ長官の命を受けてゐないが長官の命があれば勿論本廳としての意見並に事情も充分話す積りでゐる

財政整理を行ひ財源不足に對應
明年度豫算編成方針
井上藏相より說明

【東京特電十三日發】町田農相は十三日の閣議席上明年度豫算編成方針に關して質す處あり井上藏相はこれに對し左の如く說明した

財政整理を行ひ財源不足に對應したい新規要求は止むを得ざるものゝ外求めず財政整理の結果を見た上御相談したい失業救濟に就いては本年失業者數その他の狀態を見た上で相當考慮をしようと思ふので從來の關係各省に內交涉中である

混保大豆の中間驛受寄開始

既報の如く滿鐵各道部にては十月十日以來中間特定十三驛において混保大豆の受寄を開始したが十、十一兩日の受寄成績は左の如くで豫期以上の好成績を收めてゐる

十月十日中固驛一車、馬仲河驛二車、十家堡驛一車、陶家屯驛二車、劉房子驛二車、計八車▲十月十一日、馬仲河驛一車、十家堡驛二車、陶家屯驛二車、劉房子驛二車、計七車

塚本關東長官

滯奉中の塚本關東長官は十三日午前九時柳條溝、北大營等の戰跡を視察し午後一時半ヤマトホテルに歸り午後は衞戍病院に傷病兵を見舞ひ夜は林總領事の招宴に臨んだなほ同長官は十四日午前九時から在奉有志と會見懇談し午後一時二十六分發急行で歸旅の筈【奉天電話】

大汽河北丸 荷役不能
廣東の抗日で香港に寄港

支那側の抗日運動は全國に波及してゐるが廣東は十日より全市ストライキを敢行したるため、折柄撫順炭四千噸を陸揚げすべく入港した大連汽船の河北丸は荷役不能に陷りやむなく香港に寄港して居る旨十三日大汽本社に入電があつた

歐亞連絡小荷物 愈々取扱ひ開始
但し長春經由はまだ

去る六月東京で開かれた歐亞連絡會議において實施に決定を見た歐亞連絡小荷物扱ひはいよ〳〵來る十一月十五日から開始されることゝなつた、然し本連絡扱ひは浦鹽ハバロフスク經由および滿鐵ハルビン經由のものに限られ長春經由の連絡扱ひは日本と支那との間に交涉中の例の保稅輸送問題が解決を見ないため今回は行はれぬことゝなつた、運賃はスエズ經由よりは多少高いが大體地方的運賃の五割見當であり今後は特に小包扱ひ者には非常な便利をもたらすものと期待されてゐる、尙前記の連絡會議において同時に決定を見た貨物連絡（浦鹽ハバロフスク經由のみ）扱ひは十月一日より實施の豫定であつたが準備に手間取り實施期は十二月になる模樣である

植民地學位令

【東京十三日發】樞府側の修正を受けこれに應ずることゝなつた植民地學位令は愈々十六日午前十時よりの樞密委員會に掛け可決することゝなつた、本月中には樞府本會議に上程の上御裁可を仰ぐ筈である

關東廳辭令（十三日附）

關東廳技手　馬場　徹
依願免本官

八相
投書歡迎 五十行以內
羽衣校倒壞事件　子供の親

◇羽衣女學校倒壞事件は聖代の不祥事件で設計者に罪があるか施工者に責めがあるか徹底的に取調べられたいと思ふ。

◇設計者が眞面目に設計し嚴正な態度で監督の任に當り、施工者もまたその指揮に忠實に從つて眞面目に業務を遂行するならばかゝる不祥事は起らぬ筈のものと思ふ。

◇醫者が人命を預るよりも寧ろそれ以上に、建築物の設計監督者なり施工者なり何人の財產を預りこれが竣工後は多くの人命を預るに等しいもので眞面目なる人格者でなければこの業務を遂行し得られない筈のものであるに然るに多くこれ等の人格者のみを期待し得ないのは眞に歎かはしい至りである。

◇それは工事を依賴する人々にも罪があると思ふ、たゞ安く安くと僅かな設計料金を惜み無茶に工事費を値切る上に短兵急に工事の竣成を望む、これらの一戒は總てがえてしてかゝる不祥事の重要な原因をなせるやうに思はれる。

◇人が病氣にかゝつた際手腕ある醫者を要望するに拘らず自分の財產を預け更に竣成後多くの人の生命をこれに託するに設計監督なり施工者なりを選ぶに無關心である人々の多いのは社會の注意を喚起するに足る重大問題である。

◇こんどの事件は多數の死傷者を出したことであるから當局もこの原因が奈邊にあるかを充分取調べらるべきことを希望すると同時に、一般社會の注意を喚起せんとするものである。

滿洲□□記　香山逢一（9）

驚異の的『轉接車臺』
大滿鐵社長に奉天將軍

世界驚異の的となつた轉接車臺の其仕掛は三呎六吋から六呎迄或はより以上、又はより以下でも車輪の間隔を自由に調節し得るものである。それ故東支鐵道の軌道に動かし得らる車臺は、滿鐵線の軌道の上へ乘り込むことが出來るのである。

露國が曾て國防の見地よりして目に見えぬ大障壁をレールの上に築いてゐたことも田中有大青年のブレーンにすつかり征服されてしまつたのであつた。大連大學が彼に工學博士の稱號を贈り、二十有五歲の小孩が此名譽ある稱號をかち得たことも滿洲の誇りでなくて何であらう。とまれ滿鐵總裁は彼のために大志を伸ぶ鍵を握つてゐたのであつた。

◆

愈々合併の氣運が釀成された時日本の輿論は滿鐵總裁をして社長たらしむべしと叫んだ。然し總裁は奉天將軍をも推薦し自ら副社長を兼ね元南滿線部長たる椅子んに甘じた其賢明な政策は益々事業の發展に資することゝなつた。

江上大滿鐵副社長は後ち外務大臣の印綬を帶びて日華の諸問題を解決もすれば、共榮共存の大綱の上にまで算盤玉を彈かせた。

名總裁！
名外相！

と日本は愚全世界迄も謳はれたものであつた。

◆

それから又二十年近くも過ぎた今、滿洲の豆腐屋の倅が天下を取つたと言つて見れば、豐太閤は草鞋取りから昔にもあつたやうだが、秩序のある世の中に、戰國亂世の時は比較にもなるまい。

彼加藤崇平は幼い時から何事でも獨立でやらねばならぬと思ふた精神が、彼の今日の大をなした譯で大正小學校の餓鬼大將だつたかもしれぬが、然し小學校から中學校へと進むうち、滿洲の少年達がまだ日本は地圖の上でばかり見る戀しさ、偉い人といへばすぐ滿鐵總裁だと言ひ、自分達も其滿鐵總裁になることを目的としてゐるやうなことが願望の絕頂となつてゐるうちに、おれは滿洲じやない、日本で一番偉い人になるのだ、と決心してゐた。それ故中學校へ行く頃となつて、貯蓄した小遣ひで日本を觀いて見たら、成る程日本は滿洲と違ふ、大連なんか田舍だよしあの驚いた日本內地の人達を驚き返してやらうといつたやうな考へを起してゐた。

そこへ豆腐臼を挽きながらも彼の年老た父は、おい崇平、お前滿洲なんかで月給取りになるつてな小さな膽玉じや駄目だぞ、いゝか東京へ行きな、滿鐵總裁や、關東州長官に任命さろ、偉い方は澤山ゐるんだよいゝか、しつかりしろ顳や腕一つじや、おれは滿洲の人間は感心せぬ、何でも彼でもすぐ滿鐵や官廳へすがつてしまふからまるで脛かぢりの子供のやうだ、お前だけはいゝかよ！崇平！と言はれた事も耳の底に殘つてゐたのであつた、とまれ獨立獨步の大精神が彼をそうさせたのだ。そして崇平の胸には「おい內地の人達よ！今に！」といつた心持でひそかに叫びかけてゐたに違ひない。

◆

七年中學を最優等で押し通した彼の成績は、彼の山田富豪が此二百萬圓は滿洲人教學の爲めに使つて下さいといつて、彼が滿洲で儲けた金の一半を滿洲人のために置いて永眠した所謂山田獎學資金で大連大學生となつた。廿四歲の秋彼はもう高等文官試驗にも外交官試驗にもパスした。

外務省と大藏省とは、大岡越前守の繼母裁きのやうに、崇平の手を左から、右から、と引張り合ふた。

昭和五十六年四月十日　滿洲日報　號外

滿洲より總理大臣を出す
加藤崇平氏
本朝十一時半
大命を拜受す
（東京特電）

大觀小觀

下野するとか噂されて居た蔣介石君、國民政府記念週において勝手な熱をあげる▲「日支若し戰はゞ勝算歷々、彼等の兵力に畏服されるものにあらず…」いやお強いことお強いこと▲また曰く「日本が陸海軍の精銳を誇ると雖も我等はよくその缺點を知悉す、時來らば我等は敢然起つて銃火を浴せ外侮を防がん」と▲「いよう蔣石は武人、勇まし勇まし」と云ひ度いところだが▲一たいこれが一國の元首の言ふことか、本氣で云つたとすれば彼正に狂せり然らずんば熱に浮された囈言であらう▲「月冴えてただ痩せ犬の遠吠え――邪道句子」▲「物品を選擇購入するは個人の自由にして何れの政府も干涉或は禁止する法なし」とは我抗議に對する國民政府の言ひ分▲これを意譯すれば「日貨を排斥、沒收、燒却するは當方の勝手にして國民政府は獎勵若しくは煽動し居れり」▲更に反譯すれば「物品の選擇購入するは個人の自由を束縛し眞面目な華商の取引を干涉或は禁止す」▲「駄々ッ兒の寢相をなほす夜寒かな――邪道句子」▲「極力全國人民の憤慨を制止し越軌の行動なからしめた」これが國民政府の回答▲「平和を好む我國民の眞面目を世界に知らしめその正しき判斷を待たんとす」これが蔣介石君の言ひ分▲出鱈目もこの程度に言へたら一種の藝術だ▲在支邦人に對して凌辱、掠奪、殺戮、凡ゆる殘虐を擅にして居るのは一たい何處の國民だらう▲羽衣の次ぎがメンマスト、その次ぎは？お〻桑原々々▲「虫啼くや無事の便りを待つ夜かな――邪道句子」

市況（十三日）

株式　內地變らず 當市も閑散

內地主力株の大引保合を入れて當市氣配變らず閑散

後場　◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	尤	尤	尤	尤
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
大新	—	—	—	—
東新	一〇〇三	一〇〇三	一〇〇三	一〇〇三
鐘新	—	—	—	—

特產　買氣引立す 大豆軟調

後場の定期は大豆は依然人氣なく軟調を呈し豆粕は區々保合豆油は強調を辿り高粱は弱保合を示した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（軟調）單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	三三一〇	三三三〇	三三一〇	三三三〇
十一月末	三三六〇	三三七〇	三三六〇	三三七〇
十二月末	三三一〇	三三三〇	三三一〇	三三三〇
一月末	三三二〇	三三三〇	三三二〇	三三三〇
二月末	三三六〇	三三六〇	三三六〇	三三六〇

出來高　百十八車

▲豆粕（區々保合）單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一三五	一三五	一三一	一三五
一月限	一三五	一三五	一三〇	一三〇

出來高　二萬六千枚

▲豆油（堅り）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一三六〇	一三六〇	一三五〇	一三六〇
一月限	一三六五	一三六五	一三六五	一三六五
二月限	一四一〇	一四一〇	一四一〇	一四一〇

出來高　五千箱

▲高粱（軟弱）單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	三一〇〇	三一〇〇	三一〇〇	三一〇〇
十一月末	三一三〇	三一三〇	三一三〇	三一三〇
十二月末	三二〇〇	三二〇〇	三一八〇	三一八〇
二月末	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇

出來高　十一車

◇現物後場（銀建）

▲包米（出來不申）

混保大豆（袋込）　寄付 五二二〇　大引 五二二〇
出來高　三十車

普通大豆（袋物）　五〇九〇　五一〇〇
出來高　五車

豆粕　一七三五　一七三五
出來高　八千枚

豆油　一三四〇　一三五〇
出來高　二千箱

高粱　出來不申

錢鈔　當市急騰 標金軟弱

上海標金の軟調を入れて當市急騰し商內相當に彈んだ

◇定期取引（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
期近	四九五	四九五〇	四九二〇	四九五

出來高　期近　三百十八萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	四九四	一二六〇	二三二五
二時中	四九五	一二六五	二三二五
三時半	四九四	一二六五	二三二五

出來高（銀對金 二萬五百圓　銀對洋 一萬七千圓）

商品　綿糸見送り 麻袋堅り

●綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し各限三四十錢方の小高下を示したのみで結局保合を入れ當市は氣迷ひ見送つた

●麻袋　產地高につれ氣配硬化し小商內があつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐘筋	十二月	一九五	二〇

出來高　二萬枚

奧地市況

▲奉天票　現物　一五、〇〇〇

▲奉天大洋　現物　四四、四〇　先限　二二七、〇〇　二二五、〇〇

▲開原大洋　現物　四四、五〇

▲安東鎮平銀　當限　六八三　六八二

▲哈爾濱大洋　先限　六八八　六九四

市場電報

現物　立會中止

▲哈爾濱大豆

限月		
十月	一、〇一〇〇	一、〇二二五
十一月	九七五〇	一、〇〇〇〇
十二月	九八〇〇	九〇九五

▲同小麥

限月		
十月	一、五〇五〇	一、五〇五〇
十一月	一、五二〇〇	一、五三〇〇
十二月	一、五四〇〇	一、五六五〇

神戶特產

銘柄	
大豆現物	三八〇
大豆先物	二七〇
豆粕現物	九八
豆粕先物	一九九
滿洲小麥	三〇〇
豆油現物	一五二〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇九四〇	一〇九三〇
東新	一〇〇四〇	一〇〇八〇
五品	不申	不申
中	不申	不申
先	不申	七九〇
新	不申	不申
中	不申	不申
先	一四〇	不申
豆信	不申	不申

東京株式（短期）

	東新	鐘紡
寄値	一〇〇八〇	一五〇一〇
引値	一〇〇六〇	一四九四〇
高値	一〇一〇〇	一五〇五〇
安値	九九九〇	一四九四〇

	鐘新	滿鐵
寄値	五九四〇	不申
引値	五九〇〇	不申
高値	五九五〇	二三三〇
安値	五八七〇	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	六四三〇
大新	五五一〇	五五一〇
鐘紡	一四八〇〇	一四八四〇
鐘新	五九三〇	五九五〇
東株	不申	不申
東新	九九七〇	九九九〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	一九二九	一九二九
十一月	一九六六	一九六〇
十二月	一九八九	一九八〇

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十月	一九五五	一九四八
十一月	一九九三	一九八一
十二月	二〇一〇	一九九六

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	一九四〇	一九三七
十一月	一九七七	一九七一
十二月	一九九九	一九九二

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十月	九一二〇	九〇九〇
十一月	九三七〇	九三七〇
十二月	九四九〇	九五四〇
一月	九六五〇	九七〇〇
二月	九七四〇	九七四〇
三月	九六九〇	九七一〇
四月	九六八〇	九六九〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
十月	五七二〇	五七一〇
十一月	五七一〇	不申
十二月	五七四〇	五七三〇
一月	五八一〇	五八〇〇
二月	五八九〇	五八九〇
三月	五八九〇	五八九〇

本日廳報及廳報附錄を添ふ

家庭

結婚のお仕度　結髪とお化粧と着附け
斯うした心得が肝腎です

結婚のお仕度として先づ大切なのはおぐし上げですが日本髪にする場合には洋髪で式を擧げるにも前から結馴らしておかなければ當日になつてもなかくうまく上がりません、殊に今まで束髪ばかりでゐた方が急に日本髪になさいますと、髪の形ばかりでなく全體のこなしの調子がされないでさても變なものです、で一ケ月位前から日本髪に移つてよく

お馴らしになる必要があります、でも束髪から一足とびに高島田になりますと頭が重たかつたり夜よく眠れなかつたりしてお體のためにもよくありませんから最初二三回桃割れにしてそれから高島田に移るやうになさいますと大變樂です、桃割れになさいます前に髪をよく洗ひ御婚禮の時までそのまゝ置かれた方が髪の色艶もよくなりおぐしも馴れて形よく結べます、又當日までに五六遍高島田をお上げになりますとしつくりと頭についてまゐります

つまり結髪師の方でもよくコツが呑込めますし、御本人も多少ほつれをかき上げたり鬢を撫でたりする位の技巧がおわかりになつて大變好都合です、次にお化粧ですがこれも髪と同じ樣に豫じめその御準備が大切です、吹出物がある方や荒れ性の方などは是非一ケ月位前から一週二回か三回位美顔術を施して地肌をとゝのへなければなりません、お化粧も一二回厚化粧を試みて置けば中分ありませんが、先づお顔は淡化粧にして給だけなや、濃い目になさる位でも

結構でせう、かうして前々から地肌をとゝのへて置きますとお化粧下や白粉がよく地肌に落付いて大變御化粧榮がいたしますし、みぐるしい化粧くづれも防げます、尚婚禮の前夜はだれもなかく眠れないものですが睡眠不足は何よりも容色を傷つけるものですから睡眠劑を用ひても充分な睡眠をとるやうにしなければなりません、お着附は御自分でなさいます方はございませんし大がい美容師が承はつて居りますが、

私共の注文といたしましてはなるべくお人形さんになつたつもりで任せ切つて頂きたい事です御自分で衿元をなほさうとしたりいろく氣をくばつたりなさいますと却て仕事がやりにくゝなります、でお着附については別に申上げる事もありませんが、お召物や附屬品について二三お願ひしたい事がございます、これも一ケ月位前からなすつて頂きたいのですがガーゼを一反ほど用意して乳の上から臀部にかけてグルく巻いて置きますと贅肉がとれて

胸から腰へかけての線がすんなりといゝ恰好になりますし、當日になつて急に窮屈な思ひをされる事も少うございます、當日はこのガーゼをキュッとしめて恰好をつけます、下から召すものはガーゼの肌襦袢に緋縮緬のお裾除位でいゝでせう、長襦袢の衿芯には奉書をよくもんだものを入れ、前身頃の胸と背中とに紐をつけて前後からしばつて置きますと決して衿や胸元がみだれません、帯はなるべく薄い芯をつかつた方が恰好もうまくつきますし御本人もお樂です、

それから角かくしですがあまり白いものよりも裏の色のよくすける赤味のかつたものがお顔の色を引立てます（遼東美容院主機口逸子さんの談）

身につけ上下のキチンと揃ふ
衣裳の大切な仕立心得

◆…これから婚禮、七五三、御年始と、襲衣を仕立てる機會が多くなりますが身につけて上下のキチンと揃ふやうに仕立てる事が何より大切です、仕立てに先立つて先づ手帳を用意して一々その部分々々の寸法を記入します、一定の寸法で縫つていけば記帳の要はないやうですが、模樣の都合で寸法を適宜にかへるやうな場合もありますから一々記しておくのが一番安全です

◆…下着のつめ方は人によつていろく違ふやうですが實際に着て見た場合、次の寸法によりますとキチンと氣持よく揃ひます、もつともこれは上下同じ生地としての場合ですから地質が違へば多少手加減をしなければなりません

◆…女物でしたら身丈で一分、衿肩一分、行はほんの心持、袖付で一分五厘、袖丈一分五厘、袖口一分、袖巾一分、身巾は片身頃に三分五厘（後巾一分、前巾一分五厘衽一分）衿丈を二分ほど上着の寸法より下着をつめます

◆…男物の場合には女物とちがつて腰にたくし上げをしませんから女物よりも尚一層きちんと揃へなければなりません、帯のしめ方や體の恰好、身長などでも多少のちがひはありますが大體に於て上着よりも下着の身丈を一分五厘、裕肩一分、袖丈二分、袖口一分だけつめ他は同じ寸法にします、揚げは上着の揚げより五分位下げていたしますと恰好よく着られます

足袋を上手に履くには
安ものはこゝでも結局錢失ひ

◇そろくいやな煤煙が隈なく市中の道路を舞踏し初め折角綺麗な着物も雪のやうな眞白い足袋も束の間で立派に黒色と染め出されて御婦人方を弱らせます

◇白足袋を履いた氣持は格別いゝものですが足袋も買方が惡いと二三回で洗濯が利けず使用に耐へないやうに破けて了ひます、二足三十錢位の足袋も安いやうには見えますが實は高價なものに相當するやうになりますから求める時は値が張るやうでありましても少々高價なもの（四十錢位から）が好ましいのです

◇洗濯毎に縮まり小さくなつて履けないやうになるのは製らへる時に布地を引つ張り延ばす丈延ばして作るのですから洗つて縮むのが當然です、でも上等になりますと布地がよいのに延ばした布地でなく自然底も丈夫なものを使用してありますから二三回で使用されぬやうになるといふ心配はないのです

◇洗濯法としては足袋に石鹸をつけましたらブラシでこするのです、すると垢は落ちて了ひます、底も同樣にブラシで洗ひますもしこれでも落ちない場合は石の上に弱くそつと何回もたゝきつけますと汚れは落ちて了ひます

◇灌ぎが終りましたらよく灌ぎ出しきつくしぼらないでそつと水を切り手でたゝきつけて充分しはをのばします（かういたしますと足袋が縮む患ひはありません）それから糸で下げて乾かします

木炭の見分け方
色は銀灰黒色の光澤あるもの　音のガサくするものは駄目

◇木炭がそろく調法がられるやうになりました、家庭の主婦として木炭の良否の見分け方は既に熟知して居られる事とは存じますが若い主婦方の參考迄に記して見ませう

◇先づ木炭を求めるに當りまして注意しなければなりません事は木炭の良否を見分ける事です先づ光澤の事ですが軟かいのは手で觸つても汚れません、色は銀灰黒色の光澤がある程よいので黒ずんだり褐色を帶びてゐるものは良くありません

◇硬い木炭は外部は灰白色のものがよいのでやはり黒色の度が加はる程よくないのです、同じ白色でも灰が浮いたやうについてゐるものは化粧としてある時がありますから求める時に注意せねばなりません

◇次に音ですが、軟炭は明かな音のするのがよいものでガサくするのは良くありません、硬炭は叩いて音の高いもの程よいので殊に金物の樣な冴えた音を發するのがよい品です、切口は縱横共に餘り裂け目が多くあるのは惡いので切口が菊の花のやうな裂け目のあるのは最もよいのです

◇其の他使つて見てハネず燻りや焰を出さず、熱量が大で永持する割合に重いものがよいので一言すれば硬いほど良いのです

◇木炭を求める場合は先づ正味何貫目入つてゐるかを、たしかめて求める事で無暗に一俵の値が安いからといつて購ひますととんだ損をいたす事があります、と申すのはよく粉炭が入つてますと一般に不平がでるのです、だから商人によつてはこの不平を除くために俵を詰直して粉炭、小片を取り除きますすると詰替へられると容積が大きくなるものですから體裁もよくなります

◇炭は産地から市場を經て一般家庭に入るまでは相當あちこち動かされるのですから自然粉炭になりやすいのですだから粉の少い炭は注意をしないと非常な損になります

◇家庭では粉は別に取つておき火のグルリにいけておきますと火が非常に永く持ち粉も火になつて兩得です決して値が安いからといつて買はず、正味あるものを求める事です

◇次に炭を七輪に入れて用ひる時は七、八分目入れて完全に燃焼させるやうにして決して一杯入れない事です

感冒が流行します
豫防には、手當には是非これだけが必要

快よい肌寒さの感は通り過ぎて全く冬らしい北風がヒユツくと吹き初めました、こうした内地とは異つた三寒四温の氣候が今から始まります、急に氣候が變るため、或は朝夕の氣温が

急變するためこれからは風邪もひきやすいのです、夏は戸外運動或は海水浴と積極的な身體の鍛錬ができますが冬になりますとそれもできかねますので消極的に身體を被護するより他に仕方はありません、先づ消極的な豫防としては

一、風邪をひいて熱のある病人に接近しないことです

二、次は温度が天候によつて大へん違ふのですから温度に應じて寒ければ一日に二回でも三回でも氣温に順應して着物の調節をやる事です

三、それと共に冬の室内外の衣服に充分注意して寒いのに耐え或は室内にても室外と同じ樣な厚さで居るといふやうな事をせぬ事です

四、又平常嗽口を行ふ事です、食鹽水でなくとも普通の水で結構ですから洗面所にコップをいつもおいて食前に手を洗ふと同樣に嗽をやり喉についた埃を洗ひ流したいのです

感冒に罹つたら先づ第一に安靜に臥床しむりをせぬことです、普通の單純な感冒だつたら二、三日で治るのですが、それ以上長引くのは合併症であるか、或は本來他病である場合がありますから早く醫者に

診察して貰ふことです、風邪に罹つてる場合は消化器も同樣弱つてゐるのですから平常より柔かいものを攝るとです、全快せぬ中に早く床を離れるためよく失敗する方が多いのですからこの點には充分注意しゆつくり養生することを忘れてはいけません、嗽口も平常は水だけで結構ですが風邪引いた場合は過酸水素或は食鹽でやつたらいゝのです

牡蠣と蛤のスープ
老人や幼兒や病人むき

大變滋養に富んでゐる上に消化よく、しかも大變美味しい牡蠣と蛤のスープの調理法をお傳へしますが人や幼兒や病人には適當でせう　老

牡蠣のスープ

▲材料＝牡蠣十匁、出汁一合、牛乳五勺、味の素、食鹽、胡椒少量

▲調理＝牡蠣はなるべく殼に入つたものを選び殼を破つて中の汁と共に出汁に入れて五分間煮立て、中味をとり出してすりつぶし裏漉しにかけて再び汁に入れ食鹽、味の素、胡椒で調味します、好みにより牛乳を入れ温かいうちに頂きます

蛤のスープ

▲材料＝蛤六七個、水一合五勺、牛乳五勺、食鹽、胡椒少量

▲調理＝蛤は一二日鹽水に浸して充分鹽を吐かせて置き、よく洗つて一合五勺の熱湯に入れて全部口を開くまで煮ます、これをすりつぶし裏漉しにかけ食鹽と胡椒で調味して温かいうちに供します、お好みにより牛乳を加へますと大變結構です

滿日各地版

長春を中心にして北滿各地へ通信網
長春電話局の中繼で
吉長沿線ハルビンへ通話開始

【長春】哈爾濱、吉林等への市外通話取扱ひは長春電話局中繼で十二日午前八時から開始され十四五年前からの懸案がヤット解決された譯だがこの交渉の任に當つた馬淵長春郵便局長の功績はけだし偉大なものといはねばならぬ今後哈爾濱、吉林等と通話する場合それが日語であらうと支那語であらうと兎に角全部が長春電話局の中繼によらなければ通話が出來ないこととなつた譯である、現在では單に長春電話局の中繼に過ぎないが今後は更に全滿各地へ擴大されて行くことであらうと思ふ、然しこの通話取扱ひが哈爾濱、吉林、長春その他の特産商や通信關係者等に及ぼす福音は非常に大なるものである、因に通話區域及通話料金は左の如くであるが銀貨の變動により通話料金は臨時變更することがあると

通話區域	料金	通話區域	料金
下九臺	二十七錢	双陽	三十二錢
樺皮廠	三十二錢	農安	四十一錢
吉林	五十九錢	伏龍泉	四十一錢
伊通	二十七錢	張家灣	五十九錢
陶賴昭	五十九錢	三岔河	五十九錢
双城	五十九錢	哈爾濱	九十一錢

解除した武器は漸次引渡す
天野旅團長吉林で語る

【長春】長春記者團は十一日の日曜を利用して吉林に天野旅團長及新任吉林省長官熙洽氏を訪問したが白髪交りの童顔天野旅團長は頗る元氣で九名の一行が氏の應接室に押しかけるや、エライまた大勢でやつて來たなと一矢を報ひながら語る

吉林に避難してる鮮人が五百四五十名で彼等も收穫期をそのまゝ逃げてきてゐるんだから可哀想なものだ

敗殘兵 から生命を絶たれ相當悲慘な狀態を見せつけられてゐるので避難も止むを得ない然し之をこのまゝ放つても置けぬので十日熙長官に敗殘兵の嚴重な取締りと鮮農に對する生命財産の保證さへ捻ち込み若し取締りが出來ず一名たりとも鮮農に危害を與へられた場合は斷然實力を以て之に當る旨を突込んで置いた、熙氏も直ちに人を派して鮮農保護を絶對的に命令するところあり大體安全と見られるので十二日から各自原地に鮮農を引取らせ收穫に專念させることにした、武裝解除の武器は今日までのところ一千三百挺餘に過ぎないが既に長官公署衛隊として北山兵營に歩兵一個大隊を編成し武器も之等編成隊に對しては引渡した、工兵、憲兵各一個中隊(二百名餘)も近く編成する筈だから

武器は 漸次引渡す方針である、敦化には目下一兵もゐないが今度の新任敦化縣長劉興沛は頗る親日派でこの間赴任の際僕の處にやつて來て絶對に御安心を乞ふなどゝ云つてゐたからもう大丈夫だらう敗殘兵が現在では烏拉と街岬甸にゐるようだが六千位の兵員らしい

因に吉林では十一日野砲の實彈演習を實施してゐたが當分歩兵その他の演習を實施する模樣であつた

吉林省長官記者團と會見
十一日吉林省長官公署にて

近頃のハルビン
物情騷然たるうちに 一抹のユウモア漂ふ

【ハルビン】双十節を期して支那共産黨の排日暴動が計畫されて居るとか、双十節を期して日本人鏖殺の計畫があるなど途方も無い流言も行はれたが慣れっこになつた日本人は又かとばかり鼻先であしらふだけの餘裕が出て來たのは嬉しい、當日行政長官公署では例年通り在哈各國の要人連の

祝賀 を受け一時監禁說を傳へられた當の張景惠長官は禮服着用頗る上機嫌の態で祝賀の客に應對してゐた、午前十時頃例に依つて傅家甸新市街方面に「日本帝國主義打倒」の小さな傳單が共産黨員の手で撒布された外は何一つの事故なく全員特別出動で嚴重な警戒に任じた公安局の巡警諸君も手持無沙汰に見えた、こんな風で近頃の哈爾濱は表面頗る平靜であるが時には飛んでもないナンセンスな出來事に思はず頤を解くことがある、目下映畫館パラスではソウエートの宣傳映畫「戰艦ポチヨムキン」を上映中であるがその宣傳のため

軍艦 に假裝した貨物自動車に樂隊を載せて市中を巡つた所モスコ兵營の歩哨兵二人はてつきり日本の裝甲自動車が來たと思ひ込み「日本兵來了」と叫んで營内に逃げ込むやら附近の支那人は燒きかけの玉蜀黍などを放り出した儘瞬く間に店を鎖したといふ頗る滑稽な出來事があるかと思ふと白系露人はソウエートの宣傳映畫に業を煮やし九日夜上映中卵樣の爆發物を三つも舞臺目掛けて投げつけ轟然たる爆音に滿場總立ちとなつて大騷ぎをしたが取調べた

結果 何等の害毒はないが鼻持ちのならぬ臭氣を發する玩具の爆發物と判明した、殊に角事變突發以來の哈爾濱は物情騷然たる裡に一抹のユウモラスを漂はせてゐる

マラソンで軍隊警官を慰問

【瓦房店】廣島縣人土倉節夫氏は大連旅順における廣島縣人會後援の下に今回の時局に關し軍人警察官の勤勞をマラソンにて慰問することゝなり十日旅順を發し十二日驛及大連滿日兩支局を訪問したが瓦房店着守備隊警察署地方事務所同人の語る處に依れば普蘭店、瓦房店間約十里餘を三時間半位で到着した途中道を誤りて外部にそれ約四十分位空費した又田家を發して間もなき線路踏切にて二十歲前後の支那人六名より投石されて足部を負傷した彼等は馬鹿野呂の惡口を口々にあびせて居たと同氏は十三日朝熊岳城に向け多數見送りを受けつゝ出發した

全滿鮮人大會

【奉天】今回事件で支那敗殘兵の鮮農虐殺に恐れた地方在住の鮮人は續々として安全地帶に引揚げてゐるが在滿鮮人は來る十七日午後一時より奉天に於て全滿鮮人大會を開催し暴支膺懲と避難民救濟につき協議することになつた

時局相談會 奉天に設置

【奉天】今回の時局に際し在奉各機關は相互に聯絡を採る必要あるに鑑み野口民會長、上田町内會總代、入江商議副會頭、萩原日主同盟理事等發起の下に時局相談會を設置することになつたが十二日午後一時より奉天商議に前記發起人の外岡田奉天事務所地方課長、鯉沼青年聯盟支部長、木下在郷軍人分會長、飯島國粹會副部長等出席し協議會を開き審議の結果その規約を左の如く決定した

一、名稱 時局相談會
一、目的 本會は奉天全市民の協力により時局に善處するを以て目的とす
一、組織 本會は在奉天各團體の代表者を以て組織す
一、本會は必要に應じ隨時開催す
一、本會の決議は事案毎に擔任委員を定め處理せしむ
一、本會に常任理事若干名を置きその合議を以て常務を處理す
一、本會經費は有志の贊助金を以て之を支辨す

流言蜚語から鐵嶺の騷ぎ
四人六名破獄を企つ

【鐵嶺】最近開原城内では教育會長の官金持逃げ事件あり今又傍縣長の逃亡あり續いて官銀號分號の保管金も奉天に強送される如き噂あり開原守備隊では警戒中であつたが十一日午後兵を派して之れを差押へたるところそれに端を發して流言蜚語傳はり日本軍襲來說馬賊襲來說頻りに傳へられて人心頓に動搖し公安隊員も正服を脫ぎ棄て便服を着用するなど不穩の狀態に陷りたるが其隙に乘じ城内監獄では囚人六名が破獄を企て大亂鬪を極めたるも囚人は一名射殺され二名重傷三名逮捕され日本官憲の嚴重交涉によつて公安隊も武裝し舊態に復した、一時は非常な騷ぎであつた

遼寧省自治會 名稱を變更

【鐵嶺】鐵嶺縣政府廢止後に設立された遼寧省自治會鐵嶺自治會は十二日委員會協議の結果鐵嶺縣臨時自治會と名稱を變更しそれに伴ふ組織と執務章程並に自治會委員會章程を議し滿場一致承認し以て委員張祖蔭氏の辭表提出ありたるも時局多事多端の折とて此際是非とも留任を希望して辭意を飜へさせ各部の首腦者氏名は十三日に確定せしむることゝし自治會事務通譯一名を新採用することを決議し十二日の會議を終つたが自治會設立に就いて支那側一般の感想は頗る好評にて多年東北軍閥の苛斂誅求に虐げられて來たことゝて自治會の内容充實を切望してゐる者が多い

新政策を謳歌

【鐵嶺】別項の如く鐵嶺縣自治會の設立は一般民衆に對し多大の好感を與へ民衆は自治會の將來に囑望するところ多大なるものあり新自治會が新政策に方つて第一に發表した惡税の撤廢は民衆を最も喜ばしむるところとなり十二日城内隈なく各方面に左の如き新政策謳歌の宣傳ビラが撒布された

大家!大喜!我們的人民自治會産生了、就是人民自己管自己的事結果!我們的稅捐可以減半、軍閥可以消滅、土匪可以剷除、打官司可以得着公平、我們可以安居樂業
大家!我們幾千年來的大欲望呀現在已經達到了
大家!大喜!大喜!
十月十二日 鐵嶺人民

邦人の人質を虐殺
蓋平城の邦人宅を襲撃した六名組馬賊の暴狀

【營口】蓋平城東門街に居住し金銀業を營み居る山口多一方に十一日午後九時頃五六名の馬賊侵入し現大洋一千元金票二百圓其他衣類數點を強奪同人及同店使用支那人一名を人質として拉致支那人は城東三支里の地點にて放還し山口は約四支里の地點に於て虐殺された急報に接したる牛莊領事館警察署では窪田司法主任以下數名同地に急行した

悲慘な死體

【熊岳城】十二日午前一時頃當地守備留守隊に向け蓋平分遣隊より蓋平城内邦人宅に馬賊十數名侵入掠奪を恣にす應援をたのむとの通報に接し即刻守備隊にては準備を整へ飯塚少尉以下八名午前二時四十五分發蓋平に直行したが被害者は東門外に牛馬賣買業を營む原籍佐賀縣藤津郡能古村字山浦、山口多市(五〇)にて十一日午後九時頃三十歲前後の支那人を先頭に五名の者手に手に棒、支那槍を攜帶し同人及び支那人傭人右二名を拉致し去りたる後にて賊は金品(現大洋一千元=金三百五十圓、衣類其他約三百圓)を強奪し右二名を東北方約四支里の天籠附近迄拉致し傭人のみを追放し倚東北に向ひたる形跡あり一行は附近村落を嚴く捜査中倚約一清里花、紅旗屯墓地附近にて棍棒にて毆打支那槍にて突殺し居る死體を發見した、右被害は腹部七八ケ所を突刺し腸露出し兩股中央部二ケ所に刺傷あり兩手及首を荒繩にて縛りあり見るも悲慘な形相であつたと、因に一同が之れを發見したのは犯行後約六時間を經過したる後にて遂に賊を逮捕するに至らず後事を大石橋警察署長以下警官隊及び商務會等に託し午前十一時五十分發當地に引揚げた

八棵樹の馬賊

【營口】營口縣下八棵樹附近に出沒し盛んに金品掠奪中の馬賊頭目九勝、東來好の率ゆる約八百名の賊團は田莊臺商務會に對し金票二萬五千圓を五日以内に提供すべしと要求して來たので附近の各村長等は對策協議中であるが公安隊及自衞團にては警戒を嚴にして居る

二人組の強盜

【遼陽】遼陽鐵西丸山農場に十二日午前一時半頃家人の熟睡中便所の窓硝子を破壞して闖入した二人組の強盜が主婦三代を脅迫して現金四十圓餘古綿五貫白米一斗鶉豆四升を強奪西方大林子方面に逃走したと

四人組辻強盜

【奉天】十一日午後十時ごろ山東省生れ蘇家屯附屬地伊賀原組使用大工頭李育生(三七)が巨流河から皇姑屯驛に到着し市内若松町支那旅館福順棧南方に差掛つた際二名は支那刀を所持する四人組の辻強盜が現はれ脅迫し金票三圓五十錢、現大洋八十錢を強奪し南方に向け逃走した目下犯人嚴探中である

人質を歸す

【遼陽】遼陽城東北東京陵の農家を襲ひ人質を拉去身代金三千圓を要求逃走した賊團から更に密使を送つたので家人は大洋五百元を調達九日朝賊團に交付せるに同日午後五時頃無事歸宅したと

賊に射撃されて伊藤大尉負傷す
賊は闇にまぎれ逃走

【營口】獨立守備第三大隊第二中隊長伊藤大尉は十一日夜傳令一名を隨へ歩哨線巡察中同夜十一時頃營口市街裕豐棧胡同通行中三名の賊に射撃され右大腿部に盲貫銃創を受け打倒れた大尉は所持の拳銃を以て應射したるも賊に命中せず傳令は直に賊を追跡したるも暗夜のこととて危險を慮りて中隊長は之を中止せしめ直に大隊本部に報告せしめた守備隊、憲兵隊及び警察では直に賊の捜査をなすと共に中隊長を古川醫院に送り應急手當をなし翌十二日午前七時大石橋に引揚げた負傷は全治まで一ケ月を要するとのことであるが傷口より推せば小型拳銃にて約五米突の地點より射撃したるものゝ如し賊は附近を襲ふつもりで暗にかくれゐたるを突然の靴音に驚き逃走を容易にするために發砲したるものならんとのことである

掠奪した十六名の娘と匪賊團の盛んな結婚式
昌圖縣に童話のやうな物語

【開原】昌圖縣寶力屯は目下約三百名の匪賊に占領されつゝあり該賊團は附近の部落より強奪して來た娘十六名と結婚式を擧げるべく擧式に必要なる音樂手數名をわざく昌圖縣金家屯より强制的に呼び寄せたと云はる

第三國の干渉等問題にはならぬ
民政黨慰問團來滿

【奉天】在滿帝國軍隊居留民々政黨特派慰問團一行戸田由美、小山倉之助、松尾四郎、作田高太郎の四代議士は十二日十三時着安奉線急行にて來奉ヤマトホテルに入つたが松尾代議士は語る

今回の事件で國民を代表し軍隊並に居留民の慰問に來た外何等意味はない自分としての意見は數々あるがこゝに述べる譯には行かぬ、事茲に至つた以上今日まで侵されてゐた滿蒙の權益を確立せねばならぬことは内地においても同樣意見である今後如何に展開するか注目される處である第三國の干涉については國際聯盟のみでそれも米國は居らず英國は日本に好意を持ち佛國はなるべく遠ざかるといふ風で恐らく問題にはなるまい、國家としても今回は他の干涉を絶對許さずと強硬に出てゐるからこの點でも軟弱外交輩は當らぬ、滿洲を今後如何にするといふことは全く判らぬ

一行は十三日朝撫順見學をなし同日午後三時卅六分發急行にて長春に赴き吉林を往復し哈爾濱視察後十六日過奉赴連の筈

石油蠟燭暴騰

【遼陽】遼陽市場に於ける石油と蠟燭は一兩日前來遽に暴騰し石油一罐十一元のものが十四元五角に洋蠟一袋二角五分が五角に暴騰せり其の原因は卅一日と云ふ如く近日中に日支交戰あり當地の消滅を慮りてなりとの流言を信じ居るもの如くである因に遼陽城内は目下の處極めて靜穩である

沿線往來

▲中谷關東廳警務局長 十二日朝來奉
▲柴山顧問 十二日大連より歸奉
▲十河滿鐵理事 十二日朝來奉
▲入江滿電專務 同上
▲黒田陸軍少將 十二日安奉線にて來奉
▲森守備隊司令官 十一日夜四平街へ
▲竹中滿鐵理事夫人 十二日朝來奉
▲玉木鎌次郎氏(滿紡專務)日鮮連十三日歸連の豫定
▲長山遼陽警察署長 十二日奉天往復

妙布（めうふ）

勝利の妙諦

息づまる接戰、熱合數回！
シーソーゲームに觀衆は醉ふた
最後の一擊！
俄然！セーフ！一點！

勝利は遂に體力の反影
彼は常に疲勞の背越しを知らぬ
彼のポケットに秘むマスコット
妙布の偉効！勝利の妙諦！

妙布と醫學的効果

心身過度の使用は體内に疲勞素を生じて、頭痛となつたり肩腰のコリとなつたり諸筋肉の痛みとなります。

これは體内に生じた疲勞素の自家中毒からであります。妙布を貼布しますと血液の循環をよくし、新陳代謝を旺んにし、疲勞によつて生ずる毒素を速かに體外に排除して、潑溂たる元氣を醒生します。

日常家庭常備藥としては勿論、競技、旅行、登山、其の他、健康保持の爲め必須の最適外用藥であります。

主治効能
肩腰のコリ　リウマチス
うちみ　神經痛
過勞の痛　乳のコリ
胸咽喉の痛　筋肉の痛

全國到る所の藥店に有ます

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓

本舗　東京市麻布區霞町廿一番地　株式會社 渡邊輝綱藥房　（振替東京四六〇七番）

超急速強壯劑 ラボカ

今こそ！シーズン

ラボカで培つた健康の威力を存分に發揮しやう

ラボカの一匙は一日の過勞を完全に治癒し日毎に體力を旺盛に精力を見違へる程增進した

‼全スポーツマンに激す

ラボカの愛用に依つて更に新たなる進出を試みよ

強壯劑の第一位と文部時報推薦

文獻說明書進呈　全國ラボカ販賣聯盟藥店にあり

定價
粉末ラボカ　一二〇瓦入 金二圓　三六〇瓦入 金五圓　一キロ瓦入 金十二圓
錠劑ラボカ　五十錠入 金一圓二十錢　三百錠入 金五圓

東洋一手發賣元　東京 小菅商會藥品部
洲總代理店　大連 日本賣藥會社支店
全滿ラボカ販賣聯盟藥店にあり

(9-2)

地下水の調査鑑定　鑿井試錐工事應需

大連市兒玉町四　電話六五四四番

八丁鑛業所

商標 G.Y

車軸油

營業品目
揮發油　石油　機械油
重油　車軸油　植物油
魚油　サラダ油　油類一切
テキサコルーフイング、ピッチ
龍印ボイラーグラハイトペイント

大連市紀伊町五十五番地
合資會社 矢野元商店
電話 長七八四三一五三八八番

健胃強肺

日露丸

吾等の健康のために與へられたる此の靈藥

特効
消化と毒消し
惡疫豫防としては
最良藥
（至る處の藥店にあり）

定價　五十粒入三十錢　百粒入五十錢　二百粒入一圓　三百粒入二圓

本舗 東京 山田資生堂
發賣元大連 日本賣藥會社

人力車より經濟な自動車

税額僅か月一,六〇錢!!!

二人乘ノ二種 四人乘

昌和洋行
大連市山縣通一二一　電三二四三 八三九三
奉天新市街富士町一　電二五八〇 二七五六

大連市常盤町 三根眼科醫院　電話六四一〇番

產婦人科

婦人の病は婦人の手で

病室完備入院隨意

女醫 永井清子

永井婦人醫院

大連市若狹町四十三　電話三六六六番

佛蘭西料理　カフエー 翠香
浪速町四丁目　電四四六三番

耳鼻咽喉科　澤田醫院
大連市西広場三河町南　電話五四一〇番

●全く驚きましたよ ノーシンのききめには、頭痛にはテキメンですな

たびの界王

體裁優美……堅牢無比

つちや足袋總代理店
合資會社 大連洋行本店
大連市連鎖街電園前
電話 長二六〇二 五二五三番
振替大連二九一番

ゼットの一滴 南京虫軍全滅

藥學博士河合龜太郎氏創製

本品のＶ・Ａ濃度はロヴイボンド比色計（カール・プライス法）の二〇〇乃至三〇〇青色單位に相當す

○濃厚肝油

みつわ・ヴイタミン

日・英・米・佛專賣特許　醫學諸大家實驗推奬

化學工業博覽會金牌・進步賞　東京博覽會優良國產賞牌　帝國發明協會優等賞受領

普通の肝油と違つて、用量は十分の一、大人極大量でも一日の量僅に茶匙に輕く一杯にて充分、臭味少く、胃腸を勞せず、下痢を起さず、最も連續飲用に適して、費用僅少大衆的理想の滋養強壯料なり

即ち用量は滴數による
一日二回乃至三回(食後飲用)
五歲以下一回三乃至八滴宛
十五歲以下一回八乃至十五滴宛
大人一回十五乃至三十滴宛

內外特許の理想的滋養強壯料にして一般榮養不良、虛弱貧血、產前產後、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に榮養不良に基く夜盲等の眼病、及び佝僂病の如き骨病、糖尿病、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を有する病弱者、慢性諸症の病弱者に對して、種々なる直接醫療方法の傍ら、榮養補給を目的とするに最も適當なり。

文獻・說明書進呈

一、肝油の効顯著しきも然も其如何にも飲辛きと併せて胃腸を損じ易く、必要量を連續飲用し難き場合頗る多きを慨し、苦心研究の結果遂に本品を發明せり。即ち先づ各種條件の學術的見解を基礎として最强最良の國產肝油を選擇し（國產肝油は概して歐米市場の肝油に比しヴイタミンＡ濃度の强大なる例多し）

二、日・英・米・佛特許の特殊操作によつて更に右の優良肝油を濃縮し、ヴイタミンＡ・Ｄ等主要成分の含量を著しく增大せしめたり。即ち肝油天然の本質を變ずる事無くヴイタミンＡの如きは、其含量不定なる內外肝油の五乃至三十倍の濃度に含有せしめたれば、大人一日量普通肝油十乃至三十瓦に對し、本品は一乃至三瓦にて充分なるが故に、大人極大量にして一回僅に三十滴づゝ一日三回、又は一日一回茶匙に輕く一杯用ひれば足り、其費用亦大人極大量にして、一日僅に三錢內外に當るのみ。

三、臭味少く、胃腸を勞せず嘔吐下痢を起さず、春夏暖暑の候と雖も何等の斷續無く連續飲用に堪ゆ。

定價　百瓦入 一壜 金一圓二十錢

用量用法其他詳細は添附說明書に記載

賣捌　各藥店・和洋酒食料品店・雜貨店　最寄に無き時は本舗より直送す　郵券代用三圓以下送料不要（市內は一瓶にても配達）

○ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店　東京市下谷區長者町　振替口座東京一〇番　電話下谷(83)一〇一五

L.52

頑强無比

トラツクシヤシーに用ひてダンロツプ新型32×6ヘビー程安全なタイヤが他にあるだらうか

國產之王樣

ダンロツプ會社代理店
羽島洋行
電話5168番

新發賣

極上 白絞油 四三詰

此度揚物、製菓用としてサラダ油姉妹品極上白絞油を格安値段で發賣致しました、品も値段も斯界の驚嘆であります　是非一度御試用願ひます

尙御用の節は特約店へ御引合下さいませ大口御得意樣には特に勉强致します

日清製油株式會社

株式會社 進和商會
大連市佐渡町三〇　電話八一二七番

土木建築界に對し 關東廳、自覺を促す
羽衣高女校舍倒壞事件を機會に 今後の監督策を研究

羽衣高女校舍の崩壞事件はその原因乃至は責任が奈邊にあるにせよ究に角かゝる生々しい現實の結果は動かすべからざる事實であり事件勃發と同時に土木建築の衝にある當業者は勿論、一般世人は今更の樣に建築工事の保安的重要性に思ひ至つてゐるが、建築工事を許可し或は主任技術者の證明を下附する等一切のことが監督の立場にある關東廳土木保安の主管課では之を機會に土建界の自覺を促すと共に官廳としての監督方法等に就いても一層適切にする必要があるとて早速研究に着手した、主管官廳としては學校、劇場、旅館等大建築に就ては今後出來るだけ監督を嚴にし再び不祥事を見ぬやう努むる筈で目下建築中の中央館等も差當り嚴重なる監督が行はれる模樣である

マストの折損は苦力の不熟練か
豐橋丸は大汽ドックで修理 八日間はかゝらう

近來の椿事として海運業者よりこれが成行きを注目されてゐる郵船會社所有豐橋丸の前檣切斷事件に關しては山口郵船支店長は直に同本海務局長の臨檢を得てこれが修繕に關する指示を仰ぎ漸く午後にいたりマスト、ヘビーデリッキ、ビーム二本、リーデングラインの全部を交換することゝなり直に本社に打電打合せ中であるが、先づ大汽ドック工場に廻して修理を行ふ筈で八日間は費すものと見られてゐる、しかしてこれが原因に關しては理事官或は技術官等の鑑定が未だ發表にいたらないが山口支店長は本船側の言分について

あの船はそう古いもので無く貨物船としてはかなり優秀なものとされてゐる、で今度の事件に對してまだ監督官廳の意見は何とも聞いてゐないが本船側としては苦力の技術上の不熟練が原因したんじやないかと云ふ點が多い、負傷した水夫長の話ではデレッキのまき方が少し早すぎるので注意しようとブリッヂを降りんとしたところ突然あの椿事が惹起したものだといつてゐた、從つてそうなると責任はどこが負ふか難しい問題となる

重い物を 扱ひ過ぎた
岡本海務局長談

椿事の發生と共に現場に赴いた岡本海務局長は十三日午後歸局したが調査の内容に關して語る

とにかくあんな大きな船のメインマストが荷役中根元から折れたなんて事件は非常に珍らしい原因に對しては檢察局からも所轄水上署からも係員の出張調査を見たし私も直ちに本船にゆき實地を見たが今のところ調査中のものもありまだ研究しなければならない箇所もあるがまづ自分の意見として第一の原因は重いものを取扱ひ過ぎた、これは電氣機械で横濱で積まれたのだがその時に何等變りは無かつたが拾度今度は何分十八年も經つた船だからゆるみが出來てゐたものではないかと思ふ、無謀な扱ひ方ではないがあまり荷役をいそぎすぎたのがデリッキに應えたものと思ふ、別に鋲に腐朽の點もなかつたからこれは永い間のデリッキ能力のゆるみと見て好いと語つてゐる

秋・うらゝか――きのふ常盤橋にて

手落を棚に 勝手な消燈

市内臥龍臺百三十番地三田組請負人水野金之介氏方では滿電に對する電燈料八、九兩月分を支拂ひ滯納の七月分は會社側が請求せぬので放置しておいたところ十二日午後一時ごろ後藤滿電事故係が訪れ三ケ月分滯納してゐるから消燈するさいふので水野氏方では八、九兩月分の領收書を示し、滯納にあらざることを證明せるに後藤事故係は「私は係が違ふから」と消燈して立ち去つた、よつて水野氏は憤慨し滿電側に交渉の結果、送電せしめたが水野氏は一般市民のためりとなし十三日午前十時大連署保安係に出頭、當局から警告される樣滿電側の横暴に對し警告の必要あるやうにと願出た、右に就き滿電側では事故係と集金係との連絡を缺いてゐたと思ふが、一應よく調査し、事實とすれば再び迷惑をかけぬやう充分注意すると語つてゐる

三十九名の遺骨
明十五日大連に到着 埠頭で慰靈祭を執行

滿洲事變に於て陣歿の獨立守備步兵第一大隊および鐵嶺第五大隊將士倉本少佐以下三十九名の遺骨は十五日午後八時大連驛に到着、同十六日午前十時出帆のうらる丸で郷里へ歸還の豫定なので大連市役所では十六日午前八時埠頭構内東方廣場に於て左記順序により慰靈祭を執行するが一般市民多數の參拜を希望すると

▲神式＝先修祓、次降神（默禱）次齋主祝詞を奏す

▲佛式＝先香偈、次祭文、次讀經次市長代理祭文、次來賓弔詞、次齋主玉串奉奠、次導師燒香、次玉串奉奠並燒香、市長代理、遺族、民政署長、滿鐵總裁、現役軍人代表、在鄕軍人代表、傷兵會代表、市會議長、商工會議所會頭、學校代表、關係各縣人會長、一般參列者代表區長、次一同起立默禱

大分地方に暴風雨
被害頗る甚大

【大分十三日發】大分地方は昨夜來西北の暴風雨あり今朝は更に猛威を加へ、これがため海岸地方は海嘯に襲はれ各所に土砂崩潰續出し大分、別府間の電車は不通となり大分別府兩市海岸の家屋十數戸倒潰又は流失し海上には難破船多き見込み碇泊中の汽船は出港出來ず數十年來曾て無き大荒れである

神戸出入船舶 豫定を變更

【神戸十三日發】颱風の爲め神戸出入船舶は各會社船を通じて出帆延期又は缺航等豫定を變更した、日本郵船上海行定期船上海丸は十三日午前十一時の出船を延期し十四日午前十一時出帆に決したが上海行定期船の缺航は近來珍しいことである

三重縣下被害

【尾鷲町「紀州」十三日發】十三日午後二時ごろ豪雨のため北牟婁郡相賀町銚子川増水し堤防決潰し町内四十戸二百三十餘名押流され行方不明となり目下救助中である

老虎丸離礁

北樺太にて坐礁した大汽老虎丸よりの無電によれば同船は十二日午後五時サルベーヂ來島丸の助力によつて無事離礁を見たと尚船體損傷微少の見込である

エッツドルフ號 州內上空を通過
けふ新義州から天津へ

東京に飛來して名をあげたドイツの女流飛行家エッツドルフ孃はいよいよ母國へ歸還の途につくこととなつた、しかして同孃操縦の愛機は十四日新義州を出發して一路關東州に向ひ沿岸を飛行して天津に向ふ豫定であるが時節柄州內の住民はこれを支那の飛行機と間違はないやう特に承知してゐて貰ひたいと關東廳で注意を促してゐる、尚コースは新義州より普蘭店鳳鳴島上空を通過して天津に行くものである（寫眞はエッツドルフ孃）

わが兵が乘合せた 列車を蒙古馬賊が襲ふ
交戰の末、賊死體六を殘して逃ぐ

十二日午後十時ごろ通遼を發車せる鄭家屯行第八列車が大罕驛に停車せし時、突然蒙古馬賊約百名が同列車を襲撃したが時恰も同乘せる日本兵約二十名は直に車外に出でゝこれを邀撃し賊六名を射殺し相當の損害を與へた、賊は日本兵を見て周章狼狽し旅客の手荷物四個を掠奪逃走した、尚旅客二名、巡警一名負傷せるほか日本兵には死傷なし【四平街電話】

營城子に馬賊

十二日大屯より來長した鮮人の報によれば大屯西方六里餘の大嶺へ二千名の敗殘兵集結附近を掠奪しつゝあるとの旨に我が第二師團では飛行隊に命じ午前十時長春發偵察せしめたるに大嶺西南方十キロ營城子に五十名の馬賊が馬車を以て盛んに掠奪中で附近公安局がこれを討伐中であつたが敗殘兵の姿は發見しなかつた【長春電話】

四百八百繼走に大會新記錄
小學校聯合競技會

大連奬學會主催の大連小學校聯合競技會は引續き十三日午後よりも大連運動場に於て續行父兄達の來觀者も多く選手、應援團ともに意氣天に冲し好記錄續出で大會新記錄二（尋女四百米繼走、尋男八百米繼走）を殘し午後二時半競技を終ると參加選手中央役員席前に整列淺野伏見臺校長閉會の辭を述べ國旗下降後全參加選手萬歲を三唱し盛會裡に終了した

尋六女六十米 ▲1名越よし（廣）九秒三2淸野はる3古賀サツキ（日）▲1加藤エイ子（嶺）九秒五2永田かの（伏）3尾關さし子（松）▲1石川美子九秒一2山崎利子（日）3今西千惠子（伏）▲1大政喜代子（常）九秒五2鈴木まさ（朝）3長谷川滿都子（春）▲1金田富貴子（沙）九秒六2木下常子（松）3和田トシヱ（南）▲1江川久江（伏）九秒五2高野愛（朝）3奈良井成枝（正）

尋五女六十米 ▲1岩井やす（朝）九秒六2栗山田鶴子（廣）3石田玉江（正）▲1源壽美枝（松）九秒七2田邊富美子（嶺）3渡邊辰惠（下）▲1矢橋滿（嶺）九秒七2伊藤俊子（正）3梅本睦子（廣）▲1小西幸世（朝）九秒五2中村滿壽（伏）3廣谷良子（聖）▲1萩巣和子（春）九秒五2德丸春江（聖）3山根茂子（松）▲1安東一子（常）九秒七2藤木信子（正）3山口セツ（南）

尋三男六十米 ▲1柳川卓雄（嶺）九秒五2岡崎憲二郎（正）3增本好夫（南）▲1稻垣謙次（朝）九秒四2伊藤圭一（廣）3内藤滿夫（沙）▲1今井幸夫（朝）九秒七2上坂博（廣）3池内健（聖）▲1長廣敏郎（伏）九秒九2木下元彩（松）3小龜博（正）▲1井上好雄（嶺）九秒五2寺師衛正（廣）3松田廣和（伏）▲1桑野雄年（正）九秒七2宇佐美貞雄（南）3坂田平七郎（聖）▲1壽富勇（沙）九秒八2川村博章（朝）3池回亮（常）▲1林末夫（正）九秒九2小西宗義（廣）3上田文夫（日）▲1沖見治雄（嶺）九秒七2古澤米正（廣）▲1鷲尾敏夫（春）十秒一2早川武（周）3梅田時敏（伏）▲1永峰健三（沙）九秒九2安田博（日）3入賀茂（下）▲1室山肇（廣）九秒五2丸谷悅郎（嶺）3市岡拓郎（正）

尋三女六十米 ▲1八丁百合香（日）十秒2石本和子（伏）3松本貞子（南）▲1松田カチル（正）九秒六2森永美代子（朝）3藤井コウ（嶺）▲1鈴木みつ子（朝）一〇秒一2淸水春子（南）3勝本和子（下）▲1谷川久枝（嶺）一〇秒五2坂本タヅ子（廣）3氏原芳江（日）▲1高見よし江（聖）一〇秒2金野百合子（正）3香月千里（春）▲1飯島安子（朝）九秒六2川口谷節子（沙）3齋藤和子（聖）▲1村綾子（正）一〇秒四新關富子（伏）3友岡進子（日）▲1中山房子（下）一〇秒2松尾チエ子（廣）3濱崎光子（松）▲1澤田鷗子（正）九秒九2河野夢野（嶺）3内藤貞子（廣）▲1奥千鶴（朝）一〇秒一2佐藤アヤ（松）3鐙谷良子（伏）▲1上田敏子（嶺）一〇秒三2安藤多賀子（常）3勇木尚子（伏）▲1城戸芳子（廣）一〇秒四2岩本君子（朝）3堀居澄子（春）

尋四男六十米 ▲1關木登久男（南）九秒四2玉田孝（伏）3吉永（聖）▲1伊藤敏明（聖）九秒六2大内俊彥（常）3澤田秀雄（伏）▲1外山信義（廣）九秒二2安藤健二（下）3茂倉光（正）▲1增川靜士（朝）九秒五2今井明（伏）3三倉浩（嶺）▲1黑木繁（廣）九秒三2中泉良致（嶺）3神原正七（沙）

尋四女六十米 ▲1寺坂智惠子（嶺）一〇秒2森鈴子（廣）▲1白川章子（常）一〇秒2松本芳子（日）3稻津秀子（聖）▲1小島トシ子（日）九秒九2嶋木潔子（嶺）▲1八島敏子（南）一〇秒二2黑瀨俊子（正）3久保田泰江（聖）▲1三浦ヤヱ子一〇秒2龜田フク子3三宅秀子（聖）▲1小田泰子（嶺）一〇秒二2三好日出子（嶺）3田尻トヨ（廣）

尋五女走巾跳 ▲1池田壽美子（廣）三米五〇2大森ユキ子（松）中村末子（常）▲1貴志カツ子（嶺）三米五三2菅原孝子（正）▲1野崎淸共（廣）三米三五2有江文子（朝）3西坂ミツ▲1中内文子（常）三米三五2楠原靜江（嶺）3佐藤時子

尋五男走巾跳 ▲1高山勉林朗（伏）▲1赤津勢吾（正）三米八六2粟津二郎（廣）3松岡榮典（常）▲1内田勝祐（聖）三米七六2村田博（伏）3林高明（春）▲1關振久（嶺）三米六二2篠後男（常）3高橋一成（日）

尋女四百米繼走 A組一着嶺前（渡邊、秋山、三上、三原）一分一秒六、二着春日、三着沙河口
B組一着朝日（吉田、岡野、岩崎、江上）一分〇秒五（大會新記錄）二着日本橋、三着大廣場
C組一着伏見臺（永田、細萱、百東、夏原）一分二秒三、二着南山麓、三着松林

尋男八百米繼走 A組一着聖德（高名、奥野、宮本、久保田）二分〇秒（大會新記錄）二着南山麓、三着伏見臺
B組一着沙河口（岡田、松尾、畑、宮澤）二着春日、三着大廣場
C組一着大正（柿田、鈴木、森岡、稻垣）二分七秒二、二着日本橋、三着嶺前

旅順に要港 設置を要望

日支事變突發後南方支那における排日氣勢の濃厚に加へ在留邦人杞憂一段の重きを加へ來ると共に旅順市民の間には將來の對支的關係より海軍要港部設置復活の聲起り一部にては最少限度防備隊丈にても復活の希望を有する者ありて中には急速これが協議會を開催すべしとの議を唱へる者がある

秋季競馬 十六日から

大連競馬俱樂部主催の秋季競馬は先月開催の筈であつたが事變突發のため中止となつて居た、然るに事變も一段落となつたので來る十六日より開催してもよい旨關東廳より内命があつた、その日取りは左の通りである
十六、十七、十八、二十四、二十五、二十六の六日間

敗殘兵が虐殺の 鮮人は約四百名
我軍討伐に向つて以來

支那敗殘兵の朝鮮人虐殺數は多數にのぼつてゐるが、日本軍が敗殘兵討伐を始めて今日までの調査を行つた結果によると、日本軍討伐區域内に於て朝鮮人の虐殺された者は二百六十九名、討伐區域外に於て百二十名である、而して討伐に從事した日本軍兵士の延人員一萬一千百人、偵察に用ひた飛行機延數五十三臺にのぼつてゐる、尚日本軍討伐區域といふは奉天西北附近の馬賊と結んで約三千の集團をなし北寧線兩側地域に暴威を振つてゐるので奉天警備司令部から派遣された步兵〇〇〇隊騎兵〇〇〇隊（〇〇〇〇隊不足）に巨流河支部から急派された中隊長の指揮する步騎兵各〇〇〇隊は十三日朝來兩方面から挾擊中である【奉天電話】

新民屯で 敗殘兵暴虐
我軍討伐へ

新民屯の東亞勸業公司農場附近に支那敗殘兵が多數現れ暴虐を行つてゐるとの報に十三日朝飛行機一臺は守備隊と共にこれが討伐に向つた【奉天電話】

方から大旬子、常盤樹一帶である

匪賊團に斃れた 佟氏の葬儀執行
きのふ奉天の盛儀

去る十日夜奉天小南關において匪賊逮捕に向ひ不幸賊團に斃れた自警局第三分局長佟榮觀氏の葬儀は十三日午前十時小南關馬神廟で行はれ三谷憲兵分隊長を始め日支關係者多數參列し式場には本庄軍司令官、土肥原市長等多數より贈られた花輪を飾り極めて盛儀であつた尚地方維持委員會より一千元三谷憲兵分隊長より百圓その他多額の香奠が贈られ遺族は日本當局の好意に感涙に咽んでゐる【奉天電話】

煙花工場爆發
死傷者十三名

【福岡十三日發】八女郡羽犬塚町川煙花工場にて十三日午前九時煙花製造中誤つて引火一大音響と共に爆發全工場三棟倒潰作業中の職工中即死五名重傷六名輕傷二名を出し慘狀目も當てられぬ有樣である

日芝增上寺に虐殺鮮人追悼會を行ふこととなつた

田莊臺の 敗殘兵討伐

【牛莊十三日發】田莊臺附近に駐屯してゐた孫德荃の第十九旅敗殘兵は張學良の派遣した便衣隊並に

鮮人の追悼會

【東京十三日發】滿蒙に移住せる二百萬の鮮人が最近支那官民の壓迫を受け多數虐殺されたに對し大日本相愛會では全國支部に檄を飛ばし代表者を上京せしめ來る十五

馬賊の手から 廿三日目に歸る
余糧堡附近で人質となった 滿鐵社員坪井清氏

滿洲事變發生直後の二十一日通遼の奥地華興公司農場から同社員と共に通遼に引揚げる途中、余糧堡附近に於て馬賊に捕へられ人質として殘つた滿鐵公主嶺農事試驗場員坪井淸氏（三七）の救出については菊竹鄭家屯滿鐵公所長が種々奔走中であつたが二十三日を經過した十三日通遼において完全に菊竹氏の手に戻つた、同人は十三日午後八時鄭家屯に到着の豫定である【四平街電話】

貴院議員一行
大連附近の日程

南支方面視察中の貴族院議員一行十名は十四日天津から入港の天潮丸で來連するが在連中の日程は左の通り決定した
▲十四日午前九時ごろ上陸、旅館星ケ浦ホテルに到り、遊覽道路を經て中央公園忠靈塔に參拜、更に大連神社に參拜、滿鐵本社を訪問、大廣場ヤマトホテル晝食、午後二時出發、滿蒙資源館工業博物館、三泰油房、苦力收容所を視察
▲十五日　旅順往復
▲十六日　西崗子公學堂、露天市場、救療所、中央試驗所、南滿硝子會社、專賣局を視察後晝食（場所未定）午後は埠頭、甘井子粟屋農園を視察
▲十七日　自由行動

冬季體育座談會

南滿洲教育會では十四日午後七時より滿鐵社員俱樂部に於て中等、初等學校體育關係者並びにスポーツ醫學關係者等集合の上「冬季に於ける生徒兒童の體育衛生に就いて」の座談會を開催することになつた

無智な支那人 を惑はす言動

時局を惡化せしむべき流言蜚語に對しては當局において極力嚴戒中であるが、十三日入港大連丸四等船客中青島祭泰旅棧客引包玉亭（二三）は青島より乘船大連に客引のため態々來連し船中、臨檢中の水上署員の居るのに氣附かず「大連には既に支那人は居ない皆避難してしまつた、お前等も上陸すると日本官憲に拘留されるぞ」と無智な四等乘客を惑はして居るので有無をいはせずその場で逮捕目下沖田高等主任係りとなり嚴重取調中である、なほ同樣の流言をなすもの最近頗る多いのにかんがみ連類者ある見込みで何等か重大な意味が含まれた言動としてこれが使嗾者につき調査を進めてゐる

安樂椅子

火災に引續く校舍の崩壞で御纖續きの羽衣女學校々長岡內半藏氏は全くの踏んだり蹴つたり目に祟り目で一般の同情を惹いてゐる。

岡內氏が英學者であることは人も知る通りだが、その昔郷里高松で岡內英學塾を開いてゐた當時の門下生で羅り擡が二人ある三木武吉、片岡弓八の兩君がそれだ、何れも同期で勉强は嫌ひ亂暴はする、全く手におへぬといふので退學を命ぜられたものださうだ。

それがどうであらう、星移り物變つての今日、一は例の東京市疑獄事件に連坐以來兎角振はずとは云へ曾ては東京市會の大御所たり今尚政界一方の謀將として知られて居り、他は旅順海外出世して居る、往年の惡太郎御兩人は今でも岡內先生々々と下へもおかぬとは郷里を同じくする某氏の話。

曙の鐘 (78)

倉田潮　河野想多畫

大都會の暗黑面（八）

春木はお冬の所番地を聞き出さうとしてゐる中に、思ひがけない外の女に聲をかけられたのに驚いて、あはてゝ背後に振り返つた。さ、そこに大山あけみが冷たく笑ひながら佇んでゐた。紺セルの無地の着物にフエルト草履をはいてゐる。

春木はあけみの方に振りかへつたが、心はなほ窓の彼方の女中の答へに集められてゐた。女中がお冬のさとを敎へてくれゝば直に其處へかけつけて行かうと思つてゐるのだつた。が、暫く待たせた後で、女中は突つぱなすやうに答へた。

「今聞いて見ましたが、知つてる人がありませんよ」

「そんな譯はないでせう。少くとも主人の剛太郎さんは知つてる筈です」

と春木はやゝ激したやうに問ひかへした。

「旦那樣は社に出てるんださうです」

洋館に父がゐないらしいので、解りかねると思ひますが……」とあけみは暫くためらつたが「さうれお冬の從妹にあたる木田良子つて人が商事會社に出てゐるから、その人のお宅地を電話で聞いて見てあげてもいゝわ。その木田て人のとこへ行けば、お冬の家も分るでせうから……」

「ああ、あの木田さんが……さうですか」

春木は商事會社にゐた時、その木田良子とは一二度事務上のことで、話しをしたこともあつた。多くの女事務員の中でも仕事にかけてはこの良子が最も早く、封筒なら日に千五百枚を書くと云ふことを聞いたこともある。中年のじみな身なりをした女で、別に學歷なぞはないのだが、本や雜誌を非常に讀んでゐるらしく「女インテリ」と云ふ綽名で社内に通つてゐた。が、その良子がお冬の從妹であるとは、春木は今まで氣がつかなかつた。

「では、春木さん」とあけみは歩

「でも、外にも誰か知つてる人が……ないと云ふ譯はないぢやありませんか」

「ないんです」

「そんな譯はないがな」

一人でムツとして突つかゝるやうに呟いたが、鐵戸が窓におりてゐるので何うすることも出來なかつた。しかも、女中は彼をさけてしまつたのか、その後はどんなに呼びかけても返事がなかつた。

春木は蒼白な顏に唇をかみしめて、窓をにらみつけた。あけみはその姿を見つめてゐたが、する中に次第に先の冷たい表情が消えてつひに引つけられるやうに男の肩に輕く手をかけた。

「春木さん、まだたえ子さんの居どころは解らないの」

「解らないのです。ですからお冬さんのさとへ行つて居る所を訊いて見たいと思ふんです」

と云ひかけたが、急に疑はしげにあけみを見つめた。

「あけみさん、ほんとにたえ子はお冬つて女と共に停留場の方に行つたのですね。ほんとのことなのですね」

「ほんとだわ、私も、誰もあそこにゐた人は憐みたんですもの」

「では、お願ひですが、お冬つて人のさとを方を聞き出して貰へませんか」

「聞き出すにしてもこちらの過り

き出しながら語り續けた「この家の門の前に自働電話がありますから、そこからかけることにしませう。早いから」

春木はあけみに禮を云ひながら心でもあけみの親切に感謝の言葉を繰かへさずにはゐられなかつた。あけみが何んな女であらうと、彼自身にかけてくれる彼女の心の温かさを、しみ／＼と感じないではゐられないのだつた。

新刊紹介

▲水産常識（會田泰著）我が帝國は四面海に圍まれた海の國である、随つて海からされる産物は可なり澤山あつて神代の昔から「海幸」が我が國民の大切な食料品であつた事は史上の事實がよく證明するところである。この水產物がどうして採れるかどういふ風に處理されて我々の家庭に入つて來るかといふ事に對しての知識の普遍化を目的として世に問ふた著書である（價一圓五十錢、東京市神田區通神保町九番地富山房）

大連 JQAK

（十月十四日）

▲午前六時三十分　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲英語講座「テキスト第廿六課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲ギター獨奏「ヒアシンス」ムーデル作「バルコニーの下にて」ウイーランド作「野菊」ブラッタン作「石竹の園」ツルフラム作「ハンガリアン、マズルカ」ドルン作伊藤十五郎
▲長唄「供奴」唄木村清（十二歳）三味線杵屋榮多賀同深野ひな子
▲箏曲「秋の曲」尺八草崎圭山、箏富森大檢校、同竹内初榮
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

（十月十四日午後六時卅分）

▲講演（名古屋より）旅の心理醫學博士杉田直喜▲狂言「犬山伏」シテ島田政志、アト増田光信、小アト茶屋秋山相東、三ノアト犬島田博司▲獨唱と管絃樂「青龍の前の踊」獨唱「アイアイアイ」「ジロメッタ」組曲「ムーア風の狂詩曲」カッサード作獨唱「ジャンニ、スキッキラウレッタの詠唱」プッチニー作「セビリアの理髮師ロジーナの詠唱」ロッシーニ作、獨唱伊藤敦子、東京ラヂオオーケストラ指揮篠原正雄▲連續講談「鰡屋政談伊勢の初旅」第二席神田伯龍

滿日臨時碁戰

二段 泉善治氏
初段 井上太市氏

—【2】—

●四一 リの十七　○四二 ヨの十七
●四三 ワの十七　○四四 ワの十六
●四五 チの十七　○四六 タの十五
●四七 レの十五　○四八 タの十四
●四九 レの十三　○五〇 タの十三
●五一 レの十二　○五二 レの十七
●五三 ソの十七　○五四 レの十四
●五五 ソの十四　○五六 レの十八
●五七 タの十二　○五八 レの五
●五九 ワの三　○六〇 レの八

▲岩本六段講評　白五十は[illegible]の締りを打つ方がよい

滿洲日報 夕刊
十月十三日
發行人 鈴木昇 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

擧國一致の力を以て事變解決に努力
若槻首相、內、外兩相と協議

【東京十三日發】若槻首相は山本、清浦兩伯訪問後十二日午後八時半より幣原、安達兩相を官邸に招致し約一時間半に亘り協議を遂げたが、席上若槻首相は西園寺公に對しては原田男を通じ更に山本、清浦兩伯は自ら訪問して滿洲事變の經過國際聯盟の動きこれ等に處する政府の態度方針等につき所信を述べて諒解を求めた顛末を報告したが山本清浦兩伯は何れも滿洲事變の善後處置並びに滿蒙問題の解決については**政府は强硬なる態度を以てかゝらなければ到底解決困難**なるのみならず、聯盟及び對支方針を誤る如き事あらば國家を危ふきに導くであらうと相當強い意味の注意を與へた模樣で三相はこれ等重臣の意見を中心に種々意見交換の結果政府は重大なる決意と覺悟を以つて日支事件の解決を飽くまで期するといふに決意を定めた、依つて**若槻首相はこの難局を擧國一致の力を以つて乘り切るの必要**から十三日更に犬養政友會總裁、高橋是清氏、山本達雄男、德川貴族院議長等を訪問すべしと述べ兩相の諒解を求めた

日支の開戰は杞憂
出淵大使米政府に説明

【ワシントン十二日發】アメリカ政府は國際聯盟を激勵すると共に滿洲の實狀調査に努力してゐるが出淵大使は無根の逆宣傳がワシントンまで擴がつてゐるに鑑み十二日スチムソン氏及キャスル次官を訪ひ

一、日本は滿洲に對し些かも領土的野心を有するものに非ず
二、滿鐵沿線以外への駐兵は在留日本人の安全保障の見極め附き次第撤退す
三、局地的事變が日支開戰まで擴大すべしとの憂慮は杞憂で日支直接の外交々渉に依り問題は解決すべく戰爭の危險は避け得る

等の諸點を力説し諒解を求めた、會見後出淵大使は語る

日本は絶對に領土的野心は持つてゐない、滿洲乘取の野心など全く根據なき疑惑に過ぎぬ、日支兩國は同文同種の間柄で互に事を構へることを欲しない、問題は直接交渉により解決する

日貨排斥は自由 日本人の居住は安全
支那の對日回答要綱

【南京特電十二日發】中央政治會議は十一日午後四時臨時會議を開き蔣介石氏以下各委員出席、同日午前十一時から午後三時まで特別外交委員會が作り上げた日本に對する回答を十程討議を終へ午後五時散會した、回答は十三日發出されるが其要點は

一、日本軍が今次突如遼寧、吉林の各地を占領したるは國際公法を蔑視し聯盟の規約不戰條約及び九國條約に違反する行動である
二、支那は日支兩國が右條約締盟國たるを以て國際義務上和平的方法を以て紛爭を解決すべく聯盟に提出した、聯盟は依つて日本に撤兵を命令したが日本は之が接受の表示をしない
三、中國政府は事件發生以來未だ何等の敵對行爲も執らず、同時に極力全國人民の憤慨を制止し越氣の行動なからしめた爲め、中國行政權の及ぶ範圍で意外の事故發生せず、支那が聯盟理事會に提出した保障は實に周到に執行されてゐる
四、物品を選擇購入するは個人の自由にして何れの政府も干渉或は禁止する法なし、支那人民が日本品を排斥する心理は萬寶山事件以來の事で日本政府は非友誼的行爲を以て引續き之を激成してゐる
五、支那は極力事態擴大化を防止してゐるに反し、日本は撤兵を實行せざるのみならず、尚侵略を續け甚しきに至つては飛行機を以て遼寧省臨時政府所在地錦州及び其他各地を爆撃し、又多數の軍艦を支那に派遣した、最近十日間の情勢が更に嚴重を加へたのは皆日本側が釀成したものである
六、日本軍不斷の侵略により支那は極めて困難な地位に處してゐるが日本の居留民に對しては極力保護を加へてゐる、惟ふに日本は兵力を以て國策遂行の具に供せんとしてゐるが、之に依つて發生した不幸なる結果は悉く日本においてその責に任ずべきものである

北四川路事件
外交部より抗議

【上海特電十三日發】十一日日曜日の當地居留民大會の流れが北四川路通りの排日ポスターを剝ぎ支那人と衝突した事件につき外交部は日本人が挑戰せるものと爲し日本に抗議を提出すると共に國際聯盟に報告するといつてゐるが、張群市長は十一日秘書を派し此種行動を取締時局擴大を防止されたいと村井總領事に申込んだ

上海排日ポスター（斯くして支那は常觀的に國際友誼を破壞してゐる）

塚本關東長官、軍司令部を訪問

平沼副議長
牧野內府を訪問

【東京十三日發】時局重大に伴ひ重臣の往來頻繁の折柄平沼樞府副議長は今朝十時半高輪の官舍に牧野內府を訪問、時局に對する意見を交換し十一時十分辭去した

若し日本と戰へば充分勝算あり
蔣氏記念週で演説

【南京十二日發】蔣介石氏は本日の國民政府記念週において演説したが、廣東の和平問題から日支問題に移るや大聲叱呼して日本軍の滿洲占據を罵倒し左の如く揚言した

支那は日本と武器を執つて戰ふ事を決して恐れるものではない、支那は四十年前の日清戰爭當時とは根本的に異り如何に日本の軍閥がサーベルを鳴らし大砲を打ち込むとも彼等のため兵力に依つて長服されるものではない、眞に全國の軍隊を動員して**日本と一戰を交ふるとすれば十分なる勝算歴々たるものがある**、我等が今輕率に武器を執らぬのは支那が不戰條約加盟國なるがためである、我等は國際聯盟が誠意を捨てざる限りその決議を尊重服從し、世界萬國の認むる正義公道に基き日本を膺懲しその自滅を待たんのみ、若し聯盟が國際間の平和を維持する能はざるものなる事明白となれば、その時こそ我等は敢然起つて彼等の頭上に銃火を浴びせ外侮を防ぎ彼等を沈默せしむる自信と決意を持つて居る、日本が陸海軍の精鋭を誇ると雖も又その缺點を知悉してゐる、即ち余は日本との開戰を恐れるものにあらず只矛を執るの已むなきに至る迄は隱忍自重して矛を執らず平和を好む我國民の眞面目を世界に知らしめその正しき判斷を待たんとするのみである、國民は政府のこの固き決意を自己の決意として救國のため遺算なきを期せられん事を希望する【寫眞は蔣氏】

蔣氏の演説事實ならば
日本は斷然抗議的警告

【東京特電十三日發】蔣介石氏が十二日の記念週でなした對日宣戰布告の言辭に對し外務當局は左の如く言明した

日本政府は九日附回答でも責任ある中國代表者と直ちに會商を開始し滿洲事變解決に當らんとする用意ある旨明らかにし、目下の急務として双方が協力し國民的感情の緩和を圖るべき事を聲明したる處であつて、日本は支那を相手として戰爭行爲に出でんとするの意思は全然有してゐない、然るに元首として責任ある蔣介石氏が斯る言説を爲す如きは狂氣の沙汰としか信ぜられない、支那が自己の責任を執らず、聯盟其他第三國の干涉調停に縋つて事件の解決を圖らうとする限り、到底問題の解決は期せられない、若し蔣介石氏の言説が事實と判明すれば斷然抗議的警告を發せんとするものである

蔣氏の演説を米政府憂慮

【東京特電十三日發】十二日南京における記念週で蔣介石氏が「若し明日の理事會で滿洲事變が滿足に解決されれば宣戰を布告するだらう」と威嚇した事は米國務省側に非常な衝動を與へ國務省側は極度に憂慮してゐる

支蒙軍對峙

東支東部線ウヌール驛附近における支蒙軍の衝突から支那側は蒙古軍に對して神經を尖らしてゐるが最近蒙古騎兵百二十騎は興安嶺札免公司事務所附近に出現し宜立克都支線に沿ひ二十六露里の地點に到り今尚駐屯してゐるが支那側は興安驛における歩兵大隊、宜立克都驛における一中隊があるが何等の行動に出でず對峙の姿である

第三艦隊にきのふ待機命令下る
吳軍港は俄然緊張す

【東京特電十三日發】南支一帶の形勢惡化以來吳軍港は頗る緊張してゐたが俄然十二日午後第三艦隊に待機命令下り俄に慌しさを增した

けふ聯盟緊急理事會
錦州事件中心に論議せん

【東京特電十三日發】滿洲事變に關する聯盟緊急理事會は愈々十三日正午開會されるが、議長レルー氏が本國の議會を抜けられないので多分佛外相ブリアン氏が之に代る筈、而して聯盟方面では今や理事會で日支兩國代表の執るべき態度に注意が集注されてゐるが、今の處、聯盟規約第十一條を基礎に日本の卽時撤退を要求しつゝ、錦州事件を楯に日本が三十日理事會に對して爲した事件擴大防止の誓約を實行してゐないとの意見を强硬主張するものと觀られてゐる、之に對し芳澤代表は

支那側が滿洲で戰鬪準備を爲し、且つ敗殘兵並に匪賊の跳梁で撤兵を不可能ならしめてゐる事、全支に亘つて反日運動を煽動激化し支那こそ事態の擴大に努めてゐる事

等を主張して支那側の言ひ分を反駁するものと觀られてゐるが之に對し理事會が如何なる態度を執るか注意を惹いてゐる

西園寺公東京へ
時局重大化に鑑み

【東京十三日發】時局の發展重大化に鑑み清浦伯の山本伯、牧野內府訪問、若槻首相の重臣歴訪のこともあり時局頗る緊張せる觀あるが西園寺公は原田男の傳令にて政府の時局に對する對策方針を良く承知し居るもの丶國家重大の秋政治の中心より離れ居るは內外の政情聽取の上にも又元老重臣等の意見を知る上にも不便少からざるため近く京都を離れ入京する模樣である

原田男京都へ急行

【東京十三日發】滿洲事變の多邊的擴大につき若槻首相は原田熊雄男に依賴して目下京都に靜養中の西園寺公に報告することゝなり原田男は今朝九時東京發京都に急行した

若槻首相けさ政友首腦を訪問
時局の經過等を説明

【東京十三日發】昨十二日山本、清浦兩伯を訪問した若槻首相は本日午前八時官邸を出て四谷信濃町の私邸に犬養政友會總裁を訪問約四十五分に亘り重要會談を行ひ九時辭去、それより赤坂表町の高橋是清氏邸を訪ひ同樣會談九時四十五分辭去、官邸に歸つたが、右犬養總裁、高橋是清氏との會見において若槻首相は滿洲事變に關する諸般の報告をなし政府の方針を述べて諒解を求めたもので、政友會の援助その他に就ては何等言及しなかつた模樣である、而して右兩者とも若槻首相の報告を聽取したのみで突き込んだ質問もなさず會見を終つたが若槻首相は今日午後なほ山本男を訪問して同樣報告をなす筈

首相兩伯訪問事情

【東京十三日發】若槻首相は日支事件の重大性に鑑み國論統一の第一歩として十二日山本、清浦兩伯を訪問諒解を求めたが右は牧野內府が時局に對する政府の態度を深く憂慮し首相に對し或種の忠告を爲して來た事實ありその內容において相當重大なる注意を喚起したためであるといはれてゐる

資料を得極めて結構
犬養總裁の談

【東京十三日發】若槻首相と會見後犬養總裁は左の如く語つた

若槻首相が今朝來訪したのは對支問題説明の爲めだつた、話の內容は事件の顛末政府の對支對聯盟策等につき一通りの話があつたが大體新聞に出てゐるやうな事であつた、今後の政府の態度方針につき別に我輩に相談を持ちかけるやうな事は全くなかつた、責任ある首相として夫れは當然の事だ、樞府から要求されたとかいふ外交調査會設置に就ては何等話はなかつた、若槻首相が元老、重臣、野黨首腦部を歴訪する事は議論の善惡は別として事の眞相を明らかにし事實に對し正當な判斷を與へる資料となり極めて結構なことだと思ふ

今後意見を政府に進言
清浦伯の時局談

【東京十三日發】昨日の牧野、山本兩重臣を訪問した清浦伯は十三日大森の自邸で左の如く語つた

昨今國內外の情勢は實に憂慮に堪へぬ老齡の自分も安閑としてゐる事は出來ぬ、對支問題の解決如何は國家の浮沈の輕重を問はれる事にもなるのだから充分の準備と覺悟が必要で擧國一致の精神で事に當られねばならぬ、然るに今回の問題で外務と陸軍との意見が相違してゐるやうに傳へられてゐるが、斯る事は遺憾至極である自分も新たに意見が生れた際はどし〳〵意見を政府に進言する積りである

歐米人は滿蒙を知らぬ
高橋是清氏談

滿洲問題について重臣會議が開かれるかどうか何とも豫定してゐないが、滿洲事變については我國に誠意が有れば必ず目的は貫徹されると思ふ、歐米人は滿蒙に關する智識が足りないので間違つた觀察をなしてゐるが良く眞相について説明すれば間違つた點は訂正されるであらう

貴院視察團

南支方面視察中の貴族院議員一行は十四日天津から入港の天潮丸で來連する、一行の顔ぶれ左の諸氏

大河內輝耕、土岐章、渡邊汀、中村純九郎、青木周三、赤池濃、八田嘉明、山崎龜吉（同行）山本秋廣、光吉信一

人事

▲野中秀次氏（滿鐵沙河口工場長）十三日出帆はるびん丸にて內地へ
▲清水本之助氏（關東廳技師）同上
▲小島文甫氏（同）同上
▲山口十助氏（滿鐵々道部營業課長）十二日夜大連着急行にて奉天より歸連、十三日村上部長羽田次長等に事務狀況の報告をなしたが十三日二十一時三十分發急行にて再び赴奉の筈
▲津村雅量師（本派本願寺支那開教總長）獨立守備隊戰死者本葬執行の爲め十二日夜公主嶺へ

蛇角

蔣介石の威嚇を、米國務省が極度に憂慮して居る、日本の聲明や警告には一度もまだ憂慮しない。

◇

外務大臣諸公ジュネーヴに集る それだけでも支那はエライ國だ。

◇

十月になつてからだけでも、もう四千五百萬圓の正貨現送、まだ一度も米國から日本への正貨現入といふをきかない。

◇

米國の現ナマ横暴を匡正し、日本への正貨還送の方法を軍部に考へて貰ふか。

◇

擧國一致內閣説と滿洲復辟説とは同床異夢、前世紀にはそんなこともありました。

◇

清浦さんの名が出て來た、また時局を流產にするつもりだな。

◇

重臣の往來、政界の緊張、世界の渦は東洋に捲く、今までは前觸これからが我等の眞に覺悟をする秋だ。

聯盟總長ド氏は錦州事件を諒解
芳澤大使の説明で

【東京特電十三日發】十二日パリよりジュネーヴに到着せる芳澤大使は直に聯盟事務總長ドラモンド氏を訪問し錦州事件を説明したが即ち芳澤大使は支那の大軍の間に挾まれてゐる日本軍の立場として其敵狀視察を以て重大なる衝突を避けんとする策に出づることは當然で、決して攻擊を目的としたものではない旨を説き、之に對しドラモンド氏は初めは諒解し兼てゐる樣子であつたが話を續けるに從つて日本側の立場を諒解した模樣であつた

山海關方面へ一個小隊を分遣
天津の我駐屯軍から

【天津特電十二日發】山海關方面の形勢不穩のため北支駐屯軍は十二日朝天津より一個小隊分遣した

紐育事務所當分存續

滿鐵の紐育事務所は經費節減のため本年內に廢止に決定してゐたが滿洲事變發生後滿蒙事情に精確なる知識を有せざる歐米人は兎角支那の逆宣傳に乘ぜられる憾みありこれを是正するためには滿鐵として最も歐米注視として米國の朝野有力者就中各新聞に精確なる事實を提供して誤解を防止する必要あるを以てニューヨーク事務所は滿洲事變の解決まで存續することに決定した

滿鐵地方委員選擧期日

滿鐵沿線の地方委員改選期は事變のために遲延したので十一月實行することゝなり地方事務所々在十四地方では十一月五日、地方事務所派出所々在地は十一月七日或は九日に行ふと、因に今度始めて公費區として指定された蘇家屯にても本年始めに地委六名選擧することゝなつた

東亞の謎（109）
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

沙漠の古城（三）

何か事件が起つたらしい。

この城から數里離れてゐる、沙漠の中を自動車が一臺――大型の自動車が城の方へ、夕日に照されながら駛つてゐた。

その自動車に乘つてゐるのは、松下伯の一行であつた。

即ち伯と洋子と次郎と、南部正雄と通譯として雇つた、トングといふ蒙古人とであつた。

この自動車の他にもう二臺、同じやうな大型の自動車が、駛つてゐなければならないのであつた。

ところが駛つてゐなかつた。

その自動車はこの沙漠で、迷兒になつて了つたのであつた。

さうして率直に云ふ時は、迷兒になつたその自動車を、伯達は發見しやうとして、和林へ行くのを放擲つて、こんな方面に來たのであつた。

伯達は大連を出發し、まづ四平街へ到着し、そこで探險の準備をした。

伯の最初の目算としては、可成り大規模の探險隊を組織し、外蒙古へ押し出す筈であつたが、考へて見れば成吉斯汗の墓場の、眞の有場所が確然と、判明してゐるといふのでは無く、從つて何處を發掘すると、決定してゐるのでは無いのであるから、大規模の探險隊を組織するより、兎も角も目下コミロフ博士が、發掘してゐる和林まで行き、どんな樣子か一應見聞きし、その上で方針を定めやう。

しかしその間に何ういふ事があつて、成吉斯汗の墓の有場所が、發見されないものでもない。そんな時の萬一に處さう。そこで伯達は發掘用の器具や、武器や火藥や食料品や、夜營用のキャンプの類など、ほんの一通り買求め、そんな程度の仕事をした上、再び汽車で滿洲里迄行き、そこで汽車を乘すてゝ、沙漠横斷用の大型自動車を、三臺がところ雇入れ、通譯のトングと倚その他案內人や人夫などを雇ひ、一臺の自動車に器具類を積み、他の一臺に案內人達を乘せ自分達も自動車に乘り、外蒙古の方へ押し出したのであつた。

かうして幾日か沙漠で暮し、明日は和林へ着くであらうといふ今日、先を駛つてゐた二臺の自動車が、どうした譯か道を違へ――和林へ通つてゐる道から外れ、全然別の方へ駛り出した。

伯達一行は驚いたが、距離が隔つてゐるために、どうすることも出來なかつた。

と云つて放擲つては置かれない。

そこで伯達の自動車は、迷兒の自動車の後を追ひ、別の道――と云つても此の方面には、道らしい道などは無いのであつたが――蒙古青年國民黨の、その根據の城廓のある、その方面へ駛らせた。

と、不意に行手の方から、珍しい喇叭の音が聞え、兵士らしい人影が、チラ〳〵見えたので意外に思つた。

間も無く伯達に見えて來たのは嚴めしい廣大な城廓であつた。

城壁を巡らし、木立に鬱綣された「何處だらう？」と伯爵は驚いて云つた。

と、それ迄默々として、一種の氣味惡い苦笑ひを、口邊に浮べてゐた通譯のトングが。

「音直額といふ城廓です。蒙古青年國民黨の、根據地とされてゐるところです。城主は也速該といふお方です。私がわざとご案內して貴郎方を此處へお連れしたのです」かう云つて後は沈默した。

デリツキの故障でマスト折れ死傷
昨夕第二埠頭で荷物を陸揚中 郵船豊橋丸の椿事

七千噸級の船舶のメインマストが根元からポツキリ折れたと云ふ大連港としては珍しい椿事が十二日午後五時五十分大連港第二埠頭十六番バースで起つた、郵船會社所有豊橋丸（七千二十一噸、船長三島宗雄氏）は十二日神戸より入港同バースに横付けと共に積荷の陸揚作業を行つたが、前記時刻前部中央檣元にある三十噸馬力のデリツキにて約二十噸の電氣用金物を陸揚げせんと吊揚げて右廻りして岸壁に卸さんとする刹那突然リーデングライン切斷しその反動にて吊上の貨物は約十間も投げ出され右デリツキは岸壁と本船の中間にくの字なりになりはづみを喰つて前檣は根元より約一間位のところよりボツキリ切斷し慘澹たる有樣を呈し作業中の山東省萊州府生れ市内東山町福昌苦力馬一田（三〇）はマストの下となり即死、同じく附近にて作業中の同船水夫長鳥取縣生れ奥谷善六（三九）同じく苦力陳吉全（四〇）は何れも重傷を負ひ夫々最寄病院にかつぎ込まれた、椿事と共に檢察局よりは高井檢察官、水上署より西辻司法主任以下驅け附け直に檢證を行つたがまづ最大原因と認めらるるものはリーデングライン滑車の取附けある鋲が不朽全か鐵械の不腐によるものらしく損害は約一萬圓程度の見込である【寫眞は折れたマスト】

妙な音がして慘事を惹起
埠頭荷役係の目擊談

慘事の刹那を目擊した埠頭荷役係の語るところによると

デリツキがギイギイと妙な音を立て、ロープがピーンと張られたと思つた瞬間、大きな何物かドカンと岩壁に投げ出されてデリツキはピンとひん曲り乍ら右廻してマストが轟然と船と並行してのしかゝつたものでその時重傷した奥谷水夫長はブリツヂを下りようとしてゐたもので、即死した馬一田はマストの下敷にされ慘澹たる死方をしましたとにかくこんな事件は珍らしく私の知つてゐる範圍では一度外國船のマストが折れたのとこれで二回目の樣な氣がします

海務局長檢證

右事件出來と共に監督官廳たる海務局では船會社側よりの檢査申請があつたので岡本海務局長は十三日午前十時半本船に出張、詳細に調査しその原因につき取調べるところあつた、なほ修理に關して指示をなす筈であるが郵船會社當局ではもし材料があれば大連ドック工場において修理をなすと

原因を究め處置する
江原港務課長談

右事件と共に直に實地檢分に本船に出掛けた江原港務課長は語る

原因はどこにあるか解らないがまづ自分の考へとしてはオーバーロードか或はデリツキ作業技術の不熟練か今一つは鐵鋲の腐損によるものかの三つに基因すると思ふ、こんな事件は珍らしくマストが上部の木材部のところから折れると云ふ話はよく聞くところだが、根元の鐵材のところから折れるなんて實に珍らしい事件である、何れ岡本局長も歸られ當方からも專門の技術者が行つて徹底的に調査するが苦力の作業不熟練とかオーバーロードとなるとまあ本船側ではそう全責任を負はなくて濟むが鋲の腐蝕となると問題はむつかしい、とにかくこの椿事は仲々難しい問題だ

中川海運長談

滿鐵側よりは中川海運長直に現場にいたり十三日朝來詳しく原因調査中であつたがその原因等に關しては

どうもハツキリ自分の口からは云へない立場にある、いづれ海務局の人達に立會つてもらつた上その原因が判然とすると思ふ損害額についてもよく判らない

可愛い應援團で一杯

絕好の運動日和に勇躍し好記錄出る
けふ大連運動場で開催された小學校聯合競技會

大連教育會主催の大連小學校聯合競技會は十三日午前九時より大連運動場に於て開催、定刻伏見臺、朝日、日本橋、常盤、大廣場、春日、松林、南山麓、沙河口、大正嶺前、聖德、周水子、下藤の順序に參加小選手千六百十四名の入場式を行ひ中央役員席前に整列スタンドを埋める約一萬の應援の小學生脫帽起立の上君ケ代を合唱して中央ポールに國旗を掲揚し宮島會長の開會の挨拶後直に尋六男二百米より競技を開始したが、絕好の運動日和に小選手勇躍、尋六男百米に於ける聖德久保田の十三秒五の好記錄を始め各組とも好成績を擧げスタンドを埋める應援團各校毎に萬雷の如き拍手を送る午前中の戰績左の如し

尋六男二百米 ▲1高橋邦雄（南）二九秒二 2永野義行（正）3大野一（日）▲1島田俊（伏）二八秒八 2宮澤寛（沙）3宮田收人（聖）▲1宮本秀德（聖）二九秒六 2淺井一（廣）3林俊夫（日）▲1北原勉（南）二九秒八 2吉井清幸（朝）3稻垣馨（正）▲1山口幸男（伏）二九秒八 2中村靜見（南）3森岡儀（正）▲1松尾要（沙）三一秒五 2市川末雄（日）3和田和夫（廣）

尋五男二百米 ▲1内田正郎（朝）三〇秒七 2鈴木義男 3入江善衛（聖）▲1村木實（常）三一秒七 2武田信一（下）3辻健一（春）▲1吉野五郎（廣）三一秒五 2宮土公宏（春）3澤武（常）▲1武井光（聖）三一秒六 2劉榮武（嶺）3山崎辰英 ▲1安永晟彦（南）三一秒八 2石橋秀介（朝）3坂井尚武（伏）▲1笹川俊雄三二秒二 2佐藤健次郎（日）3島田賜郷（廣）

尋六女百米 ▲1加藤佐知子（嶺）一四秒七 2日野房江（常）3駒田八重子（松）▲1原マツ（日）一四秒八 2岡野絹子（朝）3紡宮京子（伏）▲1三田茂子（廣）一五秒一 2大森美佐子（春）3大竹時子 ▲1熊谷利子（正）一四秒八 2吉田潔子（朝）3三原安子（聖）▲1山田加代（日）十五秒二 2山元和子（正）3松村良子（朝）▲1宮前滿子（春）一五秒 2竹原富子（常）3小森澄子（周）

尋五女百米 ▲1大西壽美子（嶺）一五秒五 2小宮信子（日）3早川壽美子（常）▲1岩崎靜江（朝）一五秒一 2四尾道子（廣）3日高津攀子（下）▲1百東梅（伏）一五秒五 2中川義子（嶺）3竹内泰子 ▲1岡田チエ子（南）一五秒二 2松田光子（正）3佐藤和（沙）▲1江上千鶴子（朝）一五秒 2岸ミツエ（伏）3金連順（南）▲1平田サナエ（嶺）一六秒 2水橋房子（松）3齋藤茂子（聖）

尋六男百米 ▲1一色忠彦（聖）一四秒二 2村田泰次郎（日）3杉江一雄（春）▲1松本恒三（南）一四秒二 2宮堀正久（嶺）3山崎守 ▲1伊藤實（南）一四秒 2柿田吉郎（正）3藤見和夫（春）▲1尚名計三（聖）一四秒 2木下實（伏）3田崎忠彦（朝）▲1久保田正登（聖）一三秒五 2村井安次（朝）3古谷哲郎（春）▲1宮武實（南）一四秒三 2黑木稜夫（正）3富永岩吉（嶺）

尋五男百米 ▲1岩永俊保（下）一四秒七 2山内實（南）3神之村正（日）▲1曾根滿次郎（聖）一四秒一 2小谷綺（朝）3天滿昌美 ▲1吉川秀男（松）一五秒二 2内田浩（嶺）3菅野淳吉（朝）▲1曾根芳雄（春）一四秒八 2宮田武都（南）3皆川謙一（聖）▲1齋藤良夫（嶺）一五秒二 2岩本榮（日）3伊藤博史 ▲1平田堪一（正）一五秒一 2長沼正三 3柳澤義男（朝）

尋四男百米 ▲1小野寺昌（沙）一四秒九 2山口秋男（正）3増田□（朝）▲1藤本義一（伏）一五秒三 2野村勇（日）3井手確（下）▲1菅原光男（正）一五秒三 2武出英二郎（嶺）3小田豪澄（廣）▲1賀門田（常）一五秒六 2金田榮一（朝）3淵江喜久雄（伏）▲1藤井敏夫（正）一四秒九 2中村虎夫（伏）▲崎本利夫（沙）▲1辻正一（南）一五秒四 2笹岡正（嶺）

尋四女百米 ▲1松尾アヤ子（嶺）一六秒五 2中村貞子（南）3廣光タマエ（日）▲1多田常子（伏）一六秒 2吉野富美子（廣）3佐々木滿壽子（常）▲1市川時子（南）一六秒 2山本房子（聖）3島田美佐子（春）▲1市川敏子（日）一六秒 2松本美喜子（伏）3佐藤美也子（嶺）▲1田中壽枝子（常）一七秒 2村田ツル（伏）3園田澄（嶺）▲1田代喜美代（沙）一六秒四 2加藤はつ江（日）3初田信子（正）

尋六女走巾跳 ▲1秋山温子（松）三米八五 2小田秀子（伏）3青木玉枝 ▲1宮本美智子（朝）三米五五 2佐藤淑子（正）3三上美子 ▲1稻垣滿壽子（松）三米六三 2濱□登美子（日）▲1山崎壽美子（伏）三米四一 2有田喜久（沙）3三隅千枝子（嶺）

尋六男走巾跳 ▲1田中迪奈（嶺）四米三〇 2中野清一（正）3八丁敏臣（日）▲1吉本末吉（南）三米九八 2西川鐵三（伏）3小林廣四（廣）▲1藤原敬吾（嶺）四米二五 2百田實（正）3高木一夫（常）▲1久保一郎（朝）2伊地知李□（廣）3小川光雄（聖）

沙河口電話の呼出し注意
頭數字○番が出來る

最近沙河口方面の發展著るしくこれがため沙河口電話分局の加入者は中央局から移轉する者と共に新規加入の増加を來し現在分局の自働交換機設備では全く收容の餘地がなくなつたので遞信局では工費四萬餘圓を投じ新交換機の増設工事を急いでゐたが右工事もいよいよ近日中に完成を見る事になつたのでこの新交換機の電話番號は頭數字に○を冠し○一○○番から始まる事にした、今後沙河口分局の加入者電話番號は頭數字に九を有するものと○を有するものとの二樣の番號が出來た譯で今回新規に生れた頭數字の○も番號の一數字であるから忘れない樣に憶さればならぬ、これがため番號の記憶ならびに稱へ方もマル百二十三番とかレイ二百四十五番とか云はないで例へば○一○○はレイ、イチ、レイ、レイ番、○一二三番はレイ、イチ、フタ、サンと云ふ樣に憶へしまた呼ぶ事になるのである

チ、ハル婦女子全部引揚げ
けさハルビンに到着

【ハルビン十三日發】齊々哈爾方面形勢いよく逼迫したので清水領事の家族外館員の家族二十五名は十三日朝七時四十五分着列車で引揚げて來た、これで齊々哈爾方面邦人婦女子は一名殘らず引揚げたが、奥地邦人の大々的引揚は日露戰爭以來のことであると云はれてゐる、鮮人も續々引揚げつゝあり他方ハルビン日本小學校生徒にして他に轉校する者増加の傾向にある

武穴の在留邦人全部引揚げ

【漢口十二日發】武穴の反日猛烈なるため在留邦人は全部引揚げに決したと

漸く財源を捻出し電燈の料金値下げ
來春二月から約一割

既報の如く今春來計畫中であつた滿電の大連電燈料金値下は還般入江新專務を迎へて又更に値下げ財源を調査中であつたが、この程調査終り又内地各都市電燈料金の比較調査の結果愈々電燈課の手によつて値下げ案が出來上つたので去る八日重役の手許に提出され數日中に重役會議において決定を見れば一應滿鐵へ提出した上近日中に遞信局の手を經て關東廳へ認可申請さる手筈である、電燈課の手によつてつくられた値下げ案の内容は大體一率に一割程度の値下げで定額、定量電燈共値下げされ、値下げ財源としては過般の社員減俸人員整理の結果浮び上つた人件費ほか經費節約費約三十五萬圓を計上されてある、なほ値下實施は現在電燈料改正期の來年二月より行はれる筈であるが、電力料金は既に値下を行はれたものであるから今回は改正されない

崩壞の原因を現場で鑑定
綜合鑑定意見により事件の成行注目さる

羽衣高女校舍崩壞事件につき地方法院檢察局では、これが原因を究明するため鑑定人として關東廳技師臼井健三氏、南滿工專教授岡大路氏、滿鐵理學研究所土木係主任宮島忠雄氏等を選定、詳密なる鑑定を行はることになり、池内檢察官は長瀨書記帶同十三日正午より現場に赴き、鑑定人全部を現場に召致し崩壞現場に於て實地鑑定をなさしめた上崩壞原因につき鑑定人の綜合鑑定意見を徴するところあつたが、その鑑定人の綜合意見は事件の成行に直接的重大影響あり注目されてゐる

更に壓死者三名發掘
死亡數十九名

羽衣女學校の崩壞現場に於ける死體發掘、復舊作業は連日徹宵にて續けられてゐたが、十三日早朝更に壓死者三名を發掘、これにて十二日迄の發掘壓死者並に病院にて死亡した二名を加へ死者十九名となつた

大檢の花代どこまで値下か
約束十一本明し花二十本で 役員會で一先づ妥協

大連三業組合の花代値下問題は料理屋待合側と藝妓置屋側とに利害の衝突を來し、數回會合を試みたが妥協點を見出すに至らず、値下派の待合側は置屋側に一日の考慮を與へた結果十二日午後一時から役員會を開催、最後の妥協案を決定すべく協議したが、待合側の約束花（一時間短縮して）三圓廿錢より八圓の値下主張に對し置屋側は約束花三圓六十錢、明花午前一時まで十圓、午前一時より八圓を固持して譲らず依然議論沸騰して容易に纏まらず、遂に待合料理屋側は幾分讓歩し左の如く多數決をもつて決定、來る十六日午後一時から開催の臨時總會に提案することゝなつた

▲約束花午後六時から八時半まで十一本を四圓四十錢（八十錢値下）

▲明し花八圓（二圓値下）

しかして役員外の會員にも相當積極的意見を持つてゐるものもあり總會に於ては提案以下の値下まで漕ぎつけるものではないかと注目されてゐる

五郎蝶活劇を演じ訴へらる
賴母子講から口論して暴行

喜劇俳優曾我廼家五郎蝶こと西田彌吉（四）が喜劇ならぬ活劇を演じて十三日傷害罪で大連署に訴へられ、告訴人市内近江町十七番地高餅傳次郎（五）の言分によると五郎蝶とは昨年夏頃から賴母子講のことから知合となり、其後妻子を内地から呼び寄せたりして何くれとなく世話をしてゐたが、去る八日午後七時三十分ごろ五郎蝶の自宅で賴母子講のことから口論となり五郎蝶は「お前のやうな奴は殺してやる」と湯呑茶碗を告訴人の頭部に投げつけ全治十日間の裂傷を負せたといふにあり、吉富警部補は五郎蝶に就いて取調中

鬼が出た!!

探偵小說界の巨匠、江戸川亂歩氏の大傑作「鬼」がキング十一月號に發表、ヤンヤの大喝采。

喫茶店の壁が墜落
浪速町騒ぐ

十二日午後一時頃浪速町三丁目に最近出來たうさぎ喫茶店の入口天井の疊一枚位大きさの壁がガラガラと素晴らしい音をたて、落ちて來た、前日の十一日に羽衣女學校崩壞の悲慘事があり未だ死體發掘中といふ生々しい時だけに附近の者は驚いて「それまた倒壞だツ」と早合點した彌次馬が驅つけ大騷ぎ、幸ひ下に人がゐなかつたので怪我人はなかつた

同家屋は加賀美建築事務所の手で一ケ月位前に改築したもので生新しい天井のモルタルが不完全だつたと見え剝落したらしい

列車組立の改正實施
能率を增進

滿鐵々道部にては作業能率增進の見地から十三日附社報を以て列車組立の改正を發表し、來る十五日より實施の豫定である、改正の主要な點は組立驛より經線を除外し大連埠頭、大石橋、蘇家屯、四平街、長春の五驛としたことゝ車輛連結順序に就いて從來の驛別主義を廢し地帶主義とした點である

即ち從來の貨物列車の連結順序は各組立驛にてそれぞれ到着驛順序に編成をしてゐたため連結替に多大の手數を要したが、今回は連結區域を大連大石橋間、大石橋蘇家屯間、蘇家屯四平街間、四平街長春間の四地帶に分ち連結順序を地帶別に行つて各組立驛は自己受持の地帶についてのみ到着驛順序に貨物の連絡を行ひ他の地帶行の貨車はそのまゝとしこれに要する手數を省くこととなつたもので、これにより大連、長春間に於て列車の連絡のために要してゐた從來の時間を約一時間短縮し得る見込である

軍事秘密書紛失す
野砲八聯隊で

【東京特電十三日發】弘前第八師團管下野砲第八聯隊所管の動員計畫に關する軍事秘密書が紛失し外部の者の手に入つた形跡あり全國に亘り犯人嚴探行方搜査中なるも時節柄重大視されてゐる

旅順戰蹟リレー參加チーム決る
都市對抗は撫順大連旅順

關東廳體育研究所主催の第七回旅順戰蹟リレー大會は來る十七日午後二時三十分旅順運動場を起點として擧行するが、既報の如く本年度からは都市對抗戰を加へたので一層興味をひき十日申込を締切つた結果、參加チームは左の如く決定した

▲第一部（全滿都市對抗）▲撫順代表（佐藤勇、西川乙市、鄭仁秀、立石忠行、川崎秀雄）▲大連代表（濱田常盛、永谷壽一、大藪寛一、八重樫榮太郎、金光秀三、渡邊逸、志水政市）▲旅順代表（河野萬治、柳澤忠次郎、岡澤亘、上倉ホ一、上倉仲一、眞砂勝喜、長谷青吉）

▲第二部（一般對抗）▲大連アスレチック倶樂部▲大連土木課出張所▲滿鐵鐵道部綠友クラブ▲旅順刑務所▲關東廳A組▲關東廳B組

▲第三部（中等學校對抗）▲大連第一中學校▲大連第二中學校▲大連商業學校▲旅順第一中學校A組▲旅順第一中學校B組▲旅順第二中學校A組▲旅順第二中學校B組▲旅順師範學堂A組▲旅順師範學堂B組

楊草仙翁來る

十三日入港大連丸にて九十三歳の老齢の書家楊草仙翁が來連したが十五日より三日間中日文化協會において草書展覽會を開く

青聯代表歡迎會

青年聯盟の第二回内地派遣員一行は既報の如く十四日うらる丸にて歸連するので同日午後四時よりヤマトホテルにおいて歡迎慰勞會を開催し大にその勞を犒ふことになつた

大連神社の月次祭

來る十五日大連神社の月次祭には氏子代參當番町謙前中區の氏子役員參列の上當日午前十時より月次祭典を執行する

うらる丸

十四日午前八時半大連港外着豫定

煖房座談會

滿洲技術協會煖房相談所では十三日午後四時半より市内滿洲土木建築協會廣間に於て同相談所役員を中心とし煖房に關する座談會を開催する

本社參觀

十三日午前中伏見臺公學堂初等科四年男生徒二十二名、篠田豐作氏引率見學

天氣豫報

西の風（晴）（十四日）

各地溫度

	十三日午前十一時	十二日最高
大連	一九、三	一八、七
旅順	一八、六	一九、九
營口	一八、六	一八、七
奉天	一七、一	一九、四
長春	一五、七	一九、七

滿潮（午前 十一時四十五分）（午後 —）

干潮（午前 五時五十分）（午後 五時四十五分）

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二三三七圓七十錢

暗流阿修羅館 (214)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

月夜の夢 (六)

新左衛門は約束通り、一人の女を連れて、その翌日の夕方、奉行を役宅に訪れた。

「どうして……?」

奉行は、びつくりした。

あゝは云ふものゝ、まさか、神通力があるわけではない。と思つてゐた。

(それとも、やはり、あの忍術つかひの曲者か知ら)

まさか。

だんだん、新左衛門といふ人物が、はつきりしてくるやうに思へるが、それでゐて、流石の奉行にも、なかなか摑めなかつた。

「どのやうにして連れ出したかについては、どうぞ、何事もお聞きにならぬやうに……ただ、このお蓮殿に、要點だけお聞き下さるやうに」

(だが、普通の人には出來ないことだ、そこに不思議さがある)

さ、奉行は默つてまじまじと、新左衛門の顔を見た。

其所に連れて來られた女はつゝましく、袂を膝の上にかさねて、俯向いてゐた。

やはり、席に與力由比がゐた。

由比は、奉行よりはもつと、新左衛門について疑問をもつてゐた。そして、新左衛門の連れて來た女を見た時

(はてな、何處かで見たやうだが)

すぐさう思つた。しきりに、そのことについて考へた。思ひ出さうとした。

つい、其處まで思ひ出されてゐて、思ひ出されなかつた。

「お蓮殿、と云はれたな」

奉行は、女に訊きはじめた。

「はい」

女は、一度顔をあげたが、またすぐ俯向いた。

「他のことでもないが、あなたは丸八の蚊遣香で一時中毒され、危篤になられたことがありますかな」

女は麗る怜悧な顔をして、この時だけ、ちらと涼しい眸を奉行の方に見せた。

「それは、何のことでせうか」

「いや、中毒されなければそれでよい」

奉行は、紙をのべて、訊きながら、いろいろと書き込んだ。

「あなた以外の方、だれか、あの線香に中られた方がありますか」

「いゝえ、そのやうなことはちつともありません」

「それについて、田沼殿は何も云はれたことはありませんか」

「あ、さういへば、三日ほど病氣の態にして寢てゐてくれ、重病のやうに。と云つて寢かせられたことがあります。私は、殿のことゆゑ、別にさからはずに、その通りにして居りました」

奉行は何かしきりに書き込んでゐた。

先程から默つて、代り番に二人の顔を見てゐた由比が

(あ、わかつた)

と、胸の中で云つた。

(この女は、あれに相違ない。田沼の姿とは眞赤な偽りだ)

もとく新左衛門を怪しくおもつてゐる由比のこと

(こいつ、眉唾ものだわい)

と思つてくると、彼は、もうじつとしてゐられなかつた。

彼の思ひ出したのは、行方不明になつてゐる角海老の九重であつた。

姿こそ上品に、つゝましやかに出來てゐるが、その顔はまがふ方ない。

(あの女)

である。

キネマと演藝

時代劇掏摸の家

◇長谷川伸氏の原作、芝居では度々上演され好評を博して來たものだけに、筋だけで觀客をアッピールするだけの要素を多分に有してゐる、物語りは終始人情味で押してゐる、初めは掏摸の庄吉が弟の金次に對するもの、中程では庄吉が金を掏摸とつた濱人河邊に對して、最後は岡引隼銀兵衛が庄吉に對して……皆情のやり取りで組み立てられてゐる。仲間の伴次との爭ひ等は添へ物だ。

◇監督は白井戰太郎「松葉かんざし」に次ぐ作品だ。決して惡い監督ぶりではないが、と云つて格別新らしい處も無い、むしろストリーに引きづられて、主演者に引きづられて、出來た作品といふ感じの方が深い、ことに配役に不注意なのがひどく目につく、庄吉の弟金次に扮する山口勝久等、どうして濱人河邊に扮する市川右門、もう一考しなければならぬ役所だ、松井潤の撮影は惡くない。

◇市川右太衛門の掏摸の庄吉は適役、いかにも義侠に富んだ江戸ッ子らしい氣分がよく出てゐる、大江美智子の女房お紋、右太プロではこの人以外にこの役を持つて行く處が無からう、高堂國典の岡引隼銀兵衛は右太衛門の庄吉に對していゝ取り合せだ、高堂の演技の老巧は右太衛門の芝居を非常に樂にしてゐる、武井龍三の伴次、梅田菊藏の講釋師等先づ無難、面白く見られ、又相當泣かされもする映畫だ【寶館上映中】

愈よ今明日限り
大日活の嗚呼中村大尉

去る八日封切以來連日盛況續きの大日活に於ける本社主催の「嗚呼中村大尉」映畫會は愈々白熱的好評裡に今明日の十三、四日の二日間限りとなつたから、この機を逸せず滿洲事變を映畫化した愛國軍事映畫を本紙刷込讀者優待券を利用して觀覽されたい、なほ同映畫は引續き旅順をはじめ沿線主要都市にて上映される筈で目下長館主が打合せのため出張中である

話の卵

岳諷會
第八十五回素謠例會を十三日夜滿電俱樂部で開催、番組は右近、八島、東北、菊慈童、殺生石、松風

帝國館はシンプレックスだとの評判だつたが本社が耐光スクーンを依頼したザイスの話になると▲今春の映畫展に出品したエルネマン映寫機の新品が近く入荷するのでこれを入れるとのこと▲電氣工事を請合つてゐる是恒商店に聞き合はして見るとエルネマンの二號機に決つたとのこと▲値段は二臺で四千圓で內地では五千八百圓位に松竹なぞが取扱つてゐる▲滿洲ではハルビンがエルネマン全盛で、上海も相當エネルマンが巾を利かしてゐる▲滿鐵弘報係撮影の滿洲事變映畫會は都合で來る十九日協和會館と變更されたが▲これがため豫定の學生デーにも滿洲事變映畫上映が出來ずプログラムの一部が變更されることになつた

ペーブメント

カフエーマンの調査によると連鎖街の大小カフエーのうち、矢張りはやつてゐるのはワカナだとのこと、それに次いでミス・ダイレンが開業當時より抑つて近頃の方が成績をあげて來た、このワカナとミス・ダイレンの對立はホールの設備、女給のサービスその他の點から對照して一寸面白い、女給ーマンの好みを示してゐる、ワカナの番の數字をあげると、ワカナが五回、ミス・ダイレンが四回半から五回(二階)で階下は六回位に

夜目遠目

大檢は花代値下げでごたく、秋風と共に所帶苦勞も身に沁みる自前の連中、待合側の意見通りになつたら藝妓の乾物が出來ると大フンガイ。

そうかと思へば枕金なんて全廢したいといふ聲に元氣なところが美濃町は遊廓でないとキツイ反對

そこへどつかの置屋はうちの抱妓は枕金なしに言ふことをきかしますとふれて廻つたとか流言蜚語が飛ぶ。

どつちがどうなのか賑やかなことであるが、結局は猪一枚で待合で一夜が明かされることになれしいといふので喜んだのは猛者連で、またカフエーから待合へ歸らうかと形勢を觀望中。

本社特選 新棋戰 (其六)

平手先 六段 △飯塚勘一郎
六段 ▲小泉兼吉

【圖は六二と迄の局面】
▲小泉氏(持駒)銀銀香歩歩
△飯塚氏(持駒)銀桂香歩歩

▲八六歩　△二三歩
▲四四角　△二二銀
▲同銀　△同歩
▲同角　△二一龍
▲三一銀　△四五桂

【土居八段講評】▲小泉君の八六歩打の攻撃準備は手緩い。目下自玉も危險狀態であるが故、グズグズして居られないから六七香と打込み、直接攻撃を執る處である△其時飯塚君の二三歩打以下の攻め方は巧である。

【萩原六段解說】小泉氏の八八歩は若し同歩なら八七歩、同金、七八銀、同玉、五九龍と迫る含みである。その時飯塚氏二三歩と攻めたのは好手で、同金なら三五桂打にてよく、故に小泉氏四四角も已むを得ない、然して二二銀と打込み、同銀、同歩成、同角となつて、二一龍と先手に逼られ、四五桂と玉の退路を防がれては小泉氏苦戰となつた。

わが歳末金融界の難關切り抜け對策
井上藏相の言明する

【東京特電十三日發】過般の日銀利上げにより事業界の金利負擔額増加ポンド爲替低落に基く、爲金融の逼迫は歳末を控へ我產業界、金融界には幾多の難關が横たはるのでその善後處置については政府日銀當局においては秘に考慮してゐるが、井上藏相は次の如き金融對策を持して歳末金融界の平穩を期する旨を言明した

一、事業會社に對する貸付金取立猶豫せしめるべく一般銀行の諒解を求め、若しそのために銀行が資金難に陷つた場合には正銀は從來の買出方針を緩和して積極的に資金の融通を行ふ事

一、事業會社資金難に對しては興銀を通じて預金部資金融通の途を講ずる事

一、來る十一月十四日期限の大藏證券五千萬圓は現金を償還し一般市場を潤す事

一、減債基金使用殘り約七千萬圓をもつて公債を買入れ市價の低落を防止するとともに金融市場を緩和する事

一、地方銀行資金難を緩和するため不動產抵當權を質とする貸付を積極的に勸銀に實行せしめること

租税の奉票受入は滿洲民衆の苦痛を救ふ
奉票整理は財政的方面からが適當
首藤滿鐵理事歸連談

既報の如く奉天地方維持委員會委員長袁金鎧氏を委員長とし、委員として丁鑑修、李友蘭氏等の地方維持委員を初め官銀號、邊業、中國、交通、商業、林業等各支那側銀行代表、瀋陽市政商會委員並に正金、鮮銀等の日本側金融機關をも加へて成立せる金融研究委員會は十日奉天ヤマトホテルにおいて

休業中

の東三省官銀號及び邊業銀行の善後處置に關し地方維持委員會の諮問に應じて協議した結果、新政權成立までの過渡期間中地方維持委員會は東三省官銀號管理辦法を制定してこれに則り官銀號の從來の機能を尊重し一般金融の疏通をはかる一面において適當なる管理者を委囑して同銀號の業務執行及利益の擁護に當らしめることに決定し、さしも難問題視された兩銀行の開店も愈々來る十五日より事變前に還つて殆ど從前と顏觸れ變らざる兩銀行幹部の手により業務を開始するの運びとなつたが、東北金融界善後處置の最高アドバイサーとして

先般來

奉天にありて如上の地方維持委員會の時局收拾策に參畫し助言をなしつゝあつた首藤滿鐵理事は十三日朝着歸任した而して今後における東北地方の財政並に通貨價値の安定に關する具體案等について大要左の如く自己の意見を述べた

兩銀行の開店問題は漸く目鼻がつくこととなつたが、一面財政が一日も速かに舊來の機能を復活することは地方維持委員會の財政の安定を圖ると共に官銀號の業務上乃至奉天票の價格維持のためにも

最緊要

のことなので自分はこの點地方維持委員會に勸告して來た、元來奉天票は非常に濫發されて來た通貨であるため動もすれば相場の下落を免れないものであるが一方に於ては奉天省内の農民階級は勿論一般大衆に廣く所有されて居り、貸借關係もまたこれによるものが多數を占める實狀にあるのでその價格の維持といふことは是非共實行されればならぬのである

即ち治安維持上の財政を安定さすためにも租稅の徵收を現大洋に限らず從前の如く六十元に對し現洋一弗の換算率で

財政廳

に納附され得るやう稅制の改革をやらなければならぬ、勿論これのみ直に奉票の價格維持上實効を期することは困難であるから場合によつては官銀號では爲替兌換の方法で市價の維持調節をやらればならぬかも知れぬ、斯くの如くして回收された奉票は官銀號より財政廳の方に讓渡して財政廳の負擔において還收した奉票を償却して行くといふことが必要となら う、即ち奉票の整理は補助貨の如き形において財政的方面から整理するのが最も適當な方法であると思ふ

租稅を

奉票でも受入れられるといふことは最も公平な、滿洲全體の民衆の痛苦を救ふ所以である、尚ほその結果財政が困難になりはしないかとの惧れもあるが、奉票の低落しない程度に歲出に奉票を支出することにする、一面從來の東北省の財政の尨大な部分（歲出の八割）を占めてゐた兵備の如きも今後は邊防、治安維持上必要なもの位に止まるので財政は豐かとなる筈で、餘力を公共的事業にまで進めて行くことも左程困難ではないと信じ、自分は衷心よりその實現に微力を致したいと考へてゐる

柑橘の委託販賣權
脫退卸賣人組が獲得か
吉益匡賢氏らの行動注目さる

一昨日來連した日本柑橘中華民國輸出組合理事長吉益匡賢氏一行三名は紀州柑橘聯合會初め全日本の業者によりて組織された前記組合を代表して滿洲における委託販賣方法を決定するものであり、從つて卸賣人十三名が脫退し更生かの崩壞かの岐路に立つてゐる市設中央卸市場の死活の鍵を握るものとして、その行動は非常の注目を集めてゐるが未だ殆ど窺知し難い狀況にある、然し各方面の情報を綜合すれば大體において脫退組を中心とする

團體に

委託販賣權を與ふることに略内定したるもの、如くで、十三日午後吉富埠頭事務所長を訪れるのも數地の貸付方を懇談するものといはれる、而してこれよりさき三井、三菱、福昌公司の三者においてもそれ〴〵奥地行き柑橘類において大部分を占むる買付商内はそれ自體危險伴ひ易く且一般に得意先となつてゐる現市場仲買人たる支那人との競爭立場に立つので手を染めず專ら市内販賣につき輸出組合との間に相當交涉行はれたる事實あるも、これら三者が並行して販賣權を握ることは實現困難と見られてゐた事情あり、ともかく輸出組合としては市場以外のものに販賣委託することは

内定し

たるもその然し對手方は未だ最後の決定をみてゐない模樣である、かくて柑橘類販賣の被委託者が愈々場外に決定したる場合には殘留組は取扱へないので結局脫退相次ぎ市場を解消せしむるに至るものとみられ、既に脫退組の殘留組切崩し運動が猛烈に行はれ、殘留組中二人の脫業届提出を見た

滿洲幣制
日支衝突事變で今後どうなる？（下）
◇―幣制改革の重心は何處

支那では銀が通貨の基調を成して居る滿洲に於ても支那側の通貨の種類は區分多岐にわかれて居るが結局その基礎は矢張り銀本位（官帖や鮮元票は銅貨本位）にあるのである。だが邦人側の通貨は金銀並び行はれその間に統制を缺いでゐる。それは爲政者に定見がなかつた結果ともいひ得るであらう、滿洲が日本の法治下に治まつた當時は特殊金融機關を設立する代りに正金銀行をしてその任務に當らしめることゝし同行發行の鈔票に强制通用力を認めて銀本位制を布いたが、明治四十年の銀價崩落以來銀を危險視して金本位を併用し、日本銀行券を用ひ、正金銀行に金勘定の預金及び爲替を取扱はしめた、然るに滿鐵の經營が進捗するに伴れて金資金の必要が增加し一方鈔票發行によつて滿洲通貨の統制を圖らんとした正金銀行の趣業も期待に反して思はしくなかつたので大正二年七月正金銀行に對し在來の鈔票の外向ふ五個年を限つて新に金兌換券發行權を與へるといふ勅令が發布され銀券（鈔票）の强制通用力を剝奪して金券に無制限通用力を附與することになつた。その後大正六年に所謂金券統一主義が實施されてから、金券の發行は朝鮮銀行の手に歸し、正金銀行には强制通用のない鈔票の發行權だけが殘された、然し世界的に金の偏在と不足により金本位制の行詰りを見つゝある今日、しかも古來銀に非常な執着と關心をもつ支那の一角滿蒙において金本位の通貨統制を行ふことは至難の技に屬するであらう。

邦人側の通貨に金と銀が併用されてゐることは果して策を得たものであらうか？　綿に入つては綿に從ふ意味からしても銀を基調とする幣制に統一さるべきものではあるまいか、金を建値とするため一般人士は爲替の觀念が乏しく知らず識らずの間に損からざる損をしてゐる、斯うした弊を除去する上からいつても統制の必要があるであらう。滿洲の現行幣制は日支人何れの側より見てもこれが改革統制の必要に迫られてゐる、然らば如何なる制度によるべきであらうか。幣制並に金融制度の改善については嘗て頻りに論究され、最近奉天においては金融維持委員會が中心となつて支那側の金融及貨幣制度の改革を畫策中であるから何れ早晚具體化するであらう。

新しく生れ出でんとする幣制はどんなものか？　東北四省の政治主權が確立した上でなければ統制確立も亦出來ないであらう、それまでに大體の骨組だけでも作つておくのではないかと見られる限りでないが、大體の推測は新しい幣制の内容は今遽に從ふことに置く銀本位制によつたものとするならば、その基礎を新たに日支合辦の滿洲中央銀行を設立してこれにその紙幣發行權を與へて金融の中樞機關たらしめ、既發の紙幣は或る一定の比率をもつて新兌換券と交換し漸次回收して通貨の統制を計ることとなるものと見るべきであらう、然し支那側のみで中央銀行を設立して我國がこれを後援支持する方策なるべく、また從來流通してゐる正金銀行の鈔票をもつて貨の統制を企圖することもあらう、然し最も實現性ある方策は日支合辦の滿洲中央銀行の立案と見て差支あるまい。

今や滿洲における金融制度並に幣制を如何にして統制するかといふことに就いては民意のあるところを汲み慎重な考究を重ねた上でなさるべきである、ベーコンは謂つた「先づ鐘を鳴らせ、そして衆智を集めよ」と、今や滿洲幣制改革の警鐘は亂打されてゐる、衆智はこれに對して何を思考し何を惱みつゝあるか（川島生）

……◇……

今次の事變はこの意味に於ても大の意義あるものであつて時局收拾を如何にするかと云ふことは非常に重要なことである。從つてよく〳〵支那側の通貨が統制され邦人側も金と銀との葛藤から解脫するを得たら滿洲財界の好轉を期待出來るであらう、過去數十年に亘り數十萬の同胞が骨をくだき血を注いで得たこの滿蒙の權益を確保し、同胞の活躍を自由ならしめる途を拓くことは焦眉の急務である。

順源當

愈よ開業した官銀號系の質屋さん店員が入口に頑張つてゐてお客さん出入每に閉門するといふそれは嚴しい警戒振りです【寫眞は十一日の開店當日うつす】

フィンランドも金本位制を停止
外國爲替二割五分昂騰

【ヘルシングフォールス十二日發】フィンランド政府は十二日附をもつて金本位制停止令を公布した、これと同時に外國爲替は二割五分昂騰した

對獨墺クレヂット更に三ケ月延長
國際決濟銀行理事會から發表

【バーゼル十二日發】國際決濟銀行理事會は去る六月同銀行が英蘭銀行、フランス銀行およびアメリカ聯邦準備銀行と共同してドイツのライヒス銀行に與へた一億弗のクレヂット（各二千五百萬弗宛）中國銀行の分だけ十一月六日をもつて滿期となるので更に三ケ月延長するに決定した旨發表した、しかして英、米、佛の右クレヂット參加銀行に對しては同樣期限延長の交涉が行はれる模樣である、なほ理事會は國際決濟銀行とイギリスとでオーストリヤに與へた一億九千萬志（内イギリス一億志）のクレヂットの期間も三ケ月延長する旨決定した、右延長のクレヂットは今後全部國際決濟銀行の補償勘定に移されるはずである

滿鐵連絡貨物の不振對策
伊藤鐵道部聯運課長の視察
歸連を待つて講ず

既報の如く事變勃發以來四洮、吉長線等との滿鐵連絡貨物はいちじるしく不振の狀態にあり、特產出廻り期を前にして滿鐵々道部の頭痛の種となつてゐる、この出廻り不振の

原因

には支那側金融機關の閉塞、奥地敗殘兵匪の跳梁があげられてゐる、而して支那側金融機關について見れば東三省官銀號邊業銀行等は十五日より開業の豫定であり、其他地方銀行も徐々に開店しつゝあるとはいふものゝ本紙十三日附朝刊所報の如く黑龍江省官銀號にては哈大洋の暴落により支拂停止を行つたとの情報があり、未だ滿蒙全般的に見れば金融機關は健實に恢復したとはいひ得ない狀態にある、一方兵匪の跳梁は鐵道沿線より相當の奥地においては尙暴行をつゞけてゐるため一般農民は特產物の發送に極度の

不安

を感じつゝあり、この二つの事實の今後の成行は滿鐵々道部にては非常に注目を拂つてゐる、これがためか目下伊藤鐵道部聯運課長は連絡貨物の出廻り狀態視察のため關係鐵道の實際運轉狀況を視察中であるが、近く氏の歸連を待つて適當な對策を講じるものと見られてゐる

兵匪だけは困りもの
村上鐵道部長談

十三日午前鐵道部長室にて村上部長は最近の鐵道部法規案についてよつていよ〳〵支那側の通貨が統……

正金更に正貨現送

【東京十三日發】正金銀行は十五日氷川丸で第三回千五百萬圓の正貨現送を爲す事となつた、なほ本月中に一千五百萬圓づゝ二回現送する豫定で現送總額は七千五百萬圓に達し之にて一應打切る筈

安田大汽社長

大連汽船會社の船舶保險料金は年額實に五十萬圓に達し九月末を以て保險料更改の期限に達してゐるこれがため社長安田柾氏は先月東上の豫定のところ滿洲船渠會社合併問題によりてやむなく遲延してゐたが、來る十六日出帆のうらる丸で島田總務課長を同伴東上し東京海上火災保險會社と折衝する筈

記者に語る　こんな忙しさは活氣があつて好い、ハルビンの滿鳥協定と東支運賃協定の會議は徐々ではあるが目下進行中である、唯時期が時期であるので

交涉は

永引くだらうが、滿鐵としては永引いたとしても別に大した苦痛もない、交涉員にしたところがこちらからは林永君（聯運課第一係主任）が行つただけだし、それに比べると先方は局長をはじめ大分大頭株が出てゐるから永引いて困るのはロシヤ側だらう、連絡貨物の輸送不振は困つたものだ、君の言ふ如く金融機關の閉塞と兵匪の出沒がその原因だが金融機關の方は東三省の官銀號等も思つたより早く開くこととなつたし、唯黑龍江省だけは目下萬國賓と張海鵬が對立して

不安の

狀態にあるので大洋銀の暴落を來したのだと思ふがこれも時期の問題だと思ふ、最近唯困つたのは例の兵匪で、最近の報告では各鐵道とも鐵道沿線から二十支里以内は匪害も安全で貨急ぎの支那人はドシ〳〵と送り出してゐるといふことであるやうだ、然しこれも近い將來には影を潛めると思ふからそのうちに盛んに出廻つて來ると思ふ

黄塵

◇……羽衣高女の崩壞事件は滿洲土建界空前の不祥事件であり從來兎角の評さと問題のある土建業者全般に對する頂門の一針でもある。

◇……競爭入札をやらすれば談合をやるし特命工事にしても手を拔くことを當然のやうに心得てゐるから始末に困る。

◇……過去において關原驛及び大連消費組合のひさし墜落、關東廳ビル階段崩壞事件あり今回又この不祥事をみる、何と非難されても辯解の辭はあるまい。

◇……今回の事件にしたところが設計が惡かつたか技術が惡いか不正があつたかはいづれ司直の手によつて判明されるであらうがいづれにせよあれだけの工事を一氣呵成に竣工させんとしたところに無理があつたことは見遁せない。

◇……大廣場の英國領事館などはあれボッチの建物で二年半の日時を要し工事監督の英人技師は一日に煉瓦の積立は二段以上はやらせなかつた。

◇……この用意があり周到があつてこそあの堅牢があり二十數年を經過しても修繕の要を認めぬ結局の利便があるんだ。

◇……同業者は今回の事件に鑑み反省すべきであるが建築させる人も安物買ひの錢失ひ、錢どころか貴重な人命さへも失ふやうな安普請はやらせぬことだ。

市況（十三日）

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片二分一
同　先物	一七片十六分十一
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
スチール	[illegible]
アナコンダ	[illegible]
英米爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]

綿花

●米綿　十月・十二月・一月・三月・五月・七月（數値判讀困難）

●印棉　ベンゴール　三七留比　ブローチ　一六六留比

大阪期米・東京期米・神戸期米・大阪株式

（數値判讀困難）

特產

買人氣なく一齊軟調

今朝の定期は買氣全くなく各品共一齊に軟調を辿り豆油の納會で手仕舞商內による取引多量の外は頗る閑散であつた

◇定期前場（銀建）

限月	寄付	高値	安値	大引
▲大　豆（軟調）單位厘				
十月末	三二一〇	三二二〇	三一九〇	三二二〇
十一月末	三二九〇	三二〇〇	三二八〇	三二〇〇
十二月末	三三〇〇	三三一〇	三三〇〇	三三一〇
一月末	三三二〇	三三二〇	三三一〇	三三二〇
二月末	三三三〇	三三三〇	三三三〇	三三三〇
出來高	百四十九車			
▲豆　粕（軟調）單位厘				
▲普通大豆出來不申				
▲豆　油（軟調）單位錢				
出來高	五萬三千枚			
▲高　粱（低落）單位厘				
出來高	三萬二千五百箱			

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（裸物）	五二〇〇	五二三〇
出來高	八十車	
普通大豆（袋込）	五〇八〇	五一〇〇
出來高	十車	
豆粕	一七三五	一七三〇
出來高	三萬一千枚	
豆油	一三三〇	一三三〇
出來高	八千箱	
高粱	三〇五〇	三〇五〇
出來高	五車	
包米	三七〇〇	三七〇〇
出來高	二車	

定期喰合高（十三日帳入）

		前日對比
大豆	三〇八四車	△六六車
高粱	九二七車	一四車
豆粕	二一九五千枚	一一千枚
豆油	四三八五百箱	四〇百箱

錢鈔

材料冴えず當市保合

今朝倫敦近物十七片二分の一（十六分の一高）同先物十七片十六分の十一（十六分の一高）紐育は銀塊や諸爲替ともコロンブス、デーにて休會、上海標金も大巾保合を傳へたので當市變らず、滙申七十三兩一七五、滙烟六十九兩二〇、大洋百一圓四十錢

◇定期前場（單位錢）

◇現物前場（單位錢）

株式

内地變らず氣乘薄閑散

埠頭在庫貨物

10月8日（單位噸）

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
混保	107,448.3	6,111.7
保管	1,286.9	358.6
豆	445.4	173.7
計	109,180.6	6,644.0
小豆	2,571.7	1,185.1
高粱	601.4	1,282.9
包米	13,147.8	2,979.0
米	1,322.7	183.3
大豆	178.6	21.4
小米	11.1	210.5
野蠶		42.6
麻子	12.0	177.2
苧	60.9	58.0
大麻子		16.2
小豆		70.2
麻	16.4	37.4
花生	821.9	35.4
粕		354.6
豆餅	20.5	191.4
豆油	26,899.0	1,449.5
骨	1,482.5	1,320.5
豆油	20.0	188.0
其他ノ油類	1,379.0	273.6
鐵	3,303.7	2,411.1
塩	8.9	77.9
セメント	703.7	1,783.9
子	107.2	311.4

商品

麻袋產地高綿糸保合

各地特產發送高

大連埠頭到着高

爲替相場・奥地市況・錢鈔

家庭

結婚のお仕度　結髪とお化粧と着附け　斯うした心得が肝腎です

結婚のお仕度として先づ大切なのはおぐし上げですが日本髪にする場合には洋髪で式を擧げるにも前から結髪らしておかなければ當日になつてもなかなかうまく上がりません、殊に今まで束髪ばかりでゐた方が急に日本髪になさいますと、髪の形ばかりでなく全體のこなしの調子がとれないでとても變なものです、で一ケ月位前から日本髪に移つてよく

お馴らしになる必要があります、でも束髪から一足とびに高島田になりますと頭が重たかつたり夜よく眠れなかつたりしてお體のためにもよくありませんから最初二三回桃割れにしてそれから高島田に移るやうになさいますと大變樂です、桃割れになさいます前に髪をよく洗ひ御婚禮の時までそのまゝ置かれた方が髪の色艶もよくなりおぐしも馴れて形よく結へます、又當日までに五六遍高島田をお上げになりますとしつくりと頭についてまゐります

つまり結髪師の方でもよくコツが呑込めますし、御本人も多少ほつれをかき上げたり髪を撫でたりする位の技巧がおわかりになつて大變好都合です、次にお化粧ですがこれも髪と同じ様に豫じめその御準備が大切です、吹出物がある方や荒れ性の方などは是非一ケ月位前から一週二回か三回位美顔術を施して地肌を整へなければなりません、お化粧も一二回厚化粧を試みて置けば申分ありませんが、先づお顔は淡化粧にして衿だけをや、濃い目になさる位でも結構でせう、かうして前々から地肌をとゝのへて置きますとお化粧下や白粉がよく地肌に落付いて大變御化粧榮がいたしますしみぐるしい化粧くづれも防げます

結婚禮の前夜はだれもなかなか眠れないものですが睡眠不足は何よりも容色を傷つけるものですから睡眠劑を用ひても充分な睡眠をとるやうにしなければなりません、お着附は御自分でなさいます方はございませんし大がい美容師が承はつて居りますが、

私共の注文といたしましてはなるべくお人形さんになつたつもりで任せ切つて頂きたい事です御自分で衿元をなほさうとしたりいろいろ氣をくばつたりなさいますと却て仕事がやりにくゝなります、でお着附については別に申上げる事もありませんが、お召物や附屬品について二三お願したい事がございます、これも一ケ月位前からなすつて頂きたいのですがガーゼを一反ほどご用意して乳の上から臀部にかけてグルグル巻いて置きますと贅肉がとれて

胸から腰へかけての線がすんなりといゝ恰好になりますし、當日になつて急に窮屈な思ひをされる事も少うございます、當日はこのガーゼをキユッとしめて恰好をつけます、下から召すものはガーゼの肌襦袢に緋縮緬のお裾除位でいゝでせう、長襦袢の衿芯には本書をよくもんだものを入れ、前身頃の胸と背中とに紐をつけて前後からしばつて置きますと決して衿や胸元がみだれません、帶はなるべく薄い芯をつかつた方が恰好もうまくつきますし御本人もお樂です、

それから角かくしですがあまり白いものよりも裏の色のよくすける赤味のかつたものがお顔の色を引立てます（遼東美容院主磯口逸子さんの談）

足袋を上手に履くには　安ものはこゝでも結局錢失ひ

◇そろそろいやな煤煙が隈なく市中の道路を舞踏し初め折角綺麗な着物も雪のやうな眞白い足袋も束の間で立派に黒色と染め出されて御婦人方を弱らせます

◇白足袋を履いた氣持は格別いゝものですが足袋も買方が惡いと二三回で洗濯が利けず使用に耐へないやうに破けて了ひます、二足三十錢位の足袋も安いやうには見えますが實は高價なものに相當するやうになりますから求める時は一値が張るやうでありましても少々高價なもの（四十錢位から）が好ましいのです

◇洗濯毎に縮まり小さくなつて履けないやうになるのは製らへる時に布地を引つ張り延ばす丈延ばして作るのですから洗つて縮むのが當然です、でも上等になりますと布地がよいのに延ばした布地でなく自然底も丈夫なものを使用してありますから二三回で使用されぬやうになるといふ心配はないのです

◇洗濯法としては足袋に石鹸をつけましたらブラシでこするのです、すると垢は落ちて了ひます、底も同様にブラシで洗ひますもしこれでも落ちない場合は石の上に弱くそつと何回もたゝきつけますと汚れは落ちて了ひます

◇洗濯が終りましたらよく濯ぎ出しきつくしぼらないでそつと水を切り手でたゝきつけて充分しわをのばします（かういたしますと足袋が縮む憂ひはありません）それから糸で下げて乾かします

身につけ上下のキチンと揃ふ　衣裳の大切な仕立心得

◆…これから婚禮、七五三、御年始と、晴衣を仕立てる機會が多くなりますが身につけて上下のキチンと揃ふやうに仕立てる事が何より大切です、仕立てに先立つて先づ手帳を用意して一々その部分々々の寸法を記入します、一定の寸法で縫つていけば記帳の要はないやうですが、模樣の都合で寸法を適宜にかへるやうな場合もありますから一々記しておくのが一番安全です

◆…下着のつめ方は人によつていろいろ違ふやうですが實際に着て見た場合、次の寸法によりますとキチンと氣持よく揃ひます、もつともこれは上下同じ生地としての場合ですから地質が違へば多少手加減をしなければなりません

◆…女物でしたら身丈で一分、肩一分、行はほんの心持、袖付で一分五厘、袖丈一分五厘、袖口一分、袖巾一分、身巾は片身頃に三分五厘（後巾一分、前巾一分五厘衽一分）衿丈を二分ほど上着の寸法より下着をつめます

◆…男物の場合には女物とちがつて腰にたくし上げをしませんから女物よりも尚一層きちんと揃へなければなりません、帶のしめ方や體の恰好、身長などでも多少のちがひはありますが大體に於て上着よりも下着の身丈を一分五厘、裄肩一分、袖丈二分、袖口一分だけつめ他は同じ寸法にします、揚げは上着の揚げより五分位下げていたしますと恰好よく着られます

木炭の見分け方　色は銀灰黒色の光澤あるもの　音のガサガサするものは駄目

◇**木**炭がそろそろ調法がられるやうになりました、家庭の主婦として木炭の良否の見分け方は既に熟知して居られる事とは存じますが若い主婦方の參考迄に記して見ませう

◇**先**づ木炭を求めるに當りまして注意しなければなりません事は木炭の良否を見分ける事です先づ光澤の事ですが軟かいのは手で觸つても汚れません、色は銀灰黒色の光澤がある程よいのでんだり褐色を帶びてゐるものはよくありません

◇**硬**い木炭は外部は灰色のものがよいのでやはり黒色が加はる程よくないのです、白色でも灰が浮いたやうになつてゐるものは化粧としてある時がありますから求める時に注意せねばなりません

◇**次**に音ですが、軟炭はかな音のするのがよいものでガサガサするのは良くありません、炭は叩いて音の高いもの程よいので殊に金物の樣な冴えた音を發するのがよい品です、切口は縱横共に餘り裂け目が多くあるのは惡いので切口が菊の花のやうな裂け目のあるのは最もよいのです

◇**其**の他使つて見てハネズりや焔を出さず、熱量が大で永持する割合に重いものがよいので一言すれば硬いほど良いのです

◇**木**炭を求める場合は先づ正味何貫目入つてゐるかを、たしかめて求める事で無暗に一俵の値が安いからといつて購ひますと、とんだ損をいたす事があります、と申すのはよく粉炭が入つてますと一般に不平がでるのです、だから商人によつてはこの不平を除くために俵を詰直して粉炭、小片を取り除きますすると詰替へられると容積が大きくなるものですから體裁もよくなります

◇**炭**は産地から市場を經て一般家庭に入るまでは相當あちこち動かされるのですから自然粉炭になりやすいのですだから粉の少い炭は注意をしないと非常な損になります

◇**家**庭では粉は別に取つておき火のグルリにいけておきますと火が非常に永く持ち粉も火になつて兩得です決して値が安いからといつて買はず、正味あるものを求める事です

◇**次**に炭を七輪に入れて用ひる時は七、八分目入れて完全に燃燒させるやうにして決して一杯入れない事です

感冒が流行します　豫防には、手當には是非これだけが必要

快よい肌寒さの候は通り過ぎて全く冬らしい北風がヒユッヒユッと吹き初めました、こうした内地とは異つた三寒四温の氣候が今から始まります、急に氣候が變るため、

急變するためこれからは風邪もひきやすいのです、夏は戸外運動或は海水浴と積極的な身體の鍛錬ができますが冬になりますとそれもできかねまり他に仕方はありません、先づ消極的な豫防としては

一、風邪をひいて熱のある病人に接近しないことです

二、次は温度が天候によつて大へん違ふのですから温度に應じても氣温に順應して着物の調節をやる事です

三、それと共に冬の室内外の衣服に充分注意して寒いのに耐え或は室内にても室外と同じ樣な厚さで居るといふやうな事をせぬ事です

四、又平常嗽口を行ふ事です、食鹽水でなくとも普通の水で結構ですから洗面所にコップをいつもおいて食前に手を洗ふと同樣に嗽をやり喉についた埃を洗ひ流したいのです

感冒に罹つたら先づ第一に安靜に臥床しむりをせぬことです、普通の單純な感冒だつたら二、三日で

診察は合併症であるか、或は本來他病である場合がありますから早く醫者に診察して貰ふことです、風邪に罹つてる場合は消化器も同樣弱つてゐるのですから平常より柔かいものを攝るとです、全快せぬ中に早く床を離れるためよく失敗する方が多いのですからこの點には充分注意しゆつくり養生することを忘れてはいけません、嗽口も平常は水だけで結構ですが風邪引いた場合は過酸水

牡蠣と蛤のスープ　老人や幼兒や病人むき

大變滋養に富んでゐる上に消化よく、しかも大變美味しい牡蠣と蛤のスープの調理法をお傳へしますが老人や幼兒や病人には適當でせう

牡蠣のスープ

▲材料＝牡蠣十匁、出汁一合、牛乳五勺、味の素、食鹽、胡椒少量

▲調理＝牡蠣はなるべく殻に入つたものを選び殻を破つて中の汁と共に出汁に入れて五分間煮立て、中味をとり出してすりつぶし裏漉しにかけて再び汁に入れ食鹽、味の素、胡椒で調味します、好みにより牛乳を入れ温かいうちに頂きます

蛤のスープ

▲材料＝蛤六七個、水一合五勺、牛乳五勺、食鹽、胡椒少量

▲調理＝蛤は一二日鹽水に浸して充分鹽を吐かせて置き、よく洗つて一合五勺の熱湯に入れて全部口を開くまで煮ます、これをすりつぶし裏漉しにかけ食鹽と胡椒で調味して温かいうちに供します、お好みにより牛乳を加へますと大變

滿日各地版

長春を中心にして 北滿各地へ通信網
長春電話局の中繼で 吉長沿線ハルビンへ通話開始

【長春】哈爾濱、吉林等への市外通話取扱ひは長春電話局中繼で十二日午前八時から開始され十四五年前からの懸案がヤット解決された譯だがこの交渉の任に當つた駐滿長春郵便局長の功績はけだし偉大なものといはねばならぬ今後哈爾濱、吉林等と通話する場合それが日語であらうと支那語であらうと兎に角全部が長春電話局の中繼によらざれば通話が出來ないことゝなつた譯である、現在では單に長春電話局の中繼に過ぎないが今後は更に全滿各地へ擴大されて行くことであらうと思ふ、然しこの通話取扱ひが哈爾濱、吉林、長春その他の特産商や通信關係者等に及ぼす福音は非常に大なるもので ある、因に通話區域及通話料金は左の如くであるが銀貨の變動により通話料金は臨時變更することがあると

通話區域	料金	通話區域	料金
下九臺	二十七錢	双陽	三十二錢
樺皮廠	三十二錢	農安	四十一錢
吉林	五十九錢	伏龍泉	四十一錢
伊通	二十七錢	張家灣	五十九錢
陶賴昭	五十九錢	三岔河	五十九錢
双城	五十九錢	哈爾濱	九十一錢

解除した武器は 漸次引渡す
天野旅團長吉林で語る

【長春】長春記者團は十一日の日曜を利用して吉林に天野旅團長及新任吉林省長官熙洽氏を訪問したが白髮交りの童顏天野旅團長は頗る元氣で九名の一行が氏の應接室に押しかけるや、エライまた大勢でやつて來たなと一矢を報ひながら語る

吉林に避難してる鮮人が五百四五十名で彼等も收穫期をそのまゝ逃げてきてゐるんだから可哀想なものだ

敗殘兵 から生命を絶たれ相當悲慘な狀態を見せつけられてゐるので避難も止むを得ない然し之をこのまゝ放つても置けぬので十日熙長官に敗殘兵の嚴重な取締りと鮮農に對する生命財産の保護とを捻ぢ込み若し取締りが出來ず一名たりとも鮮農に危害を與へられた場合は斷然實力を以て之に當る旨を突込んで置いた、熙氏も直ちに人を派して鮮農保護を絶對的に命令するところあり大體安全と見られるので十二日から各自原地に鮮農を引取らせ收穫に專念させることにした、武裝解除の武器は今日までのところ一千三百挺餘に過ぎないが既に長官公署衛隊として北山兵營に歩兵一個大隊を編成し武器も之等編成隊に對しては引渡した、工兵、憲兵各一個中隊(二百名餘)も近く編成する筈だから

武器は 漸次引渡す方針である、敦化には目下一兵もゐないが今度の新任敦化縣長劉興沛は日本人の女を妻にしてるだけ頗る親日派でこの間赴任の際僕の處にやつて來て絶對に御安心を乞ふなどゝ云つてゐたからもう大丈夫だらう敗殘兵が現在では烏拉と樺甸にゐるようだが六千位の兵員らしい

因に吉林では十一日野砲の實彈演習を實施してゐたが當分歩兵その他の演習を實施する模樣であつた

吉林省長官記者團と會見 十一日吉林省長官公署にて

近頃のハルビン
物情騷然たるうちに 一抹のユウモア漂ふ

【ハルビン】双十節を期して支那共産黨の排日暴動が計畫されて居るとか、双十節を期して日本人虐殺の計畫があるなど途方も無い流言も行はれたが慣れっこになつた日本人は又かとばかり鼻先であしらふだけの餘裕が出て來たのは嬉しい、當日行政長官公署では例年通り在留各國の要人連の

祝賀 を受け一時監禁説を傳へられた當の張景惠長官は禮服着用頗る上機嫌の態で祝賀の客に應對してゐた、午前十時頃例に依つて傅家甸新市街方面に「日本帝國主義打倒」の小さな傳單が共産黨員の手で撒布された外は何一つの事故なく全員特別出動で嚴重な警戒に任じた公安局の巡警諸君も手持無沙汰に見えた、こんな風で近頃の哈爾濱は表面頗る平靜であるが時には飛んでもないナンセンスな出來事に思はず頤を解くこともある、目下映畫館パラスではソウエートの宣傳映畫「戰艦ポチョムキン」を上映中であるがその宣傳のため

軍艦 に假裝した貨物自動車に樂隊を載せて市中を巡つた所モスコ兵營の歩哨兵二人はてつきり日本の裝甲自動車が來たと思ひ込み「日本兵來了」と叫んで營内に逃げ込むやら附近の支那人は燒きかけの玉蜀黍などを放り出した儘瞬く間に店を鎖したといふ頗る滑稽な出來事があるかと思ふと白系露人はソウエートの宣傳映畫に業を煮やし九日夜上映中卵樣の爆發物を三つも舞臺目掛けて投げつけ轟然たる爆音に滿場總立ちとなつて大騷ぎをしたが取調べた

結果 何等の害毒はないが鼻持ちのならぬ臭氣を發する玩具の爆發物と判明した、兎に角事變突發以來の哈爾濱は物情騷然たる裡に一抹のユウモラスを漂はせてゐる

マラソンで 軍隊警官を慰問

【瓦房店】廣島縣人土倉節夫氏は大連旅順における廣島縣人會後援の下に今回の時局に關し軍人警察官の勤勞をマラソンにて慰問することゝなり十日旅順を發し十二日瓦房店着守備隊警察署地方事務所驛及大連滿日兩支局を訪問したが同人の語る處に依れば普蘭店、瓦房店間約十里餘を三時間半位で到着した途中道を誤りて外部にそれ約四十分位空費した又田家を發して間もなき線路踏切にて二十歳前後の支那人六名より投石されて足部を負傷した彼等は馬鹿野呂の惡口を口々にあびせて居たと倫氏は十三日朝熊岳城に向け多數見送りを受けつゝ出發した

邦人の人質を虐殺
蓋平城の邦人宅を襲撃した 六名組馬賊の暴狀

【營口】蓋平城東門街に居住し金貸業を營み居る山口多一方に十一日午後九時頃五六名の馬賊侵入し現大洋一千元金票二百圓其他衣類數點を強奪同人及同店使用支那人一名を人質として拉致支那人は城東三支里の地點にて放還し山口は約四支里の地點に於て虐殺された急報に接したる牛荘領事館警察署では窪田司法主任以下數名同地に急行した

悲慘な死體

【熊岳城】十二日午前一時頃當地守備留守隊に向け蓋平分遣隊より蓋平城内邦人宅に馬賊十數名侵入掠奪を恣にす應援をたのむとの通報に接し即刻守備隊にては準備を整へ飯塚少尉以下八名午前二時四十五分發蓋平に直行したが被害者は東門外に牛馬賣買業を營む原籍佐賀縣藤津郡能吉村字山浦、山口多市(五〇)にて十一日午後九時頃三十歳前後の支那人を先頭に五名の者手に手に棒、支那槍を攜帶し同人及び支那人傭人右二名を拉致し去りたる後にて賊は金品(現大洋一千元=金三百五十圓、衣類其他約三百圓)を強奪し右二名を東北方約四支里の天臺附近迄拉致し傭人のみを追放倚東北に向ひたる形跡あり一行は附近村落を隈なく捜査中倚約一清里北、紅旗溝墓地附近にて棍棒にて毆打支那槍にて突殺し居る死體を發見した、右被害は腹部七八ケ所を突刺し腸露出し兩股中央部二ケ所に刺傷あり兩手及首を荒繩にて縛りあり見るも悲慘な形相であつたと、因に一同が之れを發見したのは犯行後約六時間を經過したる後とて遂に賊を逮捕するに至らず後事を大石橋警察署長以下警官隊及び商務會等に託し午前十一時五十分發當地に引揚げた

八棵樹の馬賊

【營口】營口縣下八棵樹附近に出沒し盛んに金品掠奪中の馬賊頭目九勝、東來好の率ゆる約八百名の賊團は田荘臺商務會に對し金票二萬五千圓を五日以内に提供すべしと要求して來たので附近の各村長等は對策協議中であるが公安隊及自衛團にては警戒を嚴にして居る

二人組の強盗

【遼陽】遼陽鎭西丸山農場に十二日午前一時半頃家人の熟睡中便所の窓硝子を破壞して闖入した二人組の強盗が主婦三代を脅迫して現金四十圓餘古綿五貫白米一斗豌豆四升を強奪西方大林子方面に逃走したと

四人組辻强盗

【奉天】十一日午後十時ごろ山東省生れ蘇家屯附屬地伊賀原組使用大工頭李育生(三〇)が巨流河から皇姑屯驛に到着し市内若松町支那旅館福順棧南方に差掛つた際二名は拳銃二名は支那刀を所持する四人組の辻强盗が現はれ脅迫し金票三圓五十錢、現大洋八十錢を強奪し南方に向け逃走した目下犯人嚴探中である

人質を歸す

【遼陽】遼陽城東北東京陵の農家を襲ひ人質を拉去身代金三千圓を要求逃走した賊團から更に密使を送つたので家人は大洋五百元を調達九日朝賊團に交付せるに同日午後五時頃無事歸宅したと

賊に射撃されて 伊藤大尉負傷す
賊は闇にまぎれ逃走

【營口】獨立守備第三大隊第二中隊長伊藤大尉は十一日夜傳令一名を隨へ歩哨線巡察中同夜十一時頃舊市街裕豐棧胡同通行中三名の賊に射撃され右大腿部に盲貫銃創を受け打倒れた大尉は所持の拳銃を以て應射したるも賊に命中せず傳令は直に賊を追跡したるも暗夜のことゝて危險を慮りて中隊長は之を中止せしめ直に大隊本部に報告せしめた守備隊、憲兵隊及び警察では直に賊の捜査をなすと共に中隊長を古川醫院に送り應急手當をなし翌十二日午前七時大石橋に引揚げた負傷は全治まで一ケ月を要することであるが傷口より推せば小型拳銃にて約五米突の地點より射撃したるもの、如し賊は附近を驅ふつもりで暗にかくれゐたるを突然の銃音に驚き逃走を容易にするために發砲したるものならんとのことである

掠奪した十六名の娘と 匪賊團の盛んな結婚式
昌圖縣に童話のやうな物語

【開原】昌圖縣寶力屯は目下約三百名の匪賊に占領されつゝあり該賊團は附近の部落より強奪して來た娘十六名と結婚式を擧げるべく式に必要なる音樂手數名をわざわざ昌圖縣金家屯より強制的に呼び寄せたと云はる

全滿鮮人大會

【奉天】今回事件で支那敗殘兵の鮮農虐殺に恐れた地方在住の鮮人は續々として安全地帶に引揚げてゐるが在滿鮮人は來る十七日午後一時より奉天に於て全滿鮮人大會を開催し暴支膺懲と避難民救濟につき協議することになつた

時局相談會 奉天に設置

【奉天】今回の時局に際し在奉各機關は相互に聯絡を採る必要あるに鑑み野口民會長、上田町内會總代、入江商議副會頭、荻原自主同盟理事等發起の下に時局相談會を設置することになつたが十二日午後一時より奉天商議に前記發起人の外岡田奉天事務所地方課長、倉橋同地方係長、木下在郷軍人分會長、稲島國粹會副部長等出席し協議會を開き審議の結果その規約を左の如く決定した

一、名稱 時局相談會
一、目的 本會は奉天全市民の協力により時局に善處するを以て目的とす
一、組織 本會は在奉天各團體の代表者を以て組織す
一、本會は必要に應じ隨時開催す
一、本會の決議は事案毎に擔任委員を定め處理せしむ
一、本會に常任理事若干名を置きその合議を以て常務を處理す
一、本會經費は有志の贊助金を以て之を支辨す

流言蜚語から 鐵嶺の騷ぎ
四人六名破獄を企つ

【鐵嶺】最近開原城内では教育會長の官金持逃げ事件あり續いて今又佟縣長の逃亡あり續いて官銀號分號の保管金も奉天に密送される如き噂あり開原守備隊では捨置けず十一日午後兵を派して之れを差押へたるところそれに端を發して流言蜚語傳はり日本軍襲來説馬賊襲來説頻りに傳へられて人心頗に動搖し公安隊員も正服を脱ぎ棄て便服を着用するなど不穩の狀態に陥りたるが其隙に乘じ城内監獄では囚人六名が破獄を企て大に亂を極めたるも囚人は一名射殺され二名重傷三名逮捕され日本官憲の嚴重交渉によつて公安隊も武裝し舊態に復した、一時は非常な騷ぎであつた

遼寧省自治會 名稱を變更

【鐵嶺】鐵嶺縣政府廢止後に設立された遼寧省自治會所謂鐵嶺自治會は十二日委員會協議の結果鐵嶺縣臨時自治會と名稱を變更しそれに伴ふ組織と執務章程並に自治會委員會章程を議し滿場一致承認し以て委員張祖蔭氏の辭表提出ありたるも時局多事多端の折とて此際是非とも留任を希望して辭意を飜へさせ各部の首腦者氏名は十三日に確定せしむることゝし自治會專屬通譯一名を新採用することを決議し十二日の會議を終つたが自治會設立に就いて支那側一般の感想は頗る好評にて多年東北軍閥の苛斂誅求に虐げられて來たことゝて自治會の内容充實を切望してゐる者が多い

新政策を謳歌

【鐵嶺】別項の如く鐵嶺縣自治會の設立は一般民衆に對し多大の好感を與へ民衆は自治會の將來に囑望するところ多大なるものあり新自治會が新政策に方つて第一に發表した惡税の撤廢は民衆を最も喜ばしむるところとなり十二日城内隈なく各方面に左の如き新政策謳歌の宣傳ビラが撒布された

大家！大喜！我們的人民自治會産生了、就是人民自己管自己的事結果！我們的稅捐可以減半、軍閥可以消滅、土匪可以剿除、打官司可以得着公平、我們可以安居樂業 大家！我們幾千年來的大欲望呀現在已經達到了 大家！大喜！大喜！

十月十二日 鐵嶺人民

第三國の干渉等 問題にはならぬ
民政黨慰問團來滿

【奉天】在滿帝國軍隊居留民々政黨特派慰問團一行戸田由美、小山倉之助、松尾四郎、作田高太郎の四代議士は十二日十三時着安奉線急行にて來奉ヤマトホテルに入つたが松尾代議士は語る

今回の事件で國民を代表し軍隊並に居留民の慰問に來た外何等意味はない自分としての意見は數々あるがこゝに述べる譯には行かぬ、事茲に至つた以上今日まで侵されてゐた滿蒙の權益を確立せねばならぬことは内地においても同樣意見である今後如何に展開するか注目される處である第三國の干渉については國際聯盟のみでそれも米國は居らず英國は日本に好意を持ち佛國はなるべく遠ざかるといふ風で恐らく問題にはなるまい、國家としても今回は他の干渉を絶對許さず強硬に出てゐるからこの點でも軟弱外交等は當らぬ、滿洲を今後如何にするといふことは全く判らぬ

尚一行は十三日戰跡見學をなし同日午後三時卅六分發急行にて長春に赴き吉林を往復し哈爾濱視察後十六日過奉赴連の筈

石油蠟燭暴騰

【遼陽】遼陽市場に於ける石油と蠟燭は一兩日前來俄に暴騰し石油一箱十一元のものが十四元五角に洋蠟一袋二角五分が五角に暴騰せり其の原因なりと云ふを聞くに近日中に日支交戰あり電燈の消滅を慮りてなりとの流言を信じ居るものゝ如くである因に遼陽城内は目下の處極めて靜穩である

沿線往來

▲中谷關東廳警務局長 十二日朝來奉
▲柴山顧問 十二日大連より歸奉
▲十河滿鐵理事 十二日朝來奉
▲大江滿電專務 同上
▲黑田陸軍少將 十二日安奉線にて來奉
▲森守備隊司令官 十一日夜四平街へ
▲竹中滿鐵理事夫人 十二日朝來奉
▲玉木德次郎氏(滿紡專務) 十一日赴連十三日歸遼の豫定
▲長山遼陽署長 十二日奉天往復

旅客取扱ひ改善
事務室事務分擔を變へ
奉天驛のサービス振り

【奉天】奉天驛では旅客取扱ひ改善に努力してゐるが今回事務室を左の如く變更した
一、事務室の變更
イ、旅客扱助役及び旅客係りは支關入口横現在案内所内に移轉す
ロ、改札係事務室を待合所出口手荷物取扱所隣に移轉す
ハ、案内所は從來通り
ニ、庶務係の一部を現在旅客助役の跡に移轉す
二、事務分擔の變更
イ、旅客取扱助役の仕事は從來と變りなし、助役、旅客係案内方と一體となり客扱上遺漏なきを期す
ロ、公衆電報の受付は從前通り案内方が取扱ふ、但し鐵道電報の受付は總て階上電信室にて取扱ふこと﹅なる
ハ、改札係は上記の場所に移轉す
ニ、旅客携帶品一時預手荷物社用品取扱共從來と變りなし
三、電話は左の通り變更す
イ、事務室、事務主任、庶務、涉外係車務室となり原則として十六時以後は不在となるによつてこの場合は旅客助役に通話されたし
ロ、旅客助役室、旅客案内及待遇乘車證の取扱ひに關する事項及び驛長車務主任不在の場合驛務一般に關する事項取扱ふ

子はお寶
無職者の幸運

【奉天】子はお寶そのま﹅の話…河北省生れ住所不定無職蘇松亭の妻于氏(二七)は豫て姙娠中であつたが十二日午前八時半頃俄に腹痛を感じたので市内江の島町六番地市場會社東側共同便所に赴いた處玉の樣な男兒を分娩した市場の人々はこれを聞いて全く珍しい芽出たい徵候として同情し集つた金が金票の卅四圓八十錢、そして奉天署でも大いに同情し其の夫たる松亭に洋車夫か行商かの職を斡旋する一方支那衣服まで惠與したこれに對し蘇夫婦はこの手厚い同情を受け感激して謝してゐた倚于氏母子共健康であると

避難鮮人救濟

【奉天】今回の事件で奉天、撫順、鐵嶺、亂石山、昌圖附近に避難した鮮人は十一日まで一萬二千名に上り軍では之が保護給與のため麥粉三千袋を支給し領事館の手を經て分配せしめてゐると

避難邦人歸宅

【鐵嶺】事變のため一時危險に瀕した八面城の居留邦人は去月二十三日同地を引揚げ四平街、奉天等に避難してゐたが我守備隊の力によつて八面城の秩序全く恢復したので八日全部歸宅し家業を勵んでゐる

鳳凰山大賑ひ

【鳳凰城】鳳凰山の紅葉は既報の如く今が盛りで登山團體が來鳳するやうになつた、十一日には安東より臨時列車が增發されたこと﹅て、安東市中の會社商店等の家族連れの登山者も多く山中は大賑ひであつた

劉禪子兒去來

【遼陽】遼陽城南立山の西方南沙河に潛居中の劉景和(劉禪子兒)に對し楊縣長と于沖漢氏から入城を求められ劉は十一日來遼于氏と會見せるに匪賊討伐に援助を求めたる由なるも劉は既に老齡其の任…

銀相場引戻す

【奉天】一時暴落氣配を示してゐた銀相場は官銀號、邊業銀行の開業に好材料を得て十日二百六十二元の高値が十二日漸次人氣を回復し二百二十八元臺に引戻した

奉天の慰問袋

【奉天】軍隊及び警察官の慰問袋募集は十日を以て締切つたが總數三千四百四個現金一千八百二十八圓六十錢である尚未提出の九町内會を合すれば一萬を突破するであらうと

朝鮮軍參謀部招宴

【奉天】朝鮮軍參謀部では十二日午後六時より公記飯店に新聞通信記者を招待し懇親宴を催した

安奉線南部軟式野球大會

【鳳凰城】既報の如く十一日午前八時半より當地驛前グラウンドに於て安奉線南部軟式野球大會は擧行された、此の日溫暖絶好の野球日和で多數日支人の見物があつた渡邊郵便局長開會の辭あり直に第一回戰草河口對鳳凰城黃煙組合により火蓋を切られた、兩チームの奮鬪めざましく接戰をつゞけてゐたが最後に草河口は一擧八點を入れ黃煙組合涙を吞む、閉戰十一時半、正十二時より第二回戰鳳凰城滿俱對高麗門以南聯合軍の戰ひの幕は切つておとされた、聯合軍大に奮鬪につとめたが武運拙く遂に鳳凰城滿俱をして名をなさしむ、閉戰二時、二時半より愈々鳳凰城滿俱對草河口の優勝戰は緊張裡に開始された、始めは草河口非常に優勢に見えたが七回八回と進むにつれ鳳凰城滿俱點を增し遂には同點となり兩チームの技倆は伯仲で互に讓らず時々觀衆の手に汗握らしめる、鳳凰城滿俱最後に貴重の一點を得て遂に榮ある優勝旗、優勝カップ及本社寄贈の優勝メタルは鳳凰城滿俱の獲得するところとなつた、閉戰四時半、尚メンバー又スコアーは左の如し

▲第一回戰
(河草)草回　河数 431010 8 計17
(煙黃)黃回　煙数 110135 0 計11

▲第二回戰
(合聯)聯回　合数 101000 0 2 計
(俱滿)滿回　俱数 333120 A 12

▲優勝戰
(河草)草回　河数 000050 000 5 計
(俱滿)滿回　俱数 000010 23A 6

戰跡リレー

【旅順】來る十七日擧行する都市對抗戰跡リレーに對し旅順市民の後援は地元だけに非常な意氣込であるが乃木町三丁目町内有志は十二日金六十六圓を募集し後援資金を提供激勵するところがあつた

兵工廠の職工

【奉天】兵工廠の職工一萬二千の内四千名に引揚げを希望してゐるので市政公所では之に對し無賃乘車證を與へ且つ一名につき現洋の十元を支給し歸省せしめることになつた

開原

地方委員選擧

十月一日に地方委員選擧を行ふ筈であつたが時局のため延期となつてゐたところ來る十一月五日に選擧投票を行ふこと﹅なつた尚告…は七日に行ふと

鐵嶺

鐵嶺忠魂碑

十月中旬竣工の豫定であつた鐵嶺忠魂碑は豫定の如く工事に着手されたるも突如時局のため敗兵各地に出沒し苦力は恐れて石山に働かず工事進捗上頗る支障を生じ尚工兵隊では奉仕的勞務に從事して呉れる筈であつたが時局出動のため不可能となり更に鐵扉も兵器部で奉仕的に製作依賴してあつたところこれ又時局のため不可能となり工事頗る遲延し豫定期日に竣工不可能なるを以て十二日河村建設委員より經過報告あり尚前述理由により工賃に百餘圓の不足を生じたので御神寶庫、設寄附金としてあつた百圓を繰入れ御神寶庫費は社費から捻出するに決定した因に忠魂碑の題字は特に本庄關東軍司令官が揮毫し立派なものである

鳳凰城

書類全部燒却

開原城内排日策動の根據地たる縣教育會内外交協會支部は事變以來鳴を靜め潛めたるが七日城内公安局長は同會事務室にあつた書類全部を燒棄て看板も破壞して了つたと

倉本少佐遺骨

南嶺戰に於ける名譽の戰死者故倉本少佐の尊い遺骨は戰友に守られ十一日午前五時半當驛を通過したが、當地在住民多數は驛頭に整列して禮拜し弔意を表した

軍司令官布告

當地守備隊では十二日早朝關東軍司令官の布告を支那街及附屬地の各所に多數貼布した

熊岳城

地委選擧戰

滿洲事變の爲め一時延期となつて居た當地に於ける地方委員選擧期日は愈々來る十一月七日と決定發表するや選擧氣分は頓に濃厚となり種々の下馬評が起り或は會社二地方三支那人一の割合にて均衡をとるべしと評され或は老熟せる手腕家二、帝壯有爲の士三の割に選出すべしと稱へ區々なる人物區々なる部内の下馬評が盛んに起つてゐるが概れ滿鐵側は本職以外の公職を云々するは職首問題の一條件となれる實例に照し此際お斷め…一主義を遵守すべしといふ態度多く地方委員の本領は宜しく地方居住民に一任すべしとの持論を唱ふ

劍道練習開始

時局多端なる折柄とて一時中止の狀態にあつた當地劍道部にては十三日(火曜)より時節柄益々身心の鍛鍊を急務と痛感し練習を開始することになつたが毎火木土の午後七時より九時まで滿俱道場で猛練習を行ふことにした

上田訓導轉任

當地小學校訓導上田宗太郎氏は今回長春小學校に轉任を命ぜられ十二日第十一列車にて家族同伴赴任の途に着いたが驛頭には一番熱心で一番やさしい先生として兒童等に慕はれただけ兒童等は勿論父兄母姉一同の見送り人に惜まれてゐた因に其の後任は大連より三浦訓導着任一年生の好いお父さんとして上田訓導の後を引受けた

瓦房店

守備隊の動靜

瓦房店守備隊は營口方面の事情に依り十日午前一時發にて一個小隊出動する事となり小野塚中尉指揮の下に出發したが十二日蓋平方面で邦人の避難者あるので更に一個小隊同方面に出發した

金州

漢文講習會

一般的に漢文素養が衰亡しつゝあるのに刺戟された中國人有志は元農業學堂教師張時和氏を講師として十二日午後七時より東門外に於て講習會を開いた

定期種痘開始

延期された金州管内の定期種痘は目下各地で行はれてゐるが新市街方面は十五日正午より午後四時迄に金州驛前派出所に於て施行する尚檢痘日は本月二十二日である

旅順

自警團解散

在鄕軍人會旅順分會では時局突發以來毎夜自警團を組織し警察側と協力治安の維持に努めつゝあつたが昨今稍平穩狀態となり且又應援警察官の大部分も十一日夜歸署したので十二日から自警團夜間巡察は一時中止する事となつた、然し自警團は當分解散はしない

書籍半價賣出

滿日本社では今回改造社と協約なり在滿書籍聯絡組合後援の下に來る十五日から十一月十日迄全滿各書店をして一齊に改造社發行の書籍半價賣出を斷行する事となつた、時恰も秋涼燈火机上に親む讀書好季進んで良書好讀を希望する

小兒保險盛況

本月一日から開始された小兒保險は各地共素敵な勢ひを示し流石子を思ふ親心で旅順局の如きは取敢ず百四十枚の申込書を本局が送つて來た處忽ち其日一日で用紙が無くなつて仕舞ひ局員を驚かしてゐるので早速追送方を傳達したが本局も間に合はぬ素晴らしい勢ひそれで旅順でもあさからく申込者があるので一層輔手古舞をさして…

歩道開設着工

…ゐるが申込用紙は漸く十五日には到着する筈で直に申込に應ずるといふ

昭和園前から白玉山表忠塔に至る鋪道開設案は關東土木課出張所に於て設計中の處愈々近く起工する事となり每年祭典に際して起る市民非難の聲も一掃されるに至つたが竣工の曉は延長三三〇間道幅九尺の鋪道で十二月三十一日迄には出來上る豫定である

柳樹房の火事

十一日午前五時頃旅順管内柳樹房一張吉禮(六〇)方から出火住宅全部烏有に歸し損害日本金約三百圓を蒙つた原因は長男の張吉禮が數ケ月前から精神病であつたので同人が放火したらしく尚張吉禮は此火事で無殘な燒死を遂げた

浴場に痴漢

新市街吉野町永源德隣の關東廳共同浴場へ時々怪しの支那人が隙見をする形跡があり婦人連も薄氣味惡がつてゐたところ十日午後七時過ぎ同町の富水治夫妻その他一二名の婦人が入浴中年齡二十前後の支那人が内部を覗いてゐたので大騷ぎを演じたため逃走したが其筋では大に警戒してゐる

御めでた

▲大津町二三　山本百一氏長女廣子孃二十六日出生
▲八島町二一　樋上賢治氏幸子孃三日同上
▲常盤町二一　鈴木民之氏三女かほる孃二日同上

傳染病發生

▲元寶町九八　溝脇朝市三男昭男(三)は三日赤痢疑似と診斷さる
▲鎭遠町一二　藤田スミ子(六〇)同上

法院便り

第二審にて懲役八月に處せられた元安東署刑事恐喝收賄山崎辰吉は十一日上告した▲四年十月鶴子窩に於て狂暴を逞しうした匪賊王軸臣、黃鶴貴兩名は死刑に共犯者趙順王、趙鳴九、周彰橋は無期懲役に、同鄭洪幸、于燕庭吳秀峰、孫英臣は懲役十五年にいづれも十二日覆審部に於て原判決通りの言渡しがあつた

黃金臺

◇十一日市役所で開かれた敦賀町市營住宅建築請負入札は一、五二〇圓で大谷守に落札した
◇山口世基氏令息文夫氏と大野愛子孃の結婚披露宴は九日夜偕行社に於て擧行知友多數の來賓あり永山市長の祝言あり盛大を極めた
◇敦賀町久野儀一郎氏長女朝子孃は今回砥川三郎氏夫妻の媒妁に依り石谷與氏長男精一君と婚約整ひ來る十八日の吉辰を卜し華燭の典を擧げる事となつたが同夜五時半から偕行社に於て披露宴を催す

市中の噂

八日午後七時頃乃木町の山口巡査が立哨中不審の外國人小兒がウロついてゐるのでよく調べて見ると此少年はハルビンに居住してゐた本年十二歲のモールゴンと呼ぶ者で本年六月實父アブラハムと死別し全く寄るべなき捨小舟となつた▲そこで知人から二圓餘りの金を惠まれ實母が上海に居るとの事でハルビンから上海迄の地圖を書いて貰つて山野瞼屋に起伏しつゝ數十日を要し陸行して大連迄來たが船賃が無いので再び營口北平を經て陸行すべく一歩を踏み出した處道に迷つて旅順に來た事が判明▲それを耳にした乃木町のパン屋さん、アレキサンドル、パノーフ、小櫻治三郎、井上浩三、小畑伊代藏の諸君から五圓の現金を惠み尚パノーフ君は營口に居る知人に添書を付けて貰ひ上海に向つて出發した

羽衣女學校工事は仕様書と違はぬか
南滿工專の岡教授に鑑定さす
検察官再檢證の結果

羽衣高女校舍崩壊に絡んで當局の疑惑の目は工事が契約通りに爲されたものなりや否やの點に對して注がれ、十二日午後四時第二回の檢證を了つた池内檢察官は、南滿工專教授岡大路氏を鑑定人に命じ
一、校舍は最初の契約通りの仕様書に基いて建築されてゐるか、否か
二、校舍建築に使用したコンクリート、セメント、モルタル其他の諸材料は果して仕様書通りに使用されてゐるか、否か
三、校舍崩壊の直接原因と認められるのは何か
等、犯罪成立上最も重要な點と認められる事實に關し、同教授の專門的な鑑定を求めることゝなつたが、この鑑定の結果は非常に重大な結果を惹き起すべく注目されてゐる

今井氏を召喚取調

十二日午後三時校舍崩壊現場の再檢證を終へて歸廳した池内首席檢察官は午後五時に至り校舍建築請負者にして崩壊の直接責任者たる市内霧島町四六土木建築請負業今井組主今井行平氏を檢察局に召喚詳細な取調べを行ひ午後七時頃一先づ歸宅を許した、今井氏取調べの成行は注目されてゐる

マストの折損は苦力の不熟練か
豊橋丸は大汽ドックで修理
八日間はかゝらう

近來の椿事として海運業者よりこれが成行きを注目されてゐる郵船會社所有豊橋丸の前檣切斷事件に關しては山口郵船支店長は直に關東海務局長の臨檢を得てこれが修繕に關する指示を仰ぎ漸く午後にいたりマスト、ヘビーデリッキ、ビーム二本、リーデングラインの全部を交換することゝなり直に本社に打電打合せ中であるが、先づ大汽ドック工場に廻して修理を行ふ筈で八日間は費すものと見られてゐる、しかしてこれが原因に關しては理事官或は技術官等の鑑定が未だ發表にいたらないが山口支店長は本船側の言分について

あの船はそう古いもので無く貨物船としてはかなり優秀なものとされてゐる、で今度の事件に對してまだ監督官廳の意見は何とも聞いてゐないが本船側としては苦力の技術上の不熟練が原因したんじやないかと云ふ點が多い、負傷した水夫長の話ではデレッキのまき方が少し早すぎるので注意しようとブリッヂを降んとしたところ突然あの椿事が惹起したものだといつてゐた從つてそうなると仲々責任はどこが負ふか難しい問題となる

重い物を扱ひ過ぎた
岡本海務局長談

椿事の發生と共に現場に赴いた岡本海務局長は十三日午後歸局したが調査の内容に關して語る

さにかくあんな大きな船のメインマストが荷役中根元から折れたなんて事件は非常に珍らしい原因に對しては檢務局からも所轄水上署からも係員の出張調査を見たし私も直ちに本船にゆき實地を 見たが今のところ調査中のものもありまだ研究しなければならない箇所もあるが

まづ自分の意見として第一の原因は重いものを取扱ひ過ぎた、これは電氣機械で横濱で積まれたのだがその時に何等變りは無かつたが恰度今度は何分十八年も經つた船だからゆるみが出來てゐたものではないかと思ふ、無謀な扱ひ方ではないがあまり荷役をいそぎすぎたのがデリッキに應えたものと思ふ、別に鉄に腐朽の點もなかつたからこれは永い間のデリッキ

能力の ゆるみと見て好いだらう、次に支那人が操つた事で普通のデレッキとは違ふのだからよく氣をつけなければならないのをそのまゝやつたので換言すれば不熟練の結果だつたらうと思ふ、死傷者を出した事に對しては何れ刑事問題に廻るのだらうから今私としては何も云へない

聖上陛下 御稻刈

【東京十二日發】天皇陛下には十二日午後二時吹上御苑に於て御耕作中の信州早稻六十餘坪の稻刈を遊ばされ農民の勞苦を御體驗遊ばされた

エッツドルフ號 州内上空を通過
けふ新義州から天津へ

東京に飛來して名をあげたドイツの女流飛行家エッツドルフ孃はいよいよ母國へ歸還の途につくことゝなつた、しかして同孃操縱の愛機は十四日新義州を出發して一路關東州に向ひ沿岸を飛行して天津に向ふ豫定であるが時節柄州内の住民はこれを支那の飛行機と間違はないやう特に承知してゐて貰ひたいと關東廳で注意を促してゐる、尚コースは新義州より普蘭店鳳鳴島上空を通過して天津に行くものである(寫眞はエッツドルフ孃)

わが兵が乘合せた 列車を蒙古馬賊が襲ふ
交戰の末、賊死體六を殘して逃ぐ

十二日午後十時ごろ通遼を發車せる鄭家屯行第八列車が大罕驛に停車せし時、突然蒙古馬賊約百名が同列車を襲撃したが時恰も同乘せる日本兵約二十名は直に車外に出でゝこれを邀撃し賊六名を射殺し相當の損害を與へた、賊は日本兵を見て周章狼狽し旅客の手荷物四個を掠奪逃走した、尚旅客二名、巡警一名負傷せるほか日本兵には死傷なし【四平街電話】

觀菊御宴延期

【東京十二日發】宮中恒例の觀菊會は十一月二十五、六日頃に延期と決定した

馬賊の手から 廿三日目に歸る
余糧堡附近で人質となつた 滿鐵社員坪井淸氏

滿洲事變發生直後の二十一日通遼の奥地華興公司農場から同社員と共に通遼に引揚げる途中、余糧堡附近に於て馬賊に捕へられ人質として殘つた滿鐵公主嶺農事試驗場員坪井淸氏(三七)の救出については菊竹鄭家屯滿鐵公所長が種々奔走中であつたが二十三日を經過した十三日通遼において完全に菊竹氏の手に戻つた、同人は十三日午後一八時鄭家屯に到着の豫定である【四平街電話】

手落を棚に 勝手な消燈

市内臥龍臺百三十番地三田組請負人永野金之介氏方では滿電に對する電燈料八、九兩月分を支拂ひ滯納の七月分は會社側が請求せぬので放置しておいたところ十二日午後一時ごろ後藤滿電事故係が訪れ三ケ月分滯納してゐるから消燈するといふので永野氏方では八、九兩月分の領收書を示し、滯納にあらざることを證明せるに後藤事故係は「私は係が違ふから」と消燈して立ち去つた、よつて水野氏は憤慨し滿電側に交渉の結果、送電せしめたが水野氏は一般市民のため滿電側の横暴に對し警告の必要ありとなし十三日午前十時大連署保安係に出頭、當局から警告されるやうにと願出た、右に就き滿電側では

事故係と集金係との連絡を缺いてゐたと思ふが、一應よく調査し、事實とすれば再び迷惑をかけぬやう充分注意すると語つてゐる

大分地方に暴風雨
被害頗る甚大

【大分十三日發】大分地方は昨夜來西北の暴風雨あり今朝は更に猛威を加へ、これがため海岸地方は海嘯に襲はれ各所に土砂崩潰續出し大分、別府間の電車は不通となり大分別府兩市海岸の家屋十數戸倒潰又は流失し海上には難破船多き見込み碇泊中の汽船は出港出來ず數十年來曾て無き大荒れである

老虎丸離礁

北樺太にて坐礁した大汽老虎丸よりの無電によれば同船は十二日午後五時サルベーヂ來島丸の助力によつて無事離礁を見たと尚船體損傷微少の見込である

無智な支那人を惑はす言動
客引捕はる

時局を惡化せしむべき流言蜚語に對しては當局において極力嚴戒中であるが、十三日入港大連丸四等船客中青島裕泰旅棧客引包玉亭(三)は青島より乘船大連に客引のため態々來連し船中、臨檢中の水上署員の居るのに氣附かず「大連には既に支那人は居ない皆避難してしまつた、お前等も上陸すると日本官憲に拘留されるぞ」と無智な四等乘客を惑はして居るので有無をいはせずその場で逮捕目下沖田高號主任係りとなり嚴重取調中である、なほ同様の流言をなすものが最近頗る多いのにかんがみ連類者ある見込みで何等か重大な意味が含まれた言動としてこれが使嗾者

公安局巡警發砲し 群衆二百六十名死傷す
排日運動から暴動

【長崎十二日發】佐世保鎭守府着、十日夜十時廣東目貫きの市街にて日貨排斥に端を發し支那公安局巡警と民衆と衝突し巡警の發砲により民衆二百六十名の死傷者を出し漢字新聞は號外を發行し「一萬圓の群衆を殺し云々」と大々的に報道してゐる、沈公安局長は引責辭職すべく十一日朝來民衆運動は遂に暴動化し目貫きの市街無警察状態に陷り閉店者續出し事件の原因となれる日貨は路上にて燒却されつゝあり、群衆は分局長の銃殺と局長の引責を要求し居り事態險惡化し領事は邦人に引揚げを命じた

領事館に拳銃亂射
重慶の事態も險惡化す

【重慶十一日發】本日午後十時半暴漢日本租界に現はれ領事館にピストル數發を亂射して逃亡した領事館では責任者たる劉湘氏に嚴重抗議し今後の保障を要求したが事態險惡となり總領事館も近く引揚げる方針で目下準備中

前市長の退職金 一萬五千圓可決
十三日の大連市會

第五十九回大連市會は十二日午後二時三十分議員二十七名出席開會大内議長缺席のため田中副議長代つて議長席に着く、先づ鈴木市吏員より大連市戸別割規則の認可報告あり、質問通告により

高塚議員　市長後任問題に關し市長詮衡委員は前後數回に亘つて詮衡されたが未だ決定を見ない模樣である案ずるに委員の詮衡方法は既に盡きたかの觀あるからこの際潔く辭されて他の方法により市長を決定したいと思ふ、參考のため委員は之までの詮衡經過を報告して貰ひたい

田中副議長　詮衡委員の一人としてお答へするがその内容はまだ報告する迄に至つてゐないが、もう一度詮衡委員會を開く事になつてゐるから市長の決るのも遠くはあるまい

質問はこれで打切直に日程に入る第二十三號議案につき

永井市長代理　前田中市長は昭和五年二月二十一日就任以來一年八ケ月間市政の發達に努力せられその功績も少くないので感謝状を贈呈し併せて退職給與金一萬五千圓を支給したい

高塚議員　一萬五千圓といふ數字を出した基準に就いて説明を承りたい

永井市長代理　一期四年間を勤めて四萬圓を支給した前例がある前市長は在職期間一年八ケ月で之を前例に依つて割出す時は一萬六千六百餘圓になるが一千六百餘圓を切り棄てゝ一萬五千圓とした

この時田中副議長「異議なければ即決で確定したい」と諮れば滿場異議なく可決し更に第廿四號議案に移る

永井市長代理　本年二月十五日一部燒失した山縣通市場建物を復舊すべく之が工事費として金六千四百三十五圓を六年度豫算に追加せんとするものでその財源として雜收入中に既に收入濟の該市場建物に對する火災保險契約に係る損害補塡金を充當せんとするものである

と説明、之も讀會を省略し異議なく可決確定し同二時五十分閉會した

田中前市長へ感謝狀

右市會の決議により大連市より前市長田中千吉氏に贈呈すべき感謝狀は左の通りである

貴下昭和五年二月大連市長の任に就かれ爾來一年八ケ月市政の發展充實に努力せられたるは本市の深く感謝する所なり仍て玆に市會の議決を經感謝の意を表す

昭和六年月日
大連市長代理助役　永井準一郎
田中千吉殿

ボンアミー 磨さない 掃除に 銀に

帝展の日本畫入選發表

【東京十二日發】帝展第一部日本畫の入選は十二日夜發表されたが總數二千三點中入選は三百三十七點(内新入選七十九點)である

神宮體育大會選手出發期

滿洲體育協會では來る二十七日から擧行する明治神宮體育大會に陸上選手並に關谷、吉丸組、大谷井、柴田、伊藤、後坂、濱田の五高山組、臼木、安住組の六庭球選手を派遣することに決定したことは既報の如くであるが更に彌生高女坂田政代孃を砲丸投げに出場せしむることに内定した、尚庭球選手は十六日出帆のうらる丸で濱田選手を缺く四陸上選手及び坂田孃は林田體協幹事引率の下に十九日出帆のほんこん丸で濱田選手は一般對學生對抗競技に出場せざる關係上他選手に遲れて二十二日出帆のばいかる丸でそれぞれ遠征の途に就くことゝなつた

敗殘兵が虐殺の 鮮人は約四百名
我軍討伐に向つて以來

支那敗殘兵の朝鮮人虐殺數は多數にのぼつてゐるが、日本軍が敗殘兵討伐を初めて今日までの調査を行つた結果によると、日本軍討伐區域内に於て朝鮮人の虐殺された者は二百六十九名、討伐區域外に於て百二十名である、然して討伐に從事した日本軍兵士の延人員一萬一千百人、偵察に用ひた飛行機延數五十三臺にのぼつてゐる、尚日本軍討伐區域といふは奉天西北方から大甸子、鐵嶺附近一帶である【奉天電話】

新民屯で 敗殘兵暴虐
我軍討伐へ

新民屯の東亞勸業公司農場附近に支那敗殘兵が多數現はれ暴虐を行つてゐるとの報に十三日飛行機一臺は守備隊と共にこれが討伐に向つた【奉天電話】

張家屯をも 襲撃か
部落民續々避難

十二日早朝公太堡より勸業公司への鳩便によれば約二百名の敗殘兵が大民屯の北方八支里に集結十二日夜あたり張家屯を襲撃の模様で部落民續々避難中また勸業事務所も襲撃の虞ありとのことで軍部では飛行機を出し擊退の筈【奉天電話】

樺甸縣に敗殘 兵の大集團

吉林軍敗殘兵の行方搜査に就いては我飛行機によつて努力を續けられてゐるが十一日樺甸附近にゐた一千五百餘の集團は十二日飛行偵察により發見されざるも移動した模様なく多分人家に入り込んだものと見られてゐる【長春電話】

鹽廠地方にも 敗殘兵

燈臺作業の爲小龍山島まで出張中だつた海務局港務課長江原幹三氏は十二日歸任したが語る

何だか本局の金州丸が西中島で海賊に會つたなんて事が噂に上つてゐるが、あれは海賊でも何でもなく本船の苦力が食料を購入の爲鹽廠まで行つたときその邊の部落に警口から逃げて來たらしい約六十名許りの敗殘兵らしきものが一泊して居るのを見つけて騷ぎ出したもので一向被害らしきものは無かつたさうだそれに一同は十日支那漁船で何れにか姿をかくしたが、この様にポツ〱敗殘兵が流れ込んだらしいのであの邊一帶は相當警戒されてゐる

同胞被害 判明せる

【東京特電十二日發】軍部調査、滿洲奥地各地で支那兵のため被害を受けた同胞の目下判明せる處左の通り

九月末二十二、三日頃通遼附近で十一名虐殺さる、二十八日張士屯(奉天西方)で四名拉致行方不明、二十九日西豐縣下約百名虐殺、二十九日頃鐵嶺東方部落で二名慘殺さる、三十日通還堡で三名重傷、開原縣下七名虐殺さる、十月二日までに撫順附近で二十八名、大甸子三十名、八家子三十名、孤家子二十五名鷄冠山十四名、何れも虐殺さる十月二日田庄臺に十八名拉致され七名釋放さる、十月五日まで紹皮屯李家臺附近で約六百名慘殺さる

上海の支那紙 排日を煽る

滿洲事變に關連して南支方面における排日は益々强烈となり各新聞紙は連日日本攻擊の記事を掲げ何れも主戰論を高調してゐるが、去る六日からは上海の齊天舞臺において滿洲事變の眞相と題し日本兵が無辜の住民を掠奪暴行する様を劇として上演し排日思想を煽つてゐる

宜昌邦人引揚

【宜昌十一日發】事態惡化し在留民は十一日十名引揚げ殘る四十三名は次回便船で引揚げるに決定

六大學リーグ戰
5—3 立教再勝
對明大二回戰

【東京十二日發】明立野球第二回戰午後二時半立教先攻で開始結局五對三で立教再勝、閉戰同四時四十三分
バッテリー立教菊谷、辻、百瀬　明大八十川、赤木、井野川

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
立教	3	1	0	0	0	1	0	0	0	5
明大	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3

秋季競馬 十六日から

大連競馬俱樂部主催の秋季競馬は先月開催の筈であつたが事變突發のため中止となつて居た、然るに事變も一段落となつたので來る十六日より開催してもよい旨關東廳より内命があつた、その日取りは左の通りである
十六、十七、十八、二十四、二十五、二十六の六日間

露汽船入港 船員の行動警戒

極東におけるソ聯邦艦艇の活躍は最近特に目覺ましいものがあるが十一日午後パラレスチークラシン號が釜山經由入港した、同船は木材を滿載の上釜山並に大連に陸揚げするものであるが當局においては時節柄同船乘組員の行動に對しては警戒の目を放たず萬一を警戒してゐるが、船側では單に木材を安値にて賣捌きに來たものであるとのみ稱してゐる

小崗子遊廓火事

十二日午後六時十五分市内小崗子遊廓宮城樓こと平松ナツ方浴室から發火し、天井を燒き拔いて二階座敷の一部を燒き六時五十分鎭火した、原因は煙突の不完全と見られてゐるが、詳細は小崗子署で取調中である

支那人の泥棒

山東省萊州府生れ市内常盤町五六居住無職楊鳳慶(二七)は猛烈な阿片中毒者であるが最近にいたり阿片代に窮した揚句各方面にて窃盗を働き十一日市内磐城町森田屋洋服店にて婦人洋服約百圓のものを窃取酒色に費してゐるのを當地水上署員に發見され目下餘罪取調中

安樂椅子

火災に引續く校舍の崩壊で御難續きの羽衣女學校々長岡内半藏氏は全くの踏り目に祟り目で一般の同情を惹いてゐる。

……◇……

岡内氏が英學者であることは人も知る通りだが、その昔郷里高松で岡内英學塾を開いてゐた當時の門下生で變り種が二人ある三木武吉、片岡弓八の兩君がそれだ、何れも同期で勉强は嫌ひ亂暴はする、全く手に終へぬといふので退學を命ぜられたものださうだ。

……◇……

それがどうであらう、星遷り物變つての今日、一は例の東京市疑獄事件に連座以來兎角振はずとは云へ曾ては東京市會の大御所たり今尚政界一方の謀將として知られて居り、他は旅順港外べ號の金塊引揚げで旅大人士には御馴染深い世界的の潛水王と出世して居る、往年の惡太郎御兩人は今でも岡内先生〱と下へもおかぬとは郷里を同じくする某氏の話。

東京で活躍した滿洲青年聯盟代表(九日午後一時東京驛發西下)

曙の鐘（78）

倉田潮　河野想多畫

大都會の暗黒面（八）

春木はお冬の所番地を聞き出さうとしてゐる中に、思ひがけない外の女に聲をかけられたのに驚いて、あはてゝ背後に振り返つた。と、そこに大山あけみが冷たく笑ひながら佇んでゐた。紺セルの無地の着物にフエルト草履をはいてゐる。

春木はあけみの方に振りかへつたが、心はなほ窓の彼方の女中の答へに集められてゐた。女中がお冬のさとさへ教へてくれゝば直に其處へかけつけて行かうと思つてゐるのだつた。が、暫く待たせた後で、女中は突つぱなすやうに答へた。

「今聞いて見ましたが、知つてる人がありませんよ」

「そんな譯はないでせう。少くとも主人の剛太郎さんは知つてる筈です」

と春木はやゝ激したやうに問ひかへした。

「旦那様は社に出てるんださうです」

「でも、外にも誰か知つてる人が……ないと云ふ譯はないぢやありませんか」

「ないんです」

「そんな譯はないがな」

一人でムッとして突つかゝるやうに呟いたが、鐵戸が窓におりてゐるので何うすることも出來なかつた。しかも、女中は彼をさけてしまつたのか、その後はどんなに呼びかけても返事がなかつた。

春木は蒼白な顔に辱をかみしめて、窓をにらみつけた。あけみはその姿を見つめてゐたが、する中に次第に先の冷たい表情が消えて、つひに引つけられるやうに男の肩に輕く手をかけた。

「春木さん、まだたえ子さんの居どころは解らないの」

「解らないのです。ですからお冬さんのさとへ行つて居る所を訊いて見たいと思ふんです」

と云ひかけたが、急に疑はしげにあけみを見つめた。

「あけみさん、ほんとにたえ子はお冬つて女と共に停留場の方に行つたのですね。ほんとのことなのですね」

「ほんとだわ、私も、誰もあそこにゐた人は皆みたんですもの」

「では、お願ひですが、お冬つて人のさとの方を聞き出して貰へませんか」

「聞き出すにしてもごらんの通り洋館に父がゐないらしいので、解りかねると思ひますが……」とあけみは暫くためらつたが「さうね、お冬の從妹にあたる木田良子つて人が商事會社に出てゐるから、その人の番地を電話で聞いて見てあげてもいゝわ。その木田て人のとこへ行けば、お冬の家も分るでせうから……」

「ああ、あの木田さんが……さうですか」

春木は商事會社にゐた時、その木田良子とは一二度事務上のことで、話しをしたこともあつた。多くの女事務員の中でも仕事にかけてはこの良子が最も早く、封筒なら日に千五百枚を書くと云ふことを聞いたこともある。中年のじみな身なりをした女で、別に學歴はないのだが、本や雜誌を非常に讀んでゐるらしく「女インテリ」と云ふ綽名で社内に通つてゐた。が、その良子がお冬の從妹であるとは、春木は今まで氣がつかなかつた。

「では、春木さん」とあけみは歩き出しながら語り續けた「この家の門の前に自働電話がありますから、そこからかけることにしませう。早いから」

春木はあけみに禮を云ひながら、心でもあけみの親切に感謝の言葉を繰かへさずにはゐられなかつた。あけみが何んな女であらうと、彼自身にかけてくれる彼女の心の溫さを、しみじみと感じないではゐられないのだつた。

新刊紹介

▲水産常識（會田泰著）我が帝國は四面海に圍まれた海の國である、随つて海からされる産物は可なり澤山あつて神代の昔から「海幸」が我が國民の大切な食料品であつた事は史上の事實がよく證明するところであるこの水産物がどうして採れるかどういふ風に處理されて我々の家庭に入つて來るかといふ事に對しての知識の普遍化を目的として世に問ふた著書である（價一圓五十錢、東京市神田區通神保町九番地富山房）

大連　JQAK

（十月十四日）

▲午前六時三十分　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲英話講座「テキスト第廿六課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲ギター獨奏「ヒアシンス」ムーデル作「バルコニーの下にて」ウイーランド作「野菊」ブラッタン作「石竹の園」ツルフラム作「ハンガリアン、マズルカ」ドルン作伊藤十五郎
▲長唄「供奴」唄木村清（十二歳）三味線杵屋榮多賀同深野ひな子
▲箏曲「秋の曲」尺八草崎主山、箏富森大檢校、同竹内初榮
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京　JOAK

（十月十四日午後六時卅分）

▲講演（名古屋より）旅の心理醫學博士杉田直喜
▲狂言「犬山伏」シテ島田政志、アト増田光信、小アト茶屋秋山相東、三ノアト犬島田博司
▲獨唱と管絃樂「青龍の前の踊」獨唱「アイアイアイ」「ジロメッタ」組曲「ムーア風の狂詩曲」カッサード作獨唱「ジャンニ、スキッキラウレッタの詠唱」プッチニー作「セビリアの理髪師ロジーナの詠唱」ロッシーニ作、獨唱伊藤敦子、東京ラヂオオーケストラ指揮篠原正雄
▲連續講談「鰯屋政談伊勢の初旅」第二席神田伯龍

滿日臨時碁戰

二段　泉善治氏
初段　井上太市氏

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

——【2】——

●四一リの十七　○四二ヨの十七
●四三ワの十七　○四四ワの十六
●四五チの十七　○四六タの十五
●四七レの十五　○四八タの十四
●四九レの十三　○五〇タの十三
●五一レの十二　○五二レの十七
●五三ソの十七　○五四レの十四
●五五ソの十四　○五六レの十八
●五七タの十二　○五八レの五
●五九ワの三　○六〇レの八

▲岩本六段講評　白五十は（い）の締りを打つ方がよい